

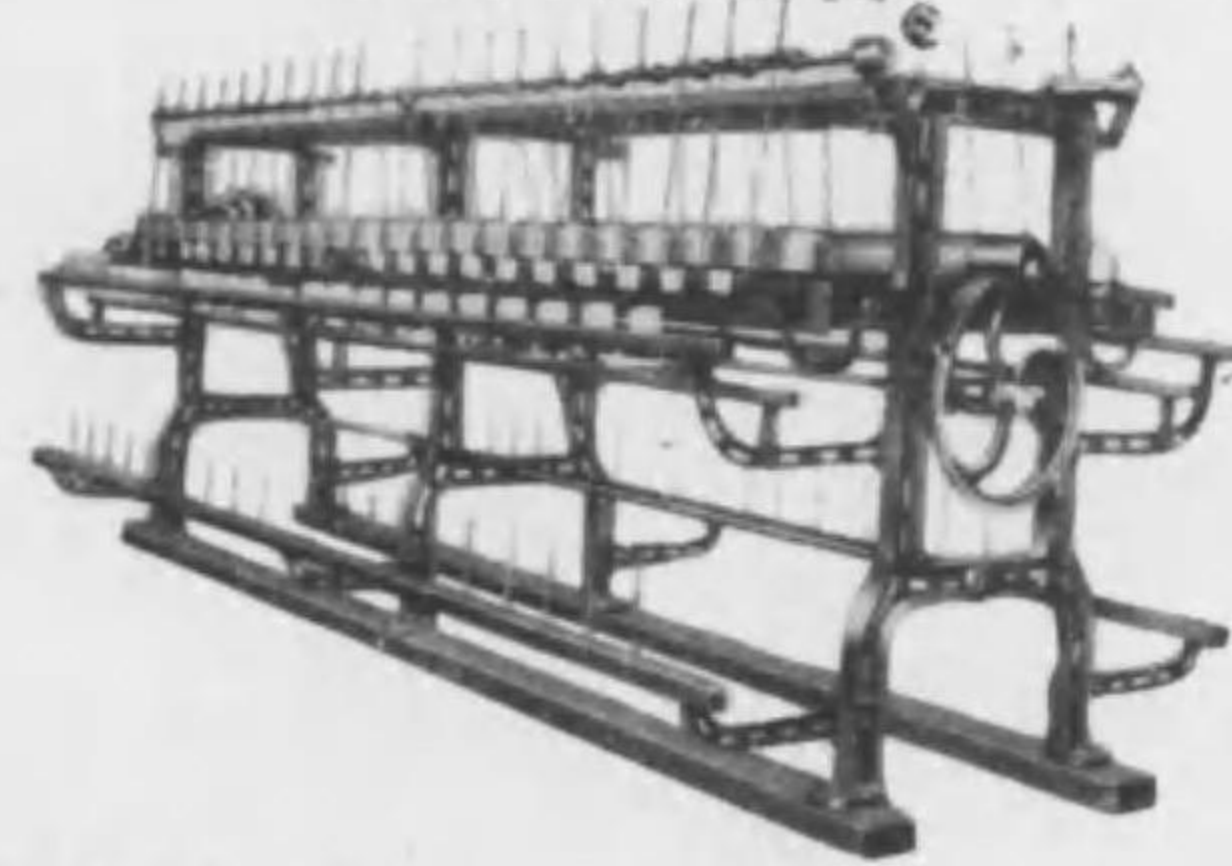


奧井鐵工所

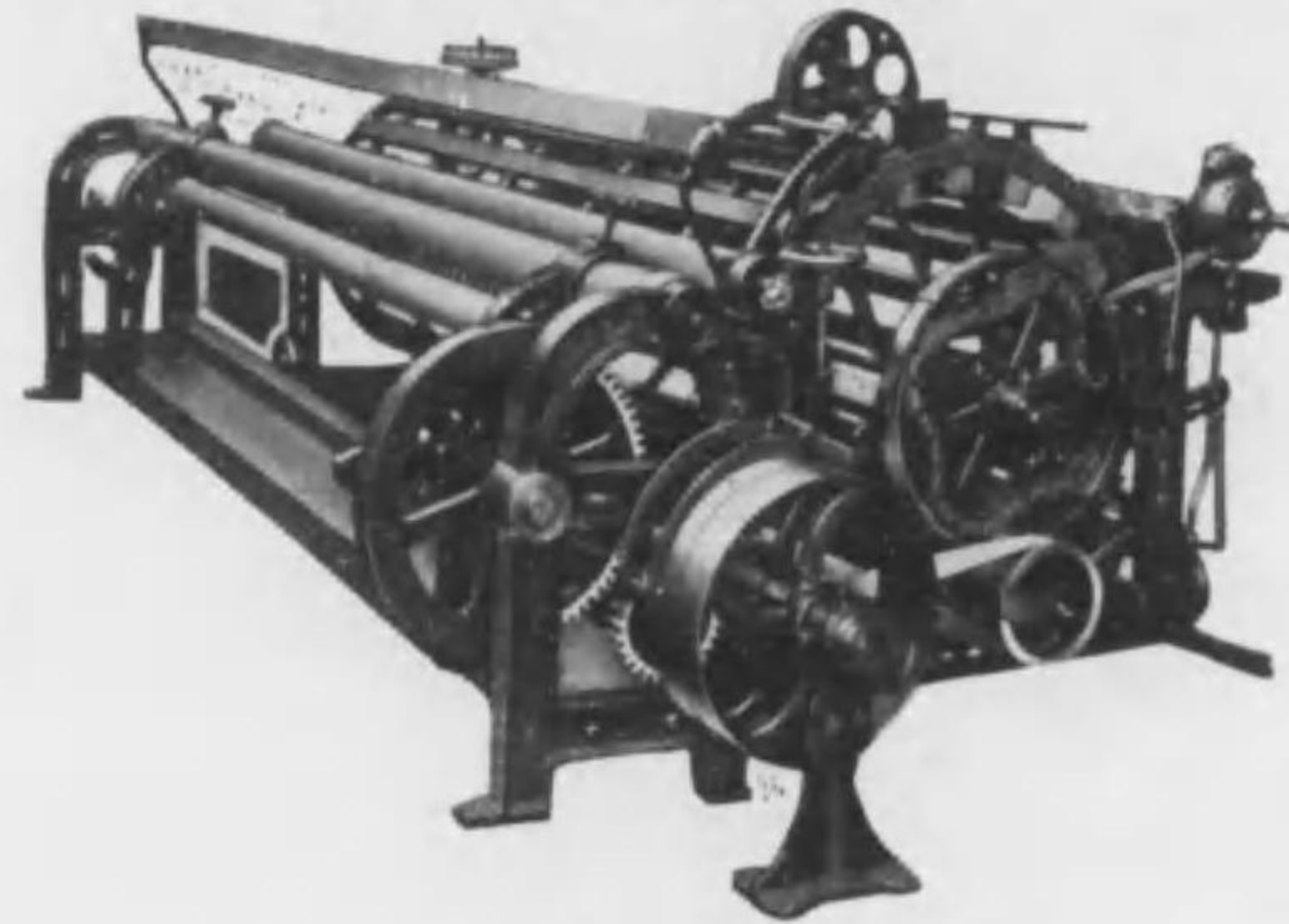
奧井式糸繰機



奧井式管捲機



奧井式H型整經機



管捲機整經機織物用準備機製造

奧井鐵工所

豐田式織機株式會社特約販賣店

營業所 奧井機料店

一宮市稻荷町一丁目

電話五四〇番・一五三四番

振替名古屋三九九二番

名古屋營業所

名古屋市西區西菊井町八ノ八

電話名古屋西三二二八番

特前 一八三



中京機械商會

噴霧機
換風機

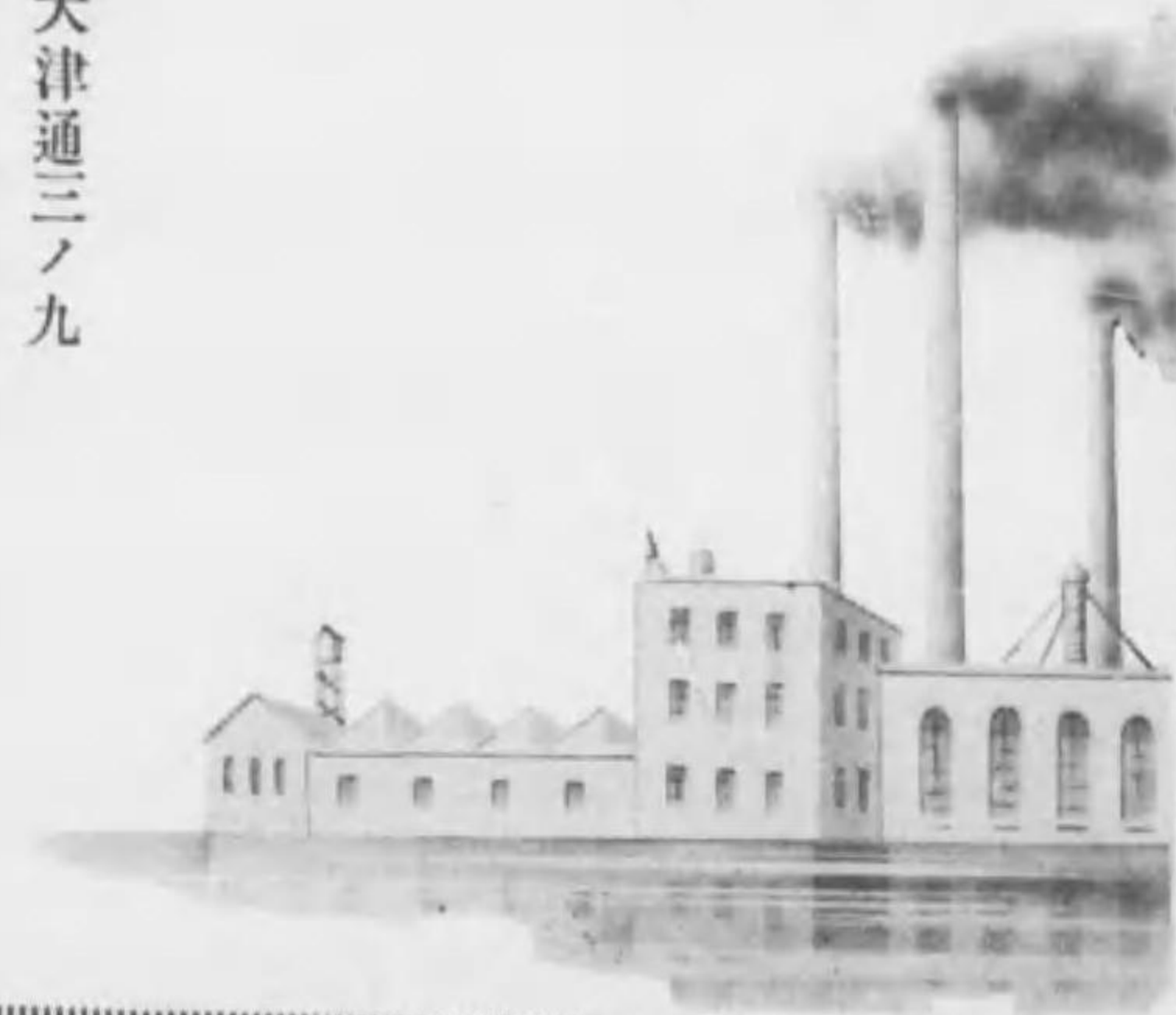


唧筒、タンク
瓦斯管繼手類
工事設計監督請負
煖房煖管
防火裝置一式

名古屋市中區南大津通三ノ九

中京機械商會

營業所 電話中局(3)〇四五七番
製作所 電話瑞穂局(73)一〇七五番



特前 一八二



平野シャツトル株式會社

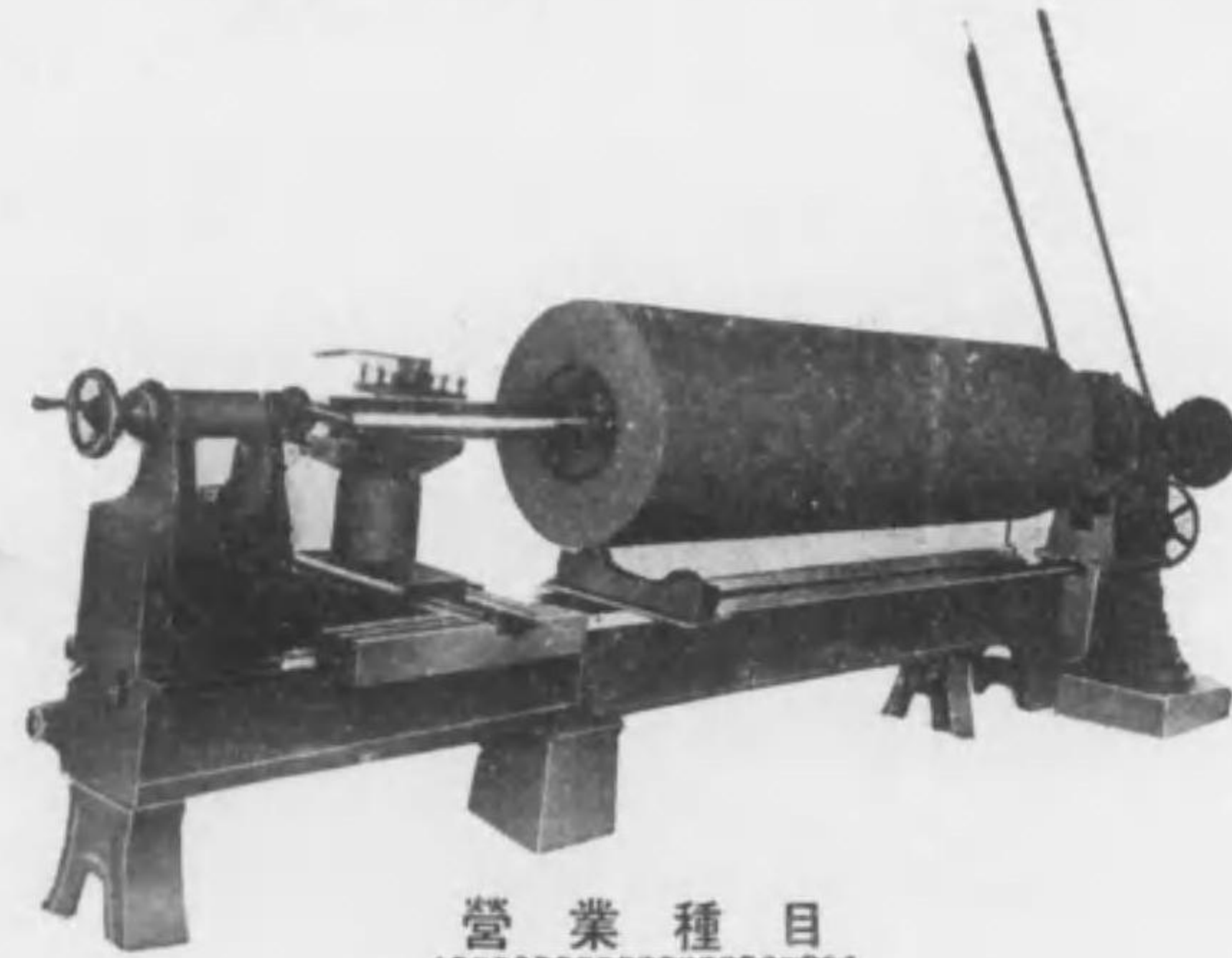
各種高級シャツトル

大阪市住吉區平野梅ヶ枝町一丁目

電話園平野一五四番

紡織用木工一式製作

弊所製品ノ一部			
心棒ノ長サ	1	4	呎
同 徑	4	1/2	吋
木部ノ長サ	10		呎
同 徑	3	2	吋



營業種目

各種ラチース、各式レース
 ヘルドステープ、総枠
 アンダークリヤラ、各種ローラー
 ボツクスバツク、リードキヤツフ
 カタン糸巻用駒、各種ステツキ
 人絹用染色用木工品一式

大阪市此花區今開町一丁目一八番地

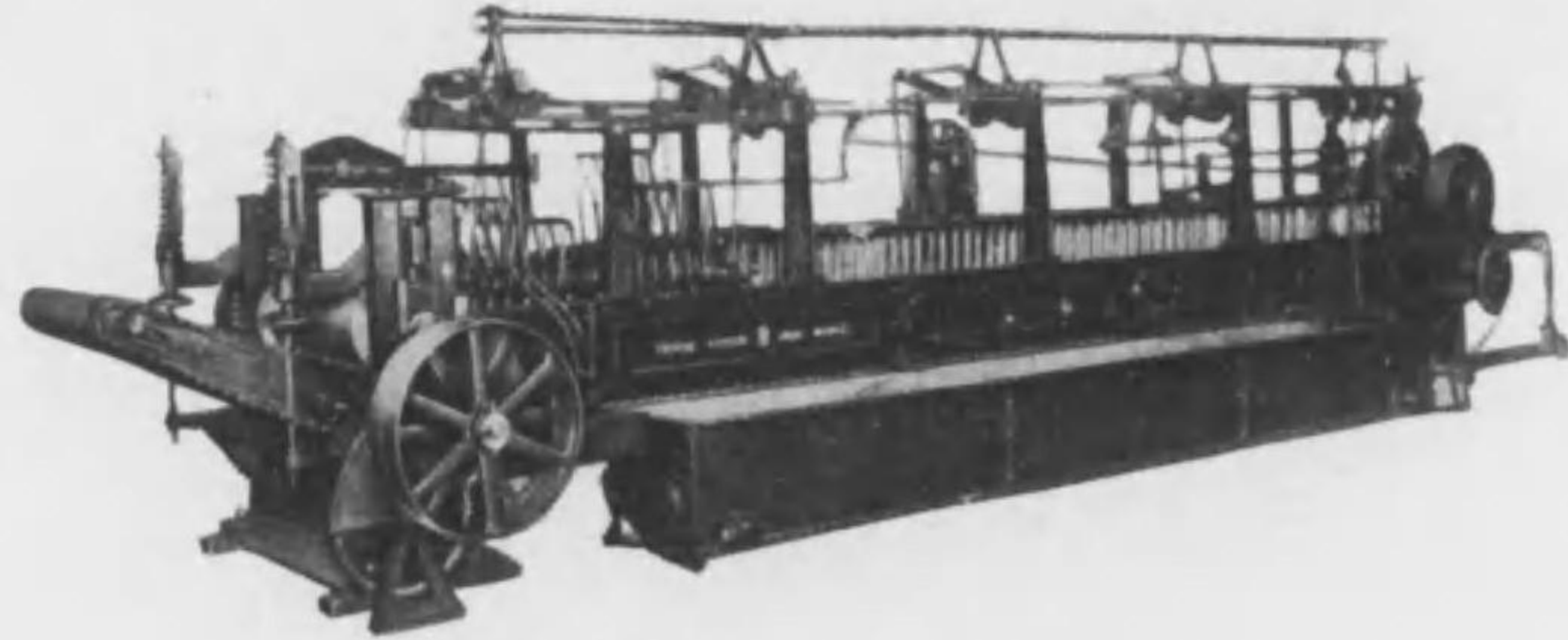
藤澤木工製作所

電話土佐堀(44)七二九七番

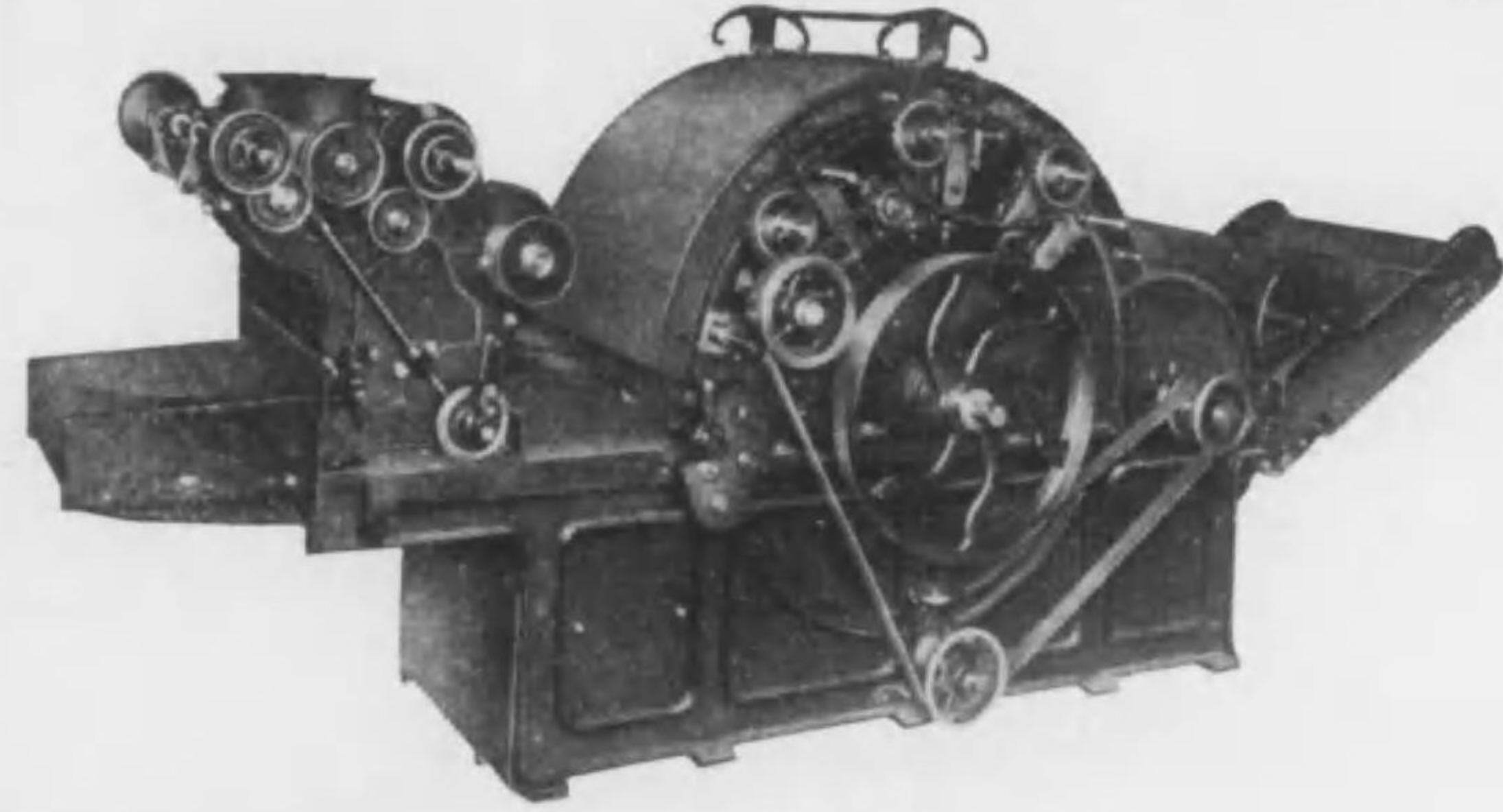
第一工場 大阪市此花區今開町一丁目一八
 第二工場 大阪市此花區大野町二丁目六番地
 木管工場 大阪市此花區今開町一丁目五二
 尼崎工場 尼崎市長洲稻川新田一五
 電話尼崎二一九八番

株式會社天滿小森鐵工所

株式會社天滿小森鐵工所



M'cnaught Self Cleaning Wool Washer.



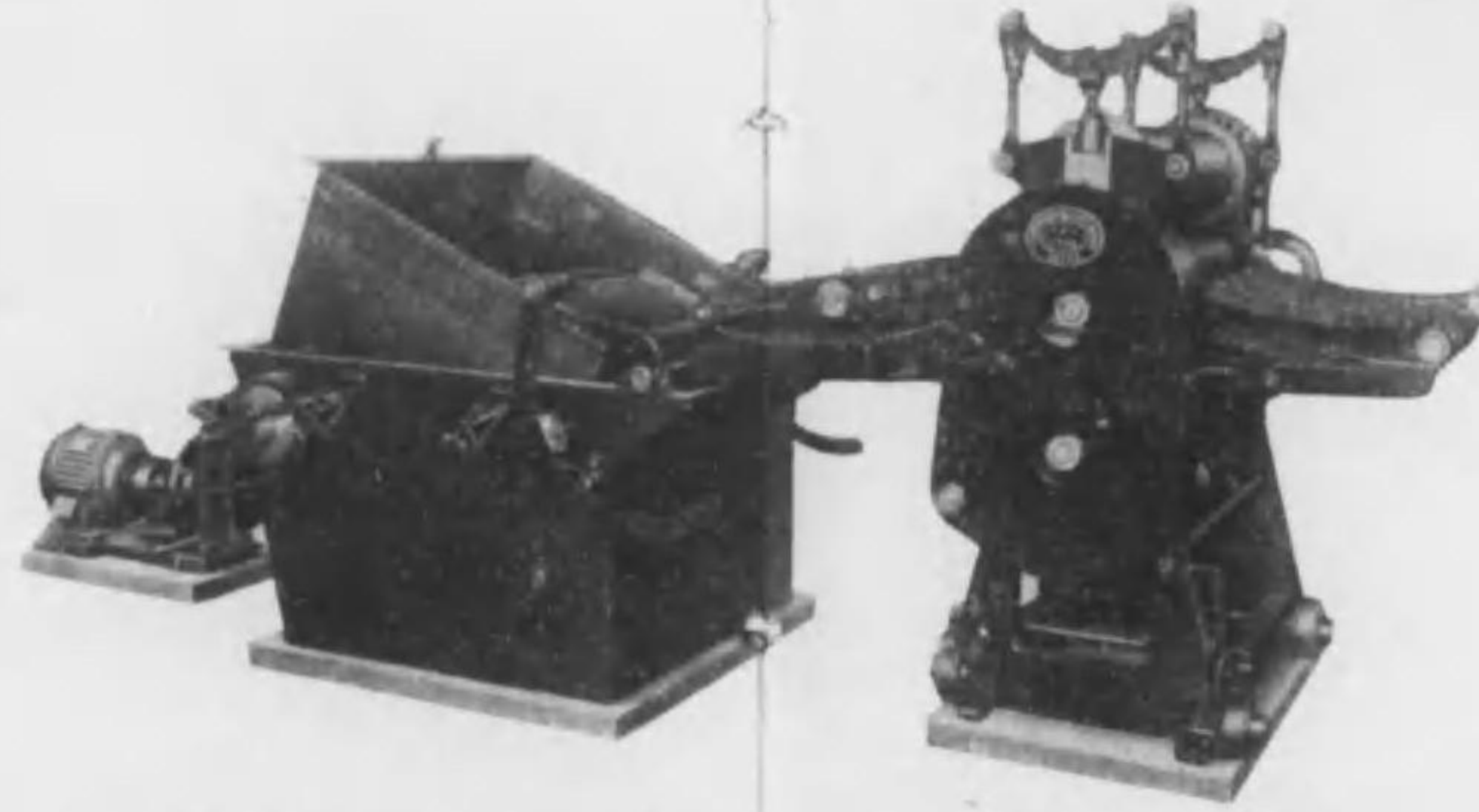
Fearnaught.

製作品目

羊毛紡績織絨仕上用機械

綿布染色仕上用機械

絹麻紡績織仕上用機械

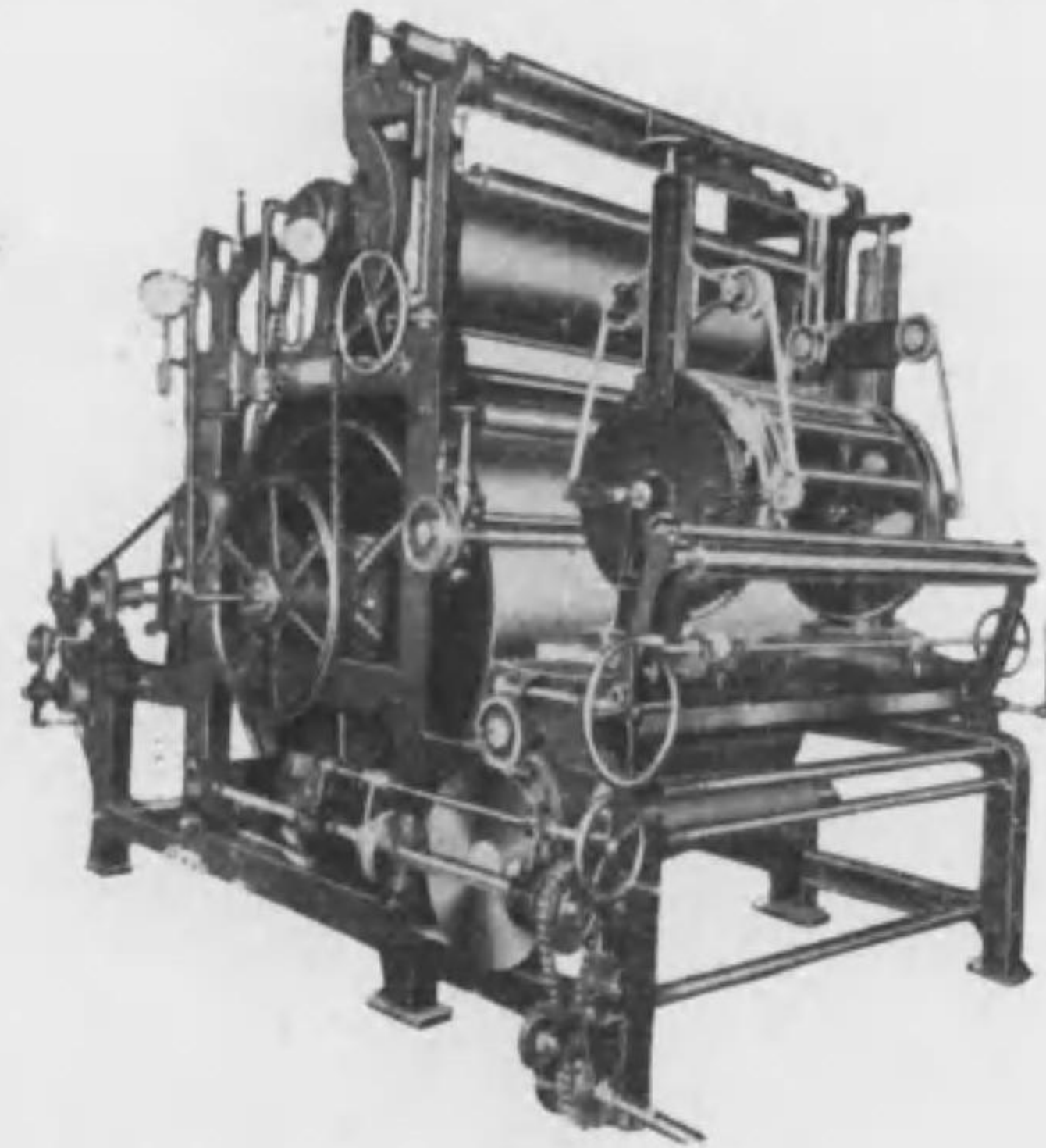


Helington Type, Dying Machine for Staple Fibre.

大阪市旭區鳴野町

電話 { 持國東五八八
持東七〇四一
旭二一一八

攝替口座大阪三五〇五八



Palmar Felt Calender.



Y Type Loom for Jute.



株式會社

天滿小森鐵工所

特前 一八七

特前 一八六



松原製作所

綿毛用ラチェス

各種針板

木工用品専門



松原製作所

松原榮次郎

大阪府堺市昭和通四丁六九

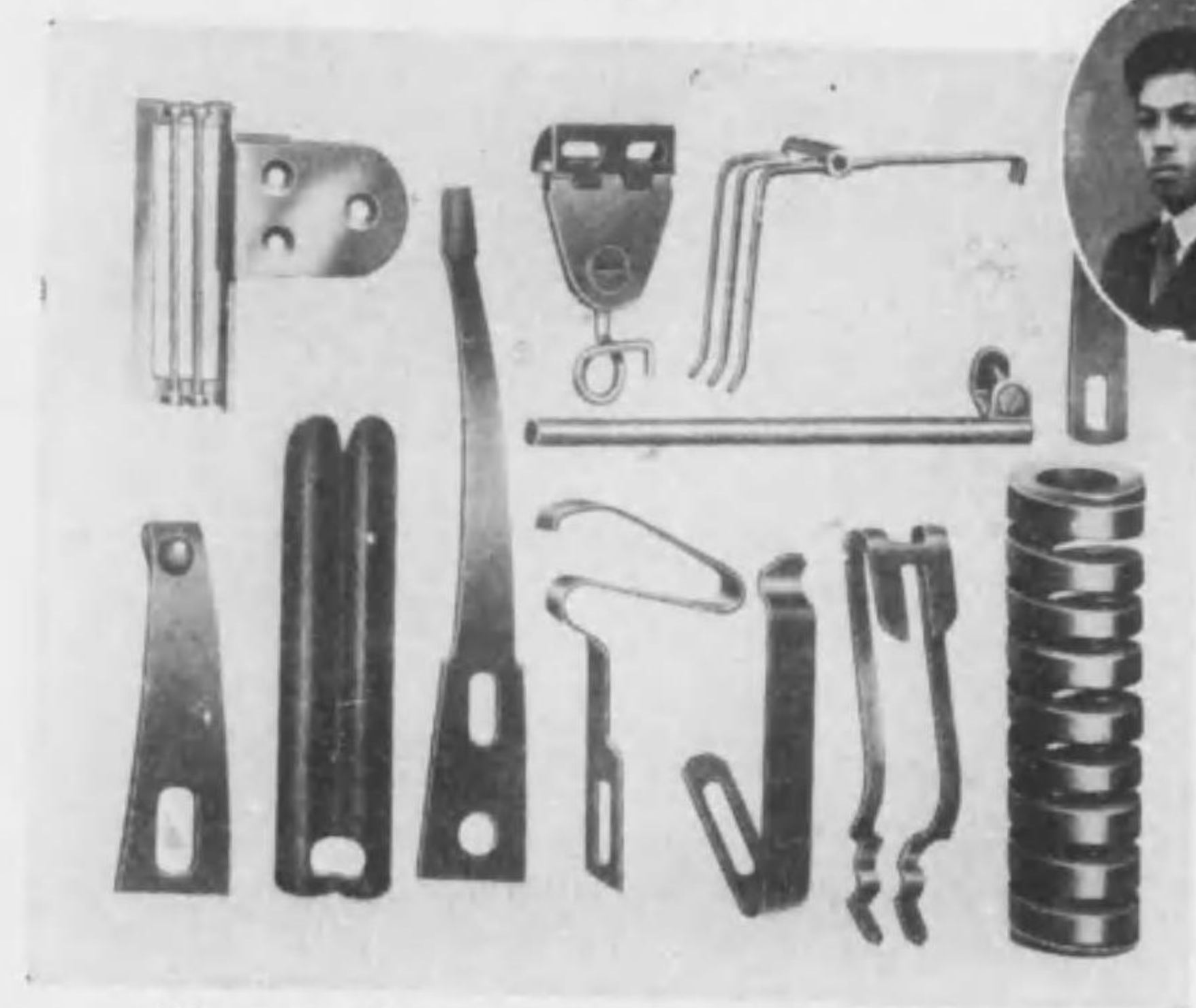
電話堺一七四六番

振替大阪八一九六五番

特前 一八九



昭和スプリング製作所



紡織機械用品専門製作

品質優秀

納期迅速

人絹用部分品	電機用部分品	自動車部分品	汽車部分品	電車部分品	軍需品	其他抜物押物一式
--------	--------	--------	-------	-------	-----	----------

昭和スプリング製作所

大阪市浪速区櫻川四丁目一四一四

電話櫻川 四七六二番

所主 北村彰甫

特前 一八八

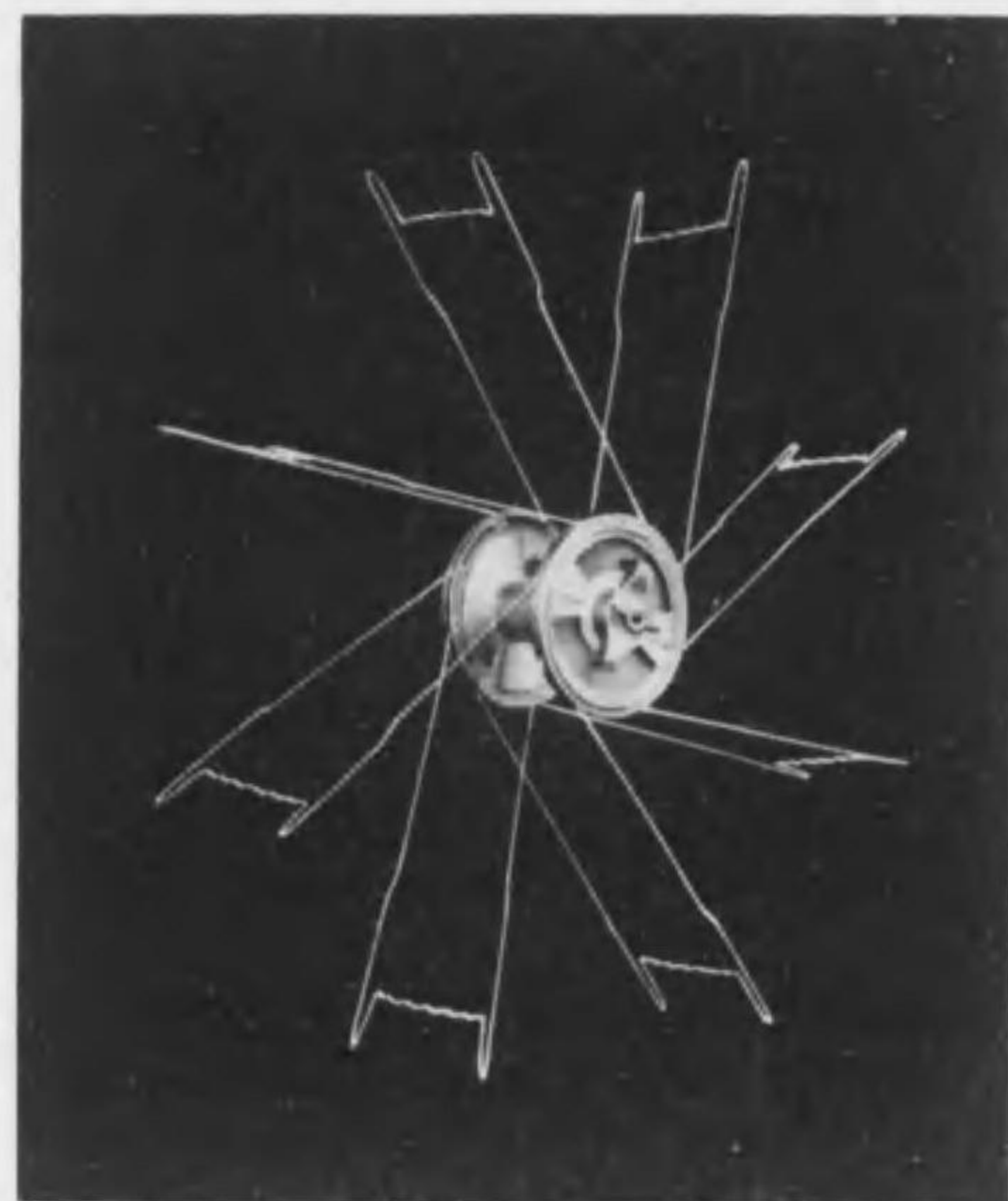
於大禮記念國産振興博覽會
金牌受領

紡織製絲・撚糸・人絹用・ホーロー加工用品は

スネールワイヤー類及ホーロー引糸道各種は

營業課目

笠井式綜統棒
各種ワイヤーヘルド
紡織・人絹用糸道
撚糸・製糸用糸道
各種ホーロー加工用品
拔物・押物・挽物各種
各種スプリング
其他鐵工一般
實用新案第一〇四六六號
アルコール焔爐

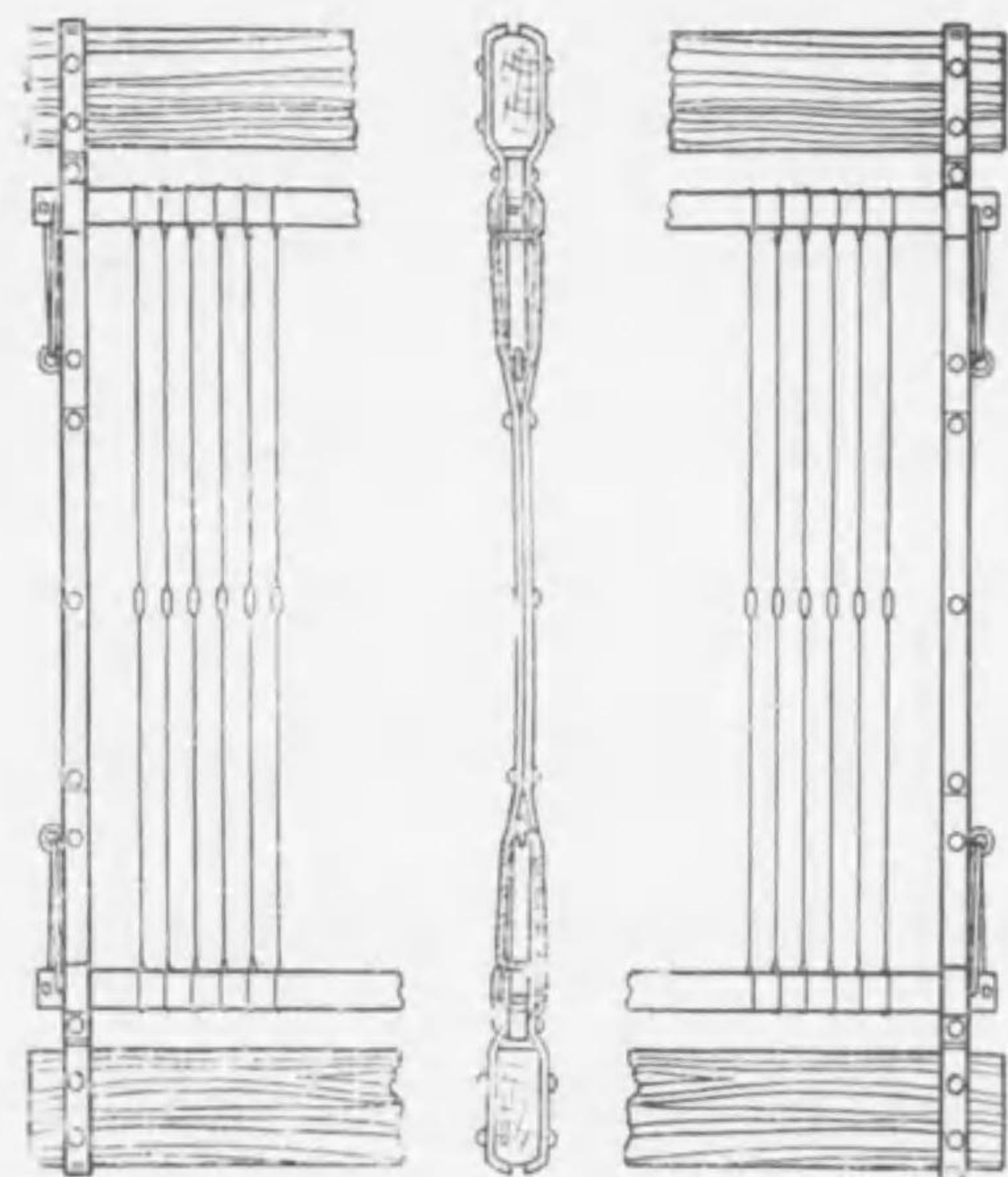


フワリ(伸縮自在)総棒

人絹、生糸、麻糸、綿糸、毛糸等の
繰返機、再繰機用

能率増進堅牢にして確實なり

- 1 総の周長の大小に
任意の寸法に自在
に調整可能
- 2 棒は鋼製で強靱
に耐え、撚り力に
富み、撚り易い
- 3 全部が金製なる故
に腐蝕に耐え、長
期にわたって使用
可能
- 4 棒の目方軽く、撚
り力に富み、撚り
易い
- 5 棒の切端が鋭利な
り、撚り力に富み、
撚り易い
- 6 棒の切端が鋭利な
り、撚り力に富み、
撚り易い
- 7 各部分の加工が精
緻で、撚り力に富
み、撚り易い
- 8 価格低廉品質良好
能率増進を促進す



笠井式綜統棒

(實用新案第一八七九八五號)

本ヘルド棒は上圖に示す如くロツ
トを8字形のスプリングに依り止
め取り外しを容易ならしめたもの
にして使用中外れる憂ひ絶無なる
と共に破損することなく使用簡便
耐久甚大従つてワイヤーヘルド損
失を減少し且つ價格低廉なるを以
て各會社工場に
御使用の榮を得
絶讃を博しつゝ
あるものなり。

價格低廉品質優良

笠井靖久鐵工營業所

大阪市住吉區田邊本町六丁目二九

電話 平野三七〇・四三五番
振替口座 大阪六〇三三二番

最も古き經驗と新らしき技術を有する弊所へ御用命を乞ひ
ホーロー加工品の修繕及ホーロー引直し等は弊所特有の技能

合名會社山田紡機製作所



合名會社
山田紡機製作所
 本工場 名古屋市熱田区中田13番地 電話南4198番
 中川工場 名古屋市港区新船町2丁目7 電話南5218番
 總代理店 株式会社稲畑商店機械部
 大阪・東京・名古屋

特前 一九三

雜多なるシャトル群
 中に斷然聳立する
 弊社の一大製品

新案スプリング使用
 シャトルを推奨す



各種シャトル
 製造並に紡織
 木工品一式



昭和シャトル合資會社

特前 一九二

昭和シャトル合資會社

大阪府泉南郡佐野町湊 電話 佐野 367 番
 振替 大阪 26260 番

紡織用皮革一式は弊所のクロムレザー製品を！

合名会社
長野製革所



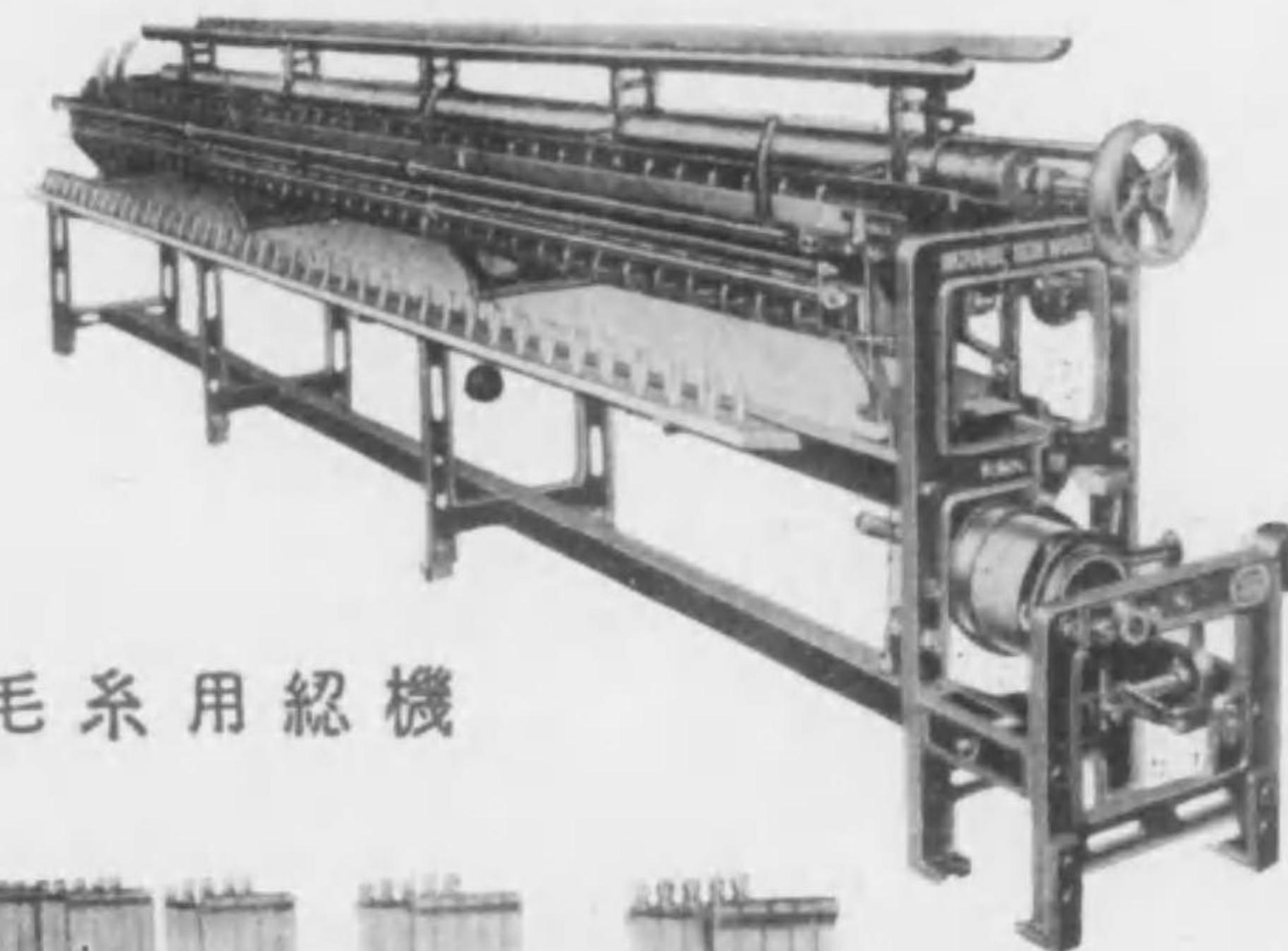
高級クロムレザー
専門製作販賣

特前
一九五

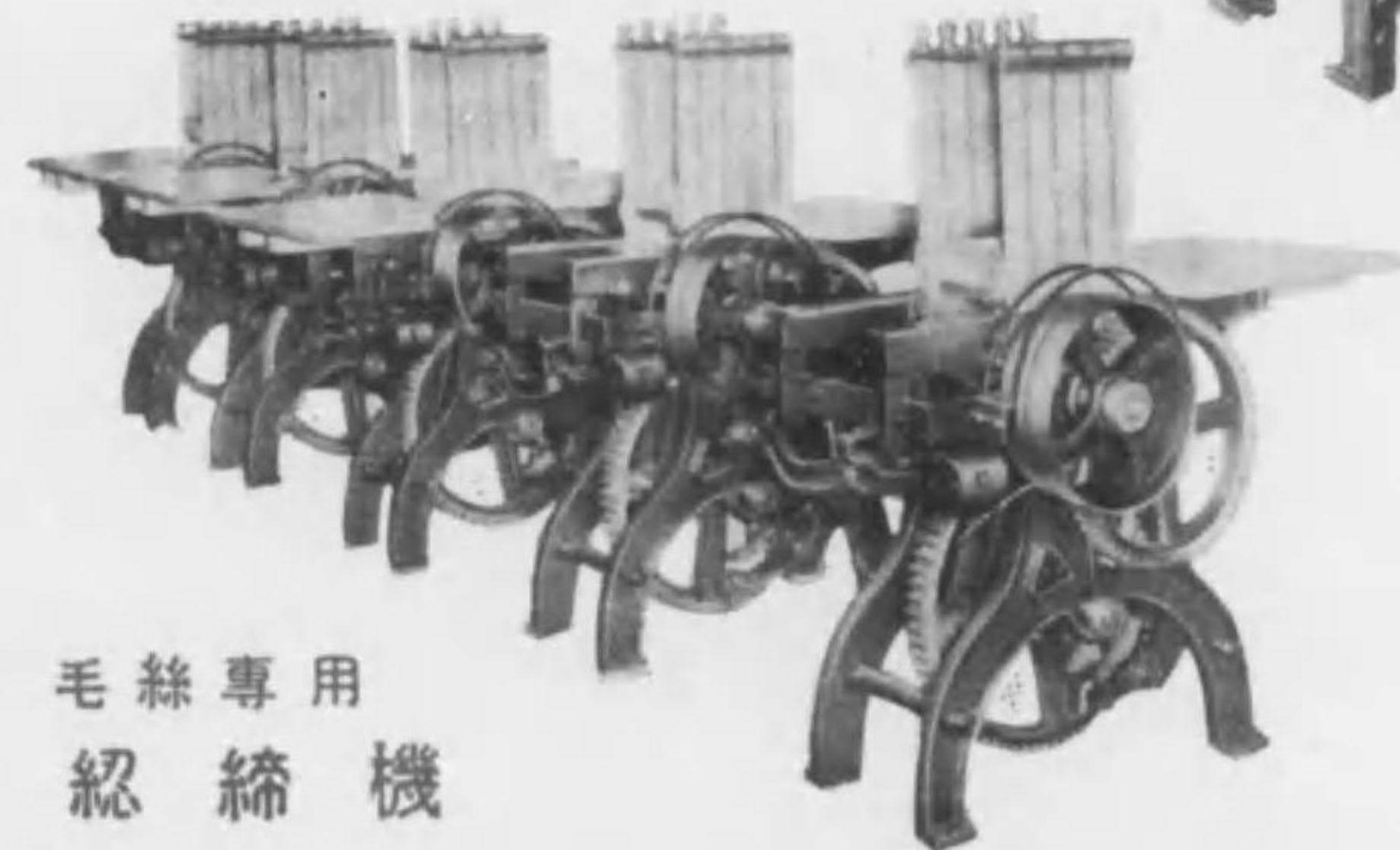
營業品目

ピツキング・バンド◇クロム・ステツキ・バンド◇毛付ストラツブ
吊 皮◇ストラツブ・バツフアー◇U字型引皮◇其他革具一式

合名会社 **長野製革所** 本社 大阪府南河内郡長野町電長野26
出張所 大阪市東區船橋町七六電南(75)6882



毛糸用総機



毛絲専用
総締機

主要製品

紡織機械及部分品・染色捺染及仕上機
ペイント機械・高級傳導裝置
鐵工用諸機械製作



合資会社 **渡邊鐵工所**

大阪市港區九條南通リ三丁目

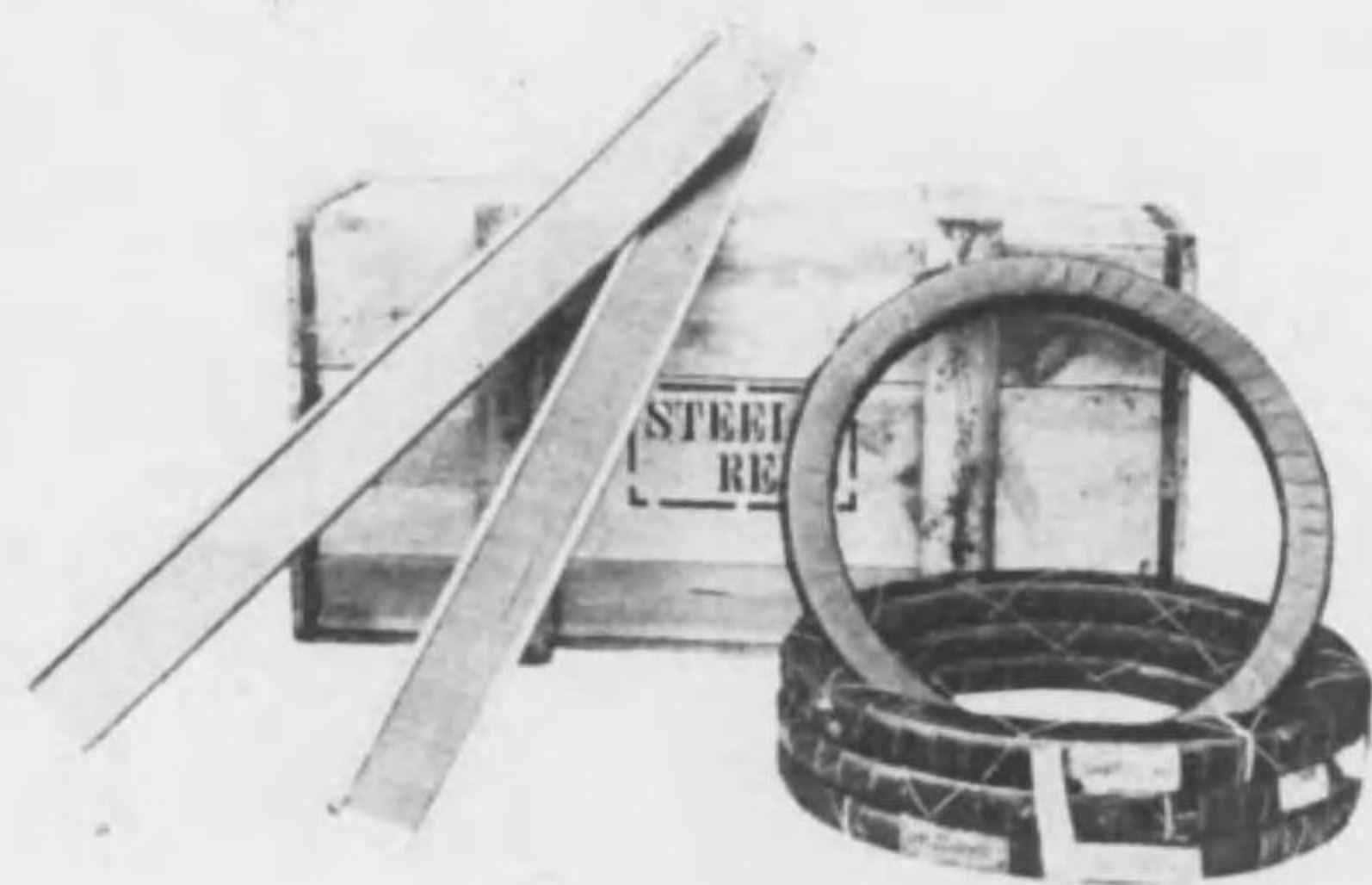
電話長西(43)2104・3171・6311番 振替口座大阪74337番

合資会社渡邊鐵工所

特前
一九四



金箴専門製作



ピツチバンド製
海外輸出金箴

竹中製箴所

大阪市港區壽町三丁目二五番地
電話西一八七五番
振替口座大阪九二七六四番

竹中製箴所

特前 一九七

松川式絹織機製作所



松川式絹織機製作所

松川式各種

絹人絹織製織機
鐵製整經機
諸織物用機械一式

製作販賣

金澤市宗叔町工場 電話一四五九番
金澤市長町工場 電話五三一〇番

特前 一九六

梳綿機用ブラシ専門製作

工業用各種ブラシ



日ノ本工業所

営業所 大阪市西淀川区大仁元町二ノ一八

電話 福島二八二五番

工場

大阪市西淀川区大仁西二ノ二
電話 福島五五四五番

型録進呈

試作品ニ限り実
費御相談ニ應ズ

鐘馗印ピツカー製作

會社資 岩田製作所



合資會社岩田製作所

大阪市西成區梅南通九丁目

電話 天下茶屋四〇八六

振替口座大阪五九六九九

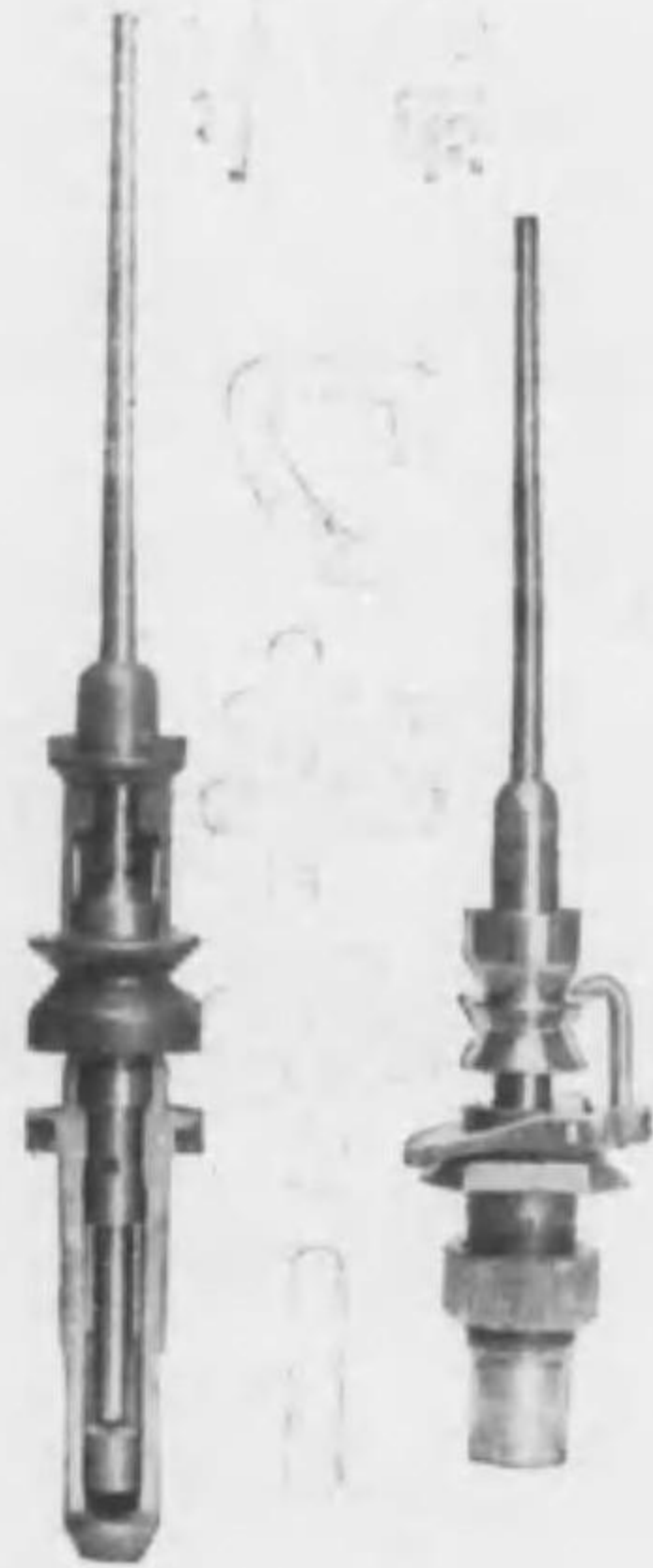
金井製作所

スピンドル

並ニ先導電氣熔接
ロング修繕

最新ノ技術

長期ノ経験



金井製作所

尼崎市大物町二丁目二一〇

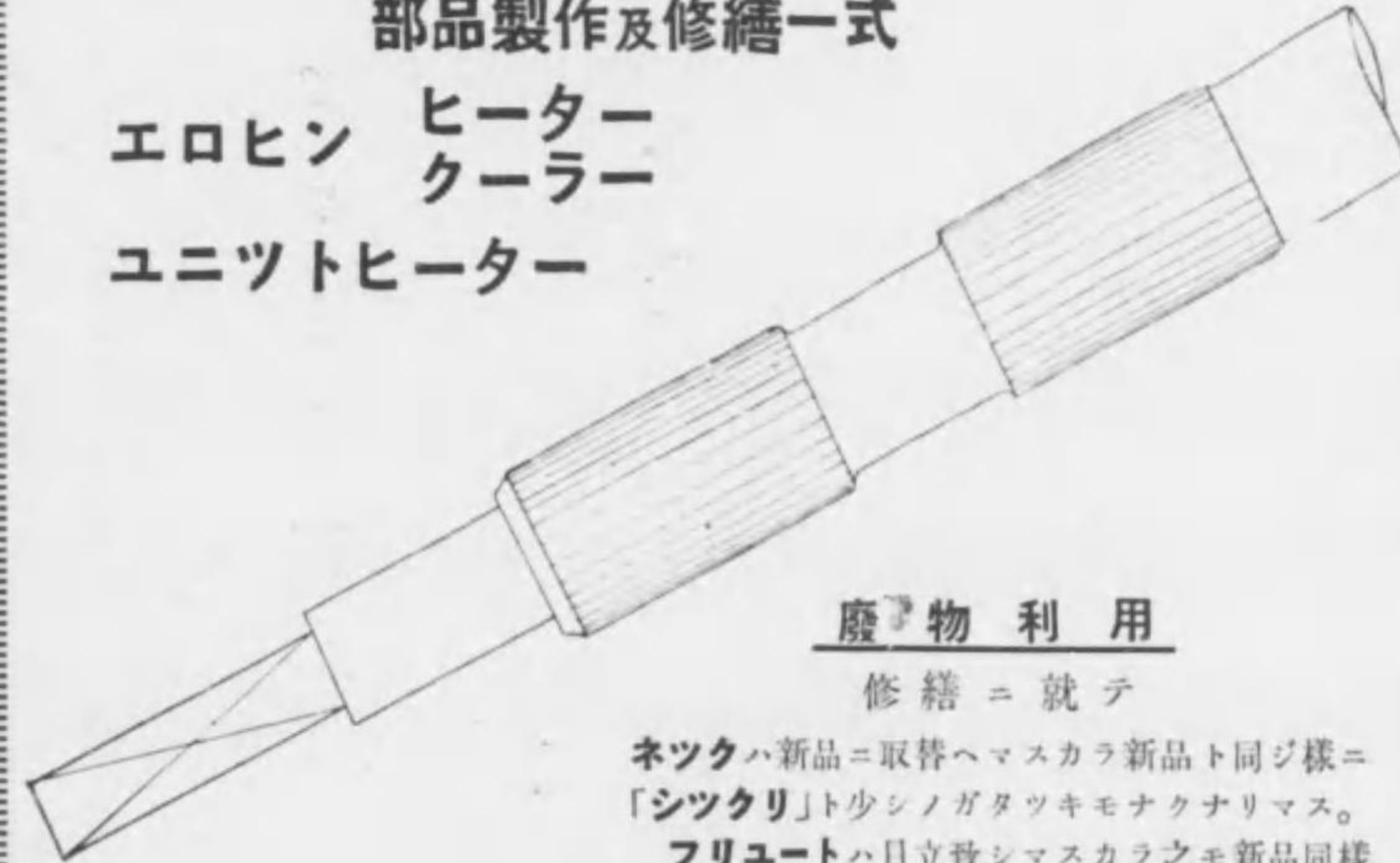
電話 749番 振替 大阪37298番

特前 二〇一

紡織人絹用諸機械附屬品一式 製作 販賣

フリーテッドローラー
部品製作及修繕一式

エロヒン ヒーター
クーラー
ユニットヒーター



廢物利用

修繕ニ就テ

ネットクハ新品ニ取替ヘマスカラ新品ト同ジ様ニ
「シツクリ」ト少シノガタツキモナクナリマス。

フリーテッドハ日立致シマスカラ之モ新品同様
ニナリマス。

其他修理ヲ施サネバナラヌ部分ハ完全ニ加工
シテ機能モ外觀モ全然見違ヘル様ニナリマス。

大阪市西區江戸堀下通リーノ八

合 資 社 廣 榮 商 會

電話土佐堀 { 三五四〇・五六四一
五八九三・五九六九
六一〇五・五九六八

岸和田市昭和大通

新 川 鐵 工 所

所主 廣 田 巳 之 助

電話岸和田二七二一

大阪出張所 廣 榮 商 會 内

合資會社廣榮商會

特前 二〇〇

下里製藥株式會社

下里製藥株式會社

各種紡織用

鉛亞化鹽

素炭性
硝芒水
酸鹽

製造販賣

大阪戎三丁目番
堀 九四二番
振替大阪五九三〇番
電話
五場及營業部 堺市海山通一丁

特前 二〇三

株式會社藤原式ヘルド製作所

特前 二〇二

專賣特許
第35001號



新案特許
第136925號

藤原式ミツドルステー及梓
特種型ワキヤーヘルド各種

綿・人織・人絹・毛織最適高級品

ブルド
ツグ印

ワキヤーヘルド

株式會社 藤原式ヘルド製作所

大阪市東成區猪飼野大通一丁目一二

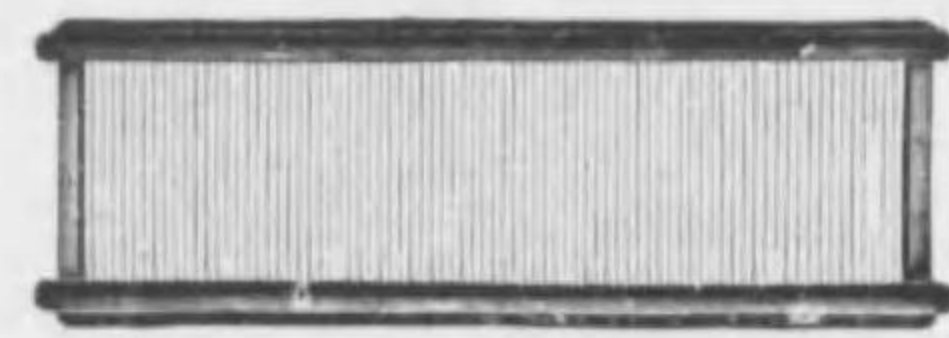
電話 南 五七二一



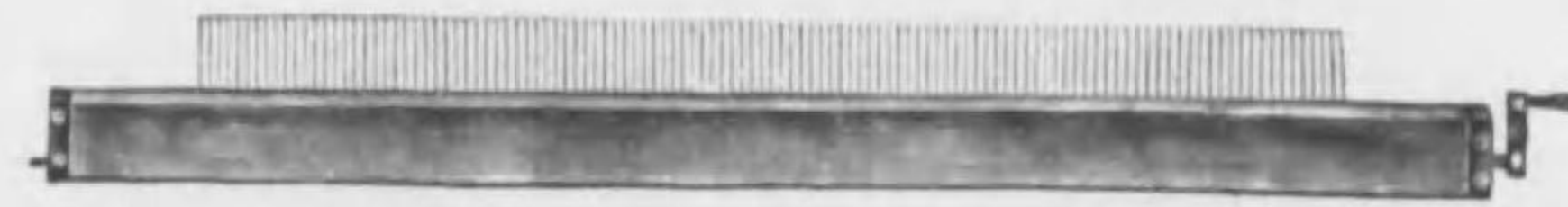
金 箴 專 門

ヘルドフレーム

鋼線ワイヤヘルド



(箴前) 箴縮伸用經整



(箴後) 箴縮伸用經整



其他特種金箴製造

越川金箴製作所

大阪東淀川區天神橋九丁目

電話堀川(三五)一四八二番

上海代理店

上海英租界記三路五・祥昌洋行

東京代理店

東京市神田區今橋平ルビ・高橋商店

越川金箴製作所

特前 二〇五

ゴットンロープ

スピンドルテープ・スピンドルバンド

笹村製網所



ワキヤロープ
マニラロープ

製造販売
其他綱索類一式

海軍省指定工場

株式会社 笹村製網所

大阪市西区阿波堀通五丁目

電話五五七・五五八・五五九・六二七

支店 大阪市東区宇福町

電話六〇一・六〇二・六〇三

特前 二〇四



紡織機用各種針

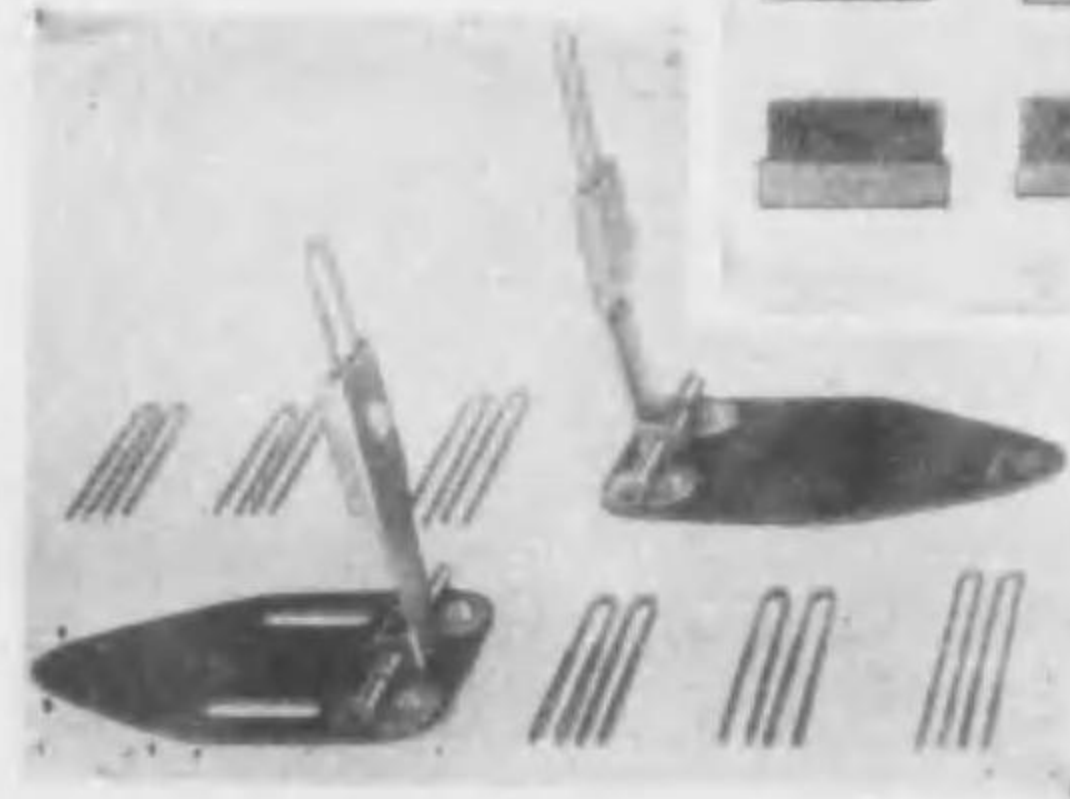
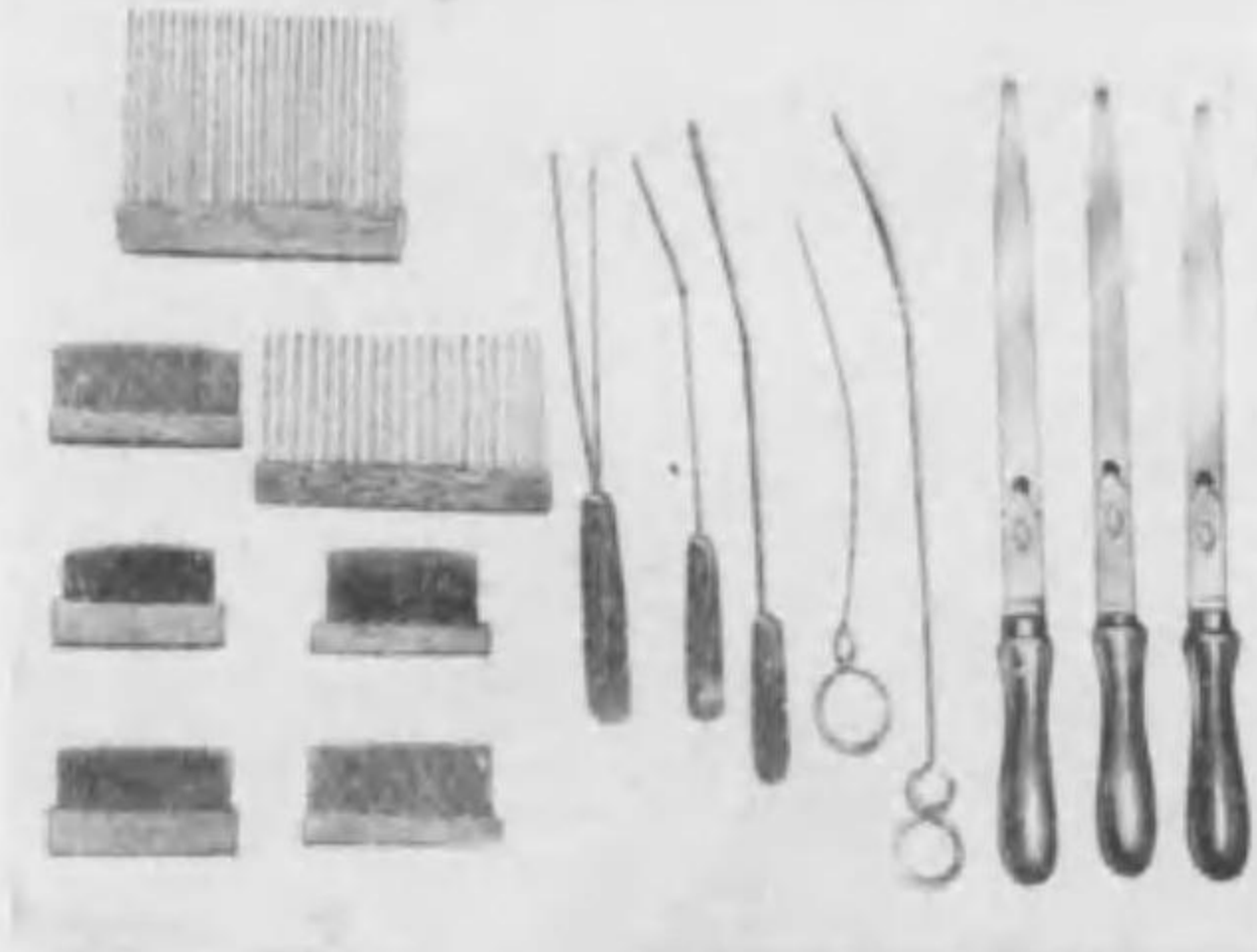
並 附 屬 機 具

新案登録

第 98793 號

第 103259 號

第 153107 號



織機用金櫛挾



營業課目

自 送 箴 通
 紡 織 用 具 製 作
 紡 機 用 針・ノツタ 録
 ワーピングピン 各種
 ヘトウシ・金櫛 各種製作
 新案特許折疊ノツタ 臺
 抜物押物類・鋼線加工品

大阪市旭區放出町外嶋855番地

岩 崎 製 針 所

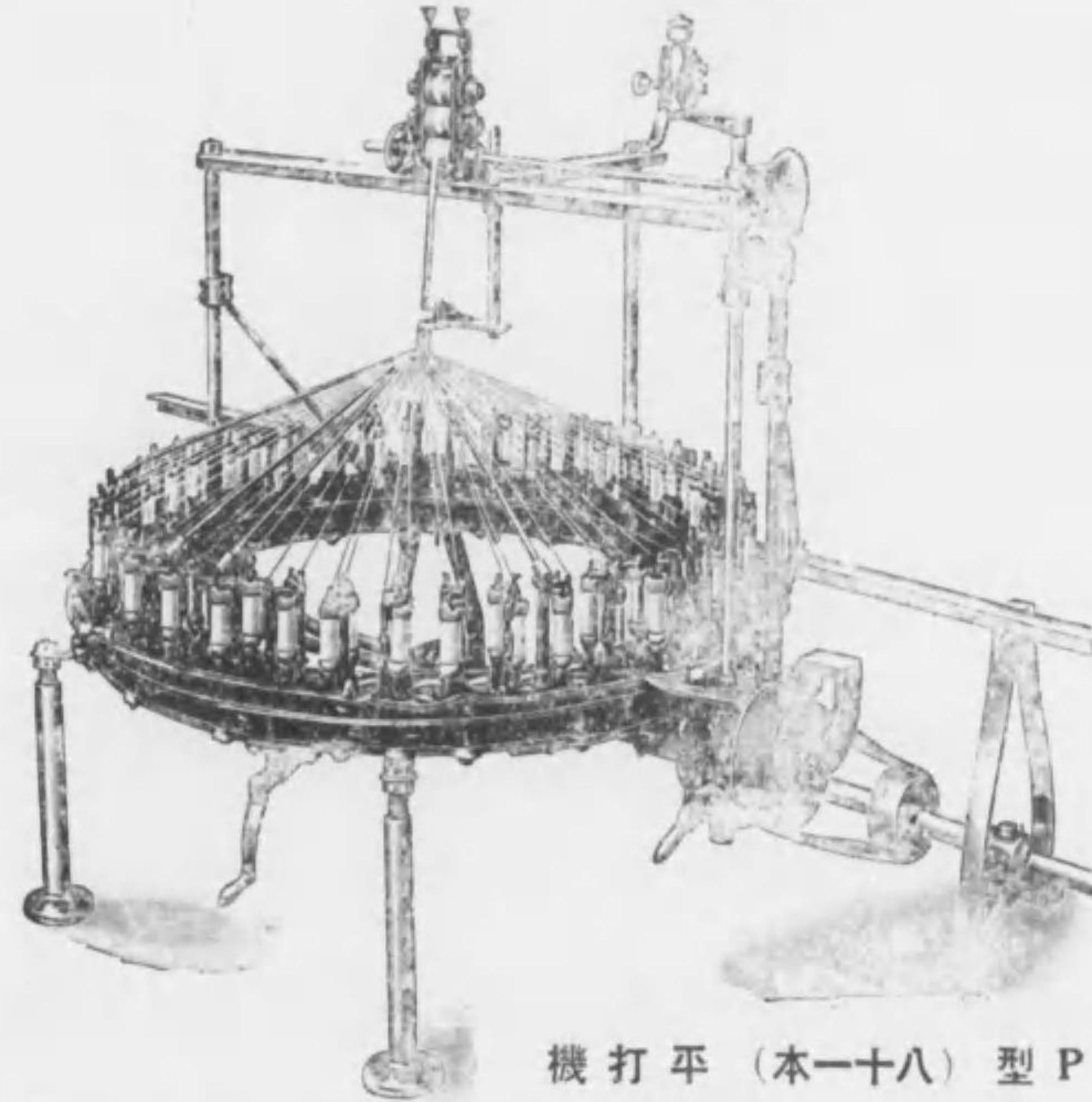
電話 旭 二 四 四 九 番

振替 穴 阪 八 二 九 〇 一 番



門專造製械機紐製種各

年元正大業創



機打平 (本一十八) 型 P

械機造製紐靴・械機紐製入ムゴ
 械機造製紐組殊特・械機造製ドンパルドンビス
 械機造製ドンパルドンビス・スレドンエ
 械機備準用紐組・械機造製覆被線電

所 工 鐵 田 山

頼 政 田 山 主 所

番三二八二話電・町江安南市澤金

七〇三四電・町巖小市橋豊 場工分



(場工一第)場工崎尼

紡績諸機械附屬品
自動車用部分品
各種スプリング一式
各種ワイヤ加工
金屬押物拔物

株式會社
瀨良製工舎

尼崎市久々知奈久十二番地

電話 尼崎 二一八〇番

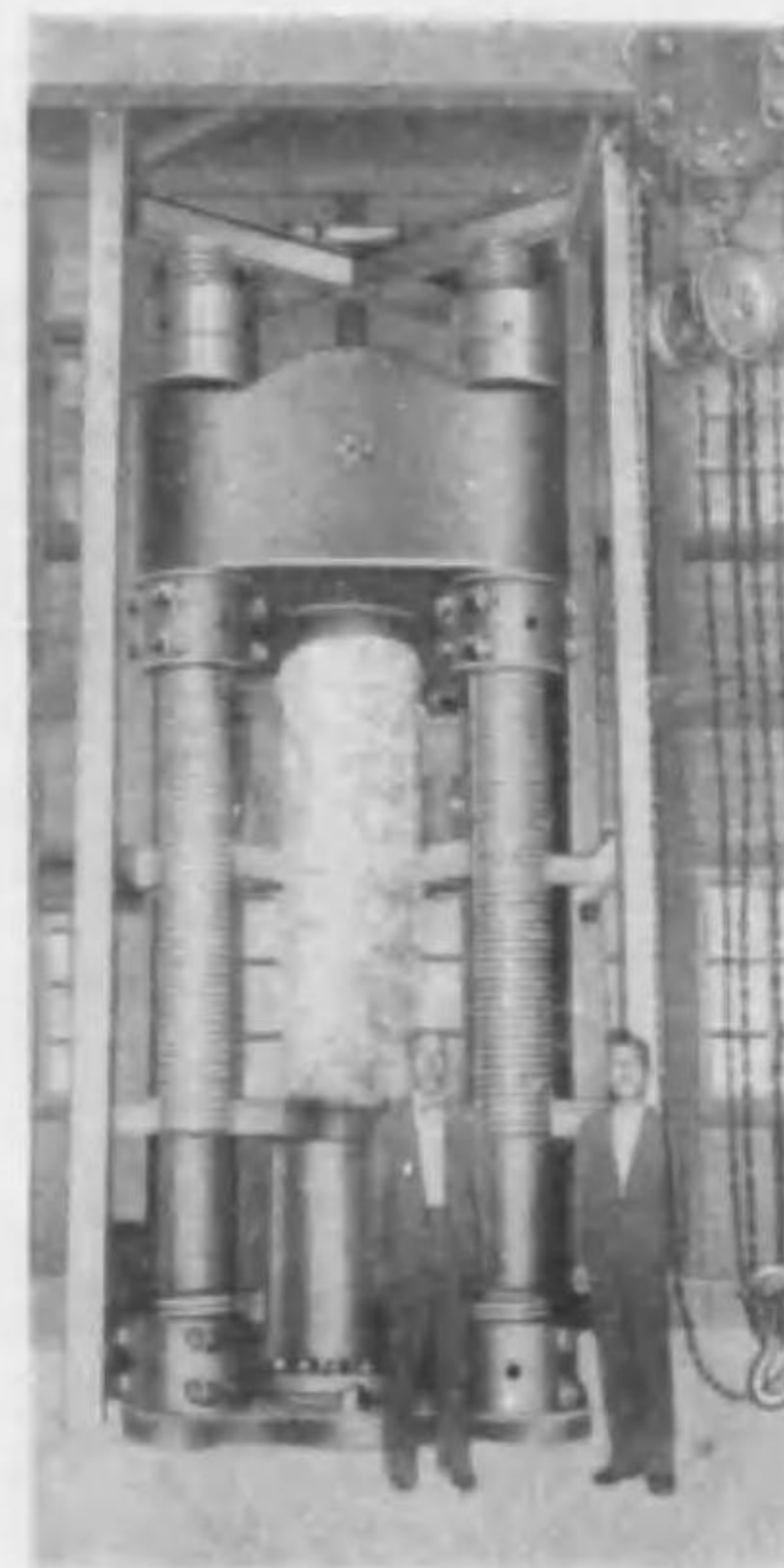
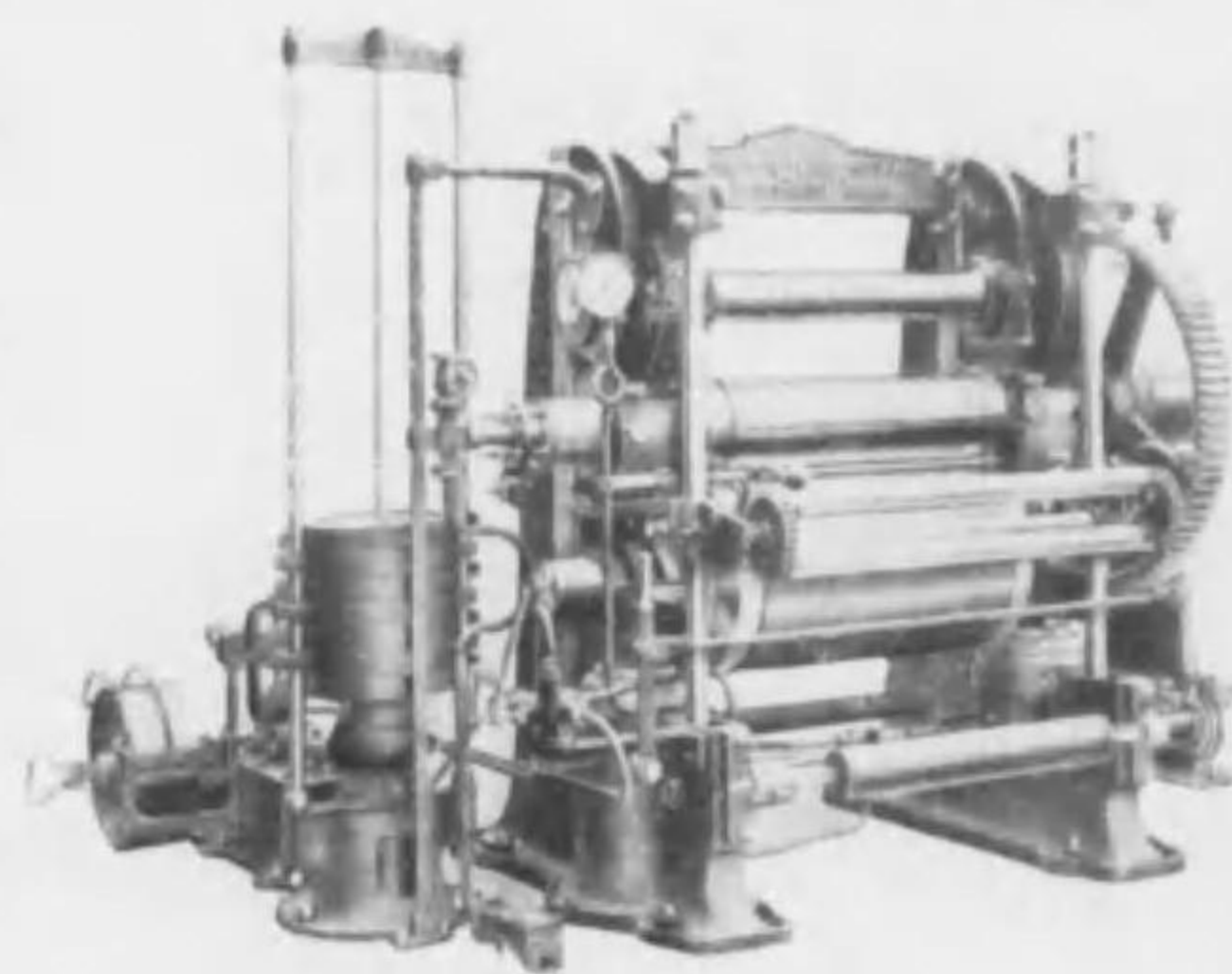
夜間專用 尼崎 二二六〇番

大阪市浪速區反物町

電話 櫻川 二三八一番

大阪工場

コットンロール・ペーパーロール
染色・漂白整理・諸機械



右圖寫眞ハ本所設置ノ水壓機ニシテ壓力四千噸壓搾シ得ル寸法ハローラー直径40吋働幅100吋迄可能ナリ殊ニエンボシングペーパーローラーシライナーペーパーローラー其ノ他大ナル直径ノローラーニ於テハ他所製品ノ追従ヲ許サザル所蓋シ本所ノ一大特徴ナリ尙本所ハ常ニ眞摯ナル研究ヲ續ケ諸般ノ設備ヲ着々實施致シツツアリ

TRADE  MARK

中尾鐵工所

大阪市旭區赤川町九四八

(鐵筋澁川工場正門南入市電赤川二丁目下車南社裏人)

電話 堀川 三六二一番



(型録御申込次第送呈)

NSI 袖竹商店

豊田自動織機用及各種シャツトル
 リードキヤップ、杼箱、スラツシヤ
 ローラー、アングラクリヤラー等
 木工品一式製造
 紡織諸機械附屬品一式

營業所
 シャツトル製造工場
 木工品製作工場

馬場賢三
 名古屋市東區小市場町二丁目
 電話東二四八四・三八八五番
 振替名古屋二カ一
 名古屋市千種區千種通り三丁目
 電話千種一五四八番

特前 二二一

綿人絹ス毛麻ラミー
 各種紡績諸機械
 並-KN式特許苧麻剥皮機製作

ロータリー式粗紡機



K・N式苧麻剥皮機



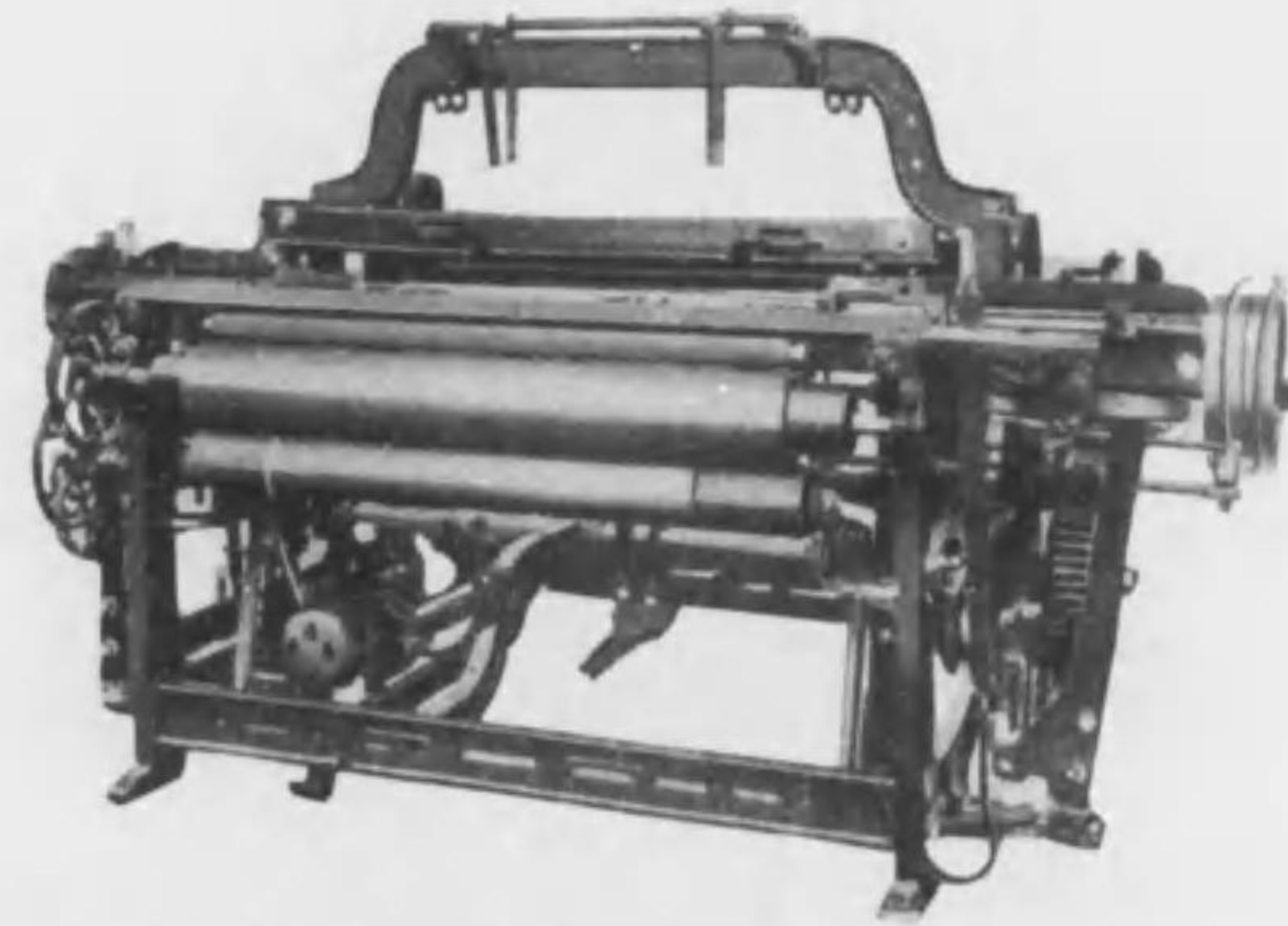
K・K式紡毛軸系輪具精紡機

大阪・西九條 串田工作所 電話工佐堀 5616番 7768番

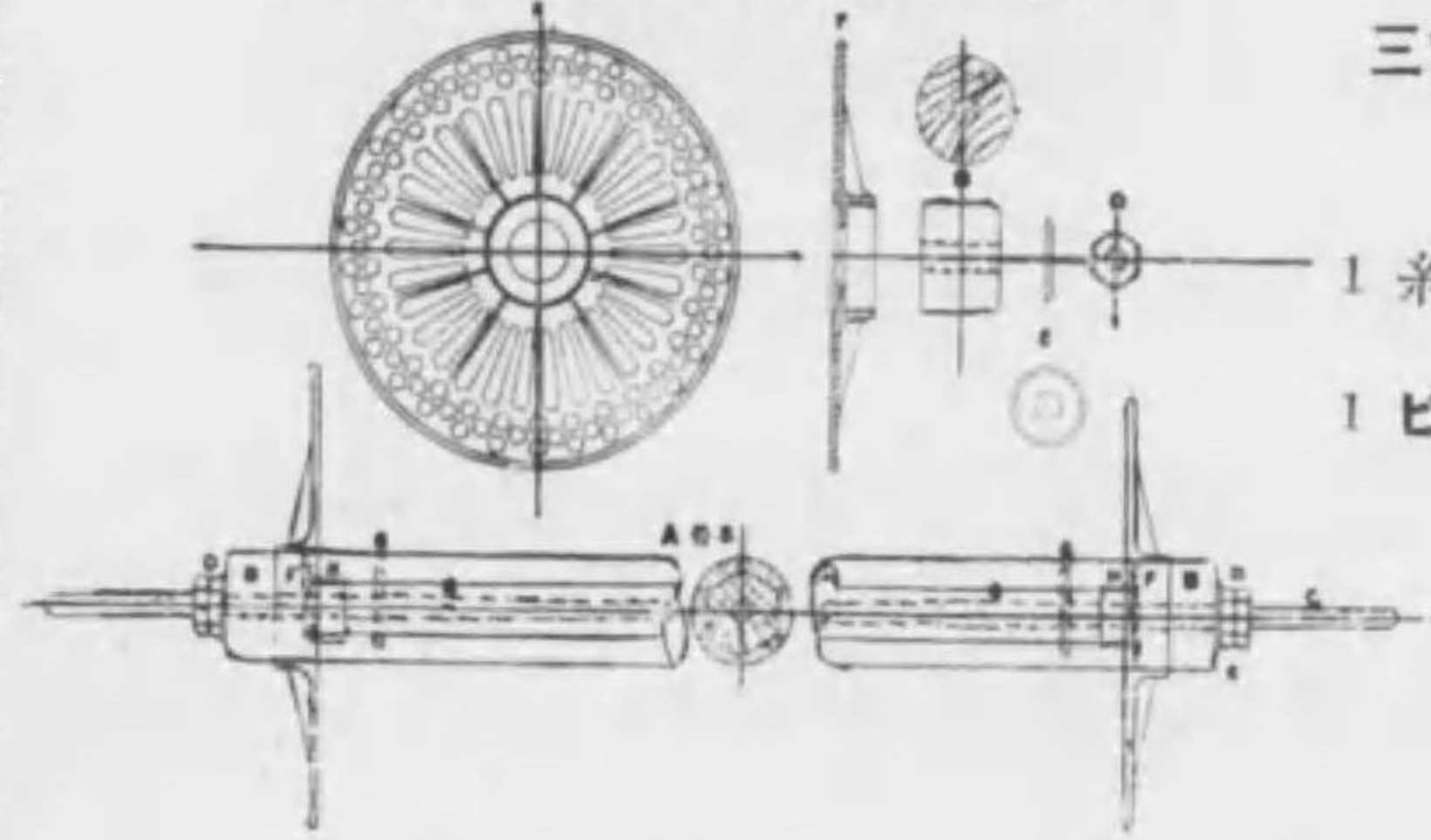
代表社員 中原 兼吉



織物諸機械附屬品一式 製作販賣店



三ツワ式特製新型荒卷ビーム



三ツワ式(金森式)
ワーパースビーム

特長

- 1 親切少ナキ事
- 1 ビームノ事 (絶対ニクルワノ事)
- 1 各糸條張力平均ナル事
- 1 從ツテ織物風合優良ナリ

豊田式織機用品製作販賣店
 坂本式織機用品製作販賣店
 三ツワ印金森式特製荒卷ビーム販賣元
 紡織用鹽化亞鉛液體結晶販賣元

金森邦三郎商店

名古屋市中區西川端町一丁目一番地(名古屋新聞社西)

電話中(3)三三二五番

工作部 名古屋市中區千早町三丁目一番地

紡織機械部分品



ダブル用

プラス・ラベツト



F式

ガイド・ホルダー



スタンダード・タイプ

スチール・ラベツト



F印

ボーセレン・ガイド

糸道安全自動止型

ガイド・ホルダー



(營業部) 大阪市東區清水谷西之町三二九番地

藤森製作所

電話東 { 一五九六番
 七〇五八番
 振替口座大阪四六四五六番

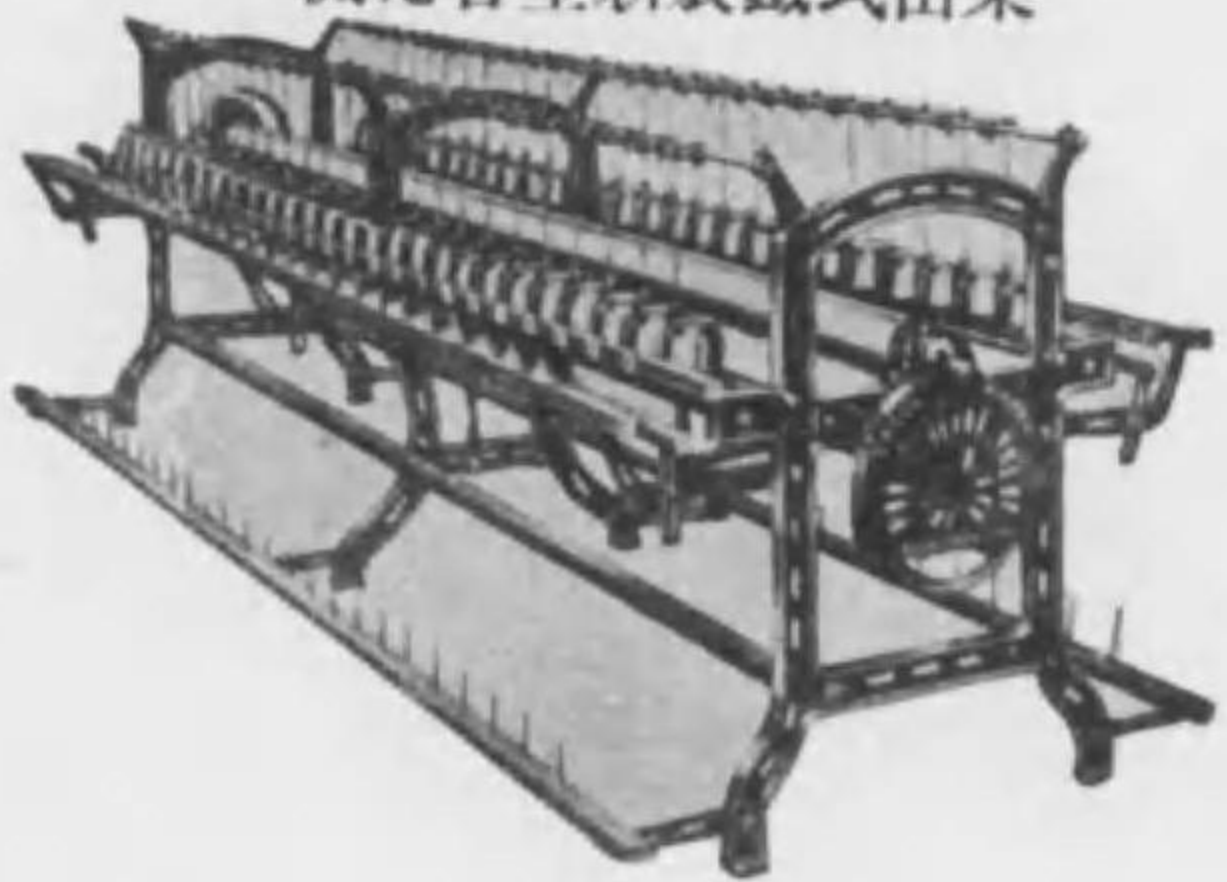
綿、絹、毛紡、人絹用各種
スピンドル及附屬品一式
其他紡機部分品一式



西田スピンドル製作所

營業所及工場
 第二工場
 名古屋市旭區鳴野町八九四ノ三
 電話 旭 二六八〇番
 名古屋市旭區鳴野町一〇九九番地
 名古屋市中區門前町大須ビル四階二〇號室
 電話 南 一八一八番

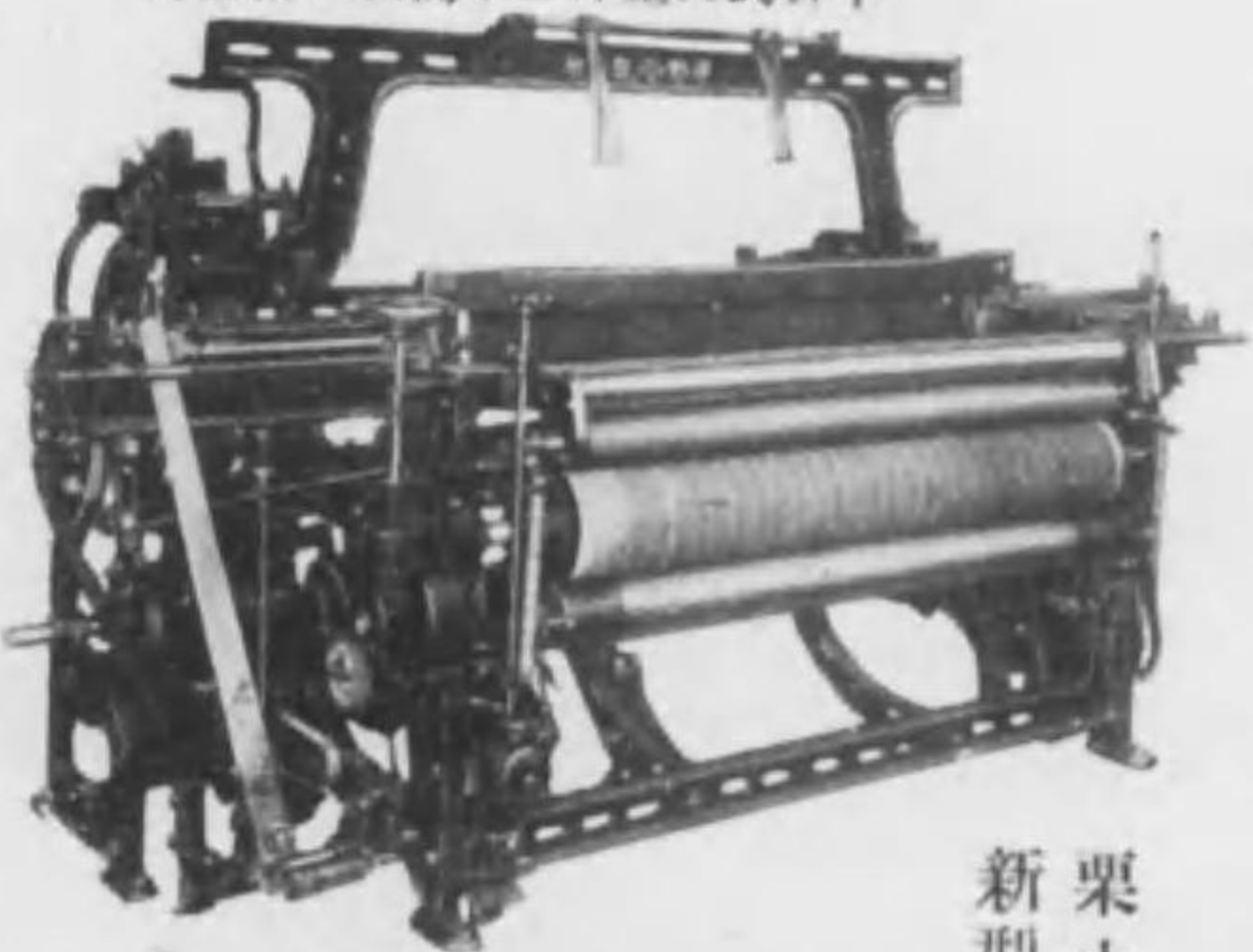
栗山式新製鐵管捲機



製造項目

紡織機械
附屬品
傳導裝置

平野式H型二片高丁綴人絹織機



平野織機製作所特約販賣代理店
 三菱工業株式會社中央代理店
 三菱工業株式會社中央代理店
 合同シャトル株式會社中央代理店
 名古屋市中區門前町私書函第四十五號
 (名古屋驛前通り泥江町二ノ八)

栗山萬次郎商店

栗山式割調車
 新型鐵製管捲機
 新製人絹、麻
 縮用鐵製總線
 機各種機械用
 チエンジホキ
 ルは如何なる
 齒數のものも
 即到御用命に
 可應候

營業部用 電話 西 一六三三五番
 振替名古屋 一四八九九番
 一四八九九番
 一四八九九番

製作部第一工場
 名古屋市中村區百船町一丁目十六
 電話 西 五九〇七番

製作部第二工場
 名古屋市中村區北一色町字草田七〇

製作部第三工場
 名古屋市中川區外新町一ノ二一



リードワイヤーとリード

品質優良
海外輸出

岡本ワイヤード製作所

所主 岡本小壽美

電話 岡天王寺(77)二五六七番
振替 大阪五四一〇一番

大阪市東成區片江町六五三(大軌線片江停東二丁)

絹・綿・麻・毛織・帆布用
リードワイヤー及ビ金箆
専門製作

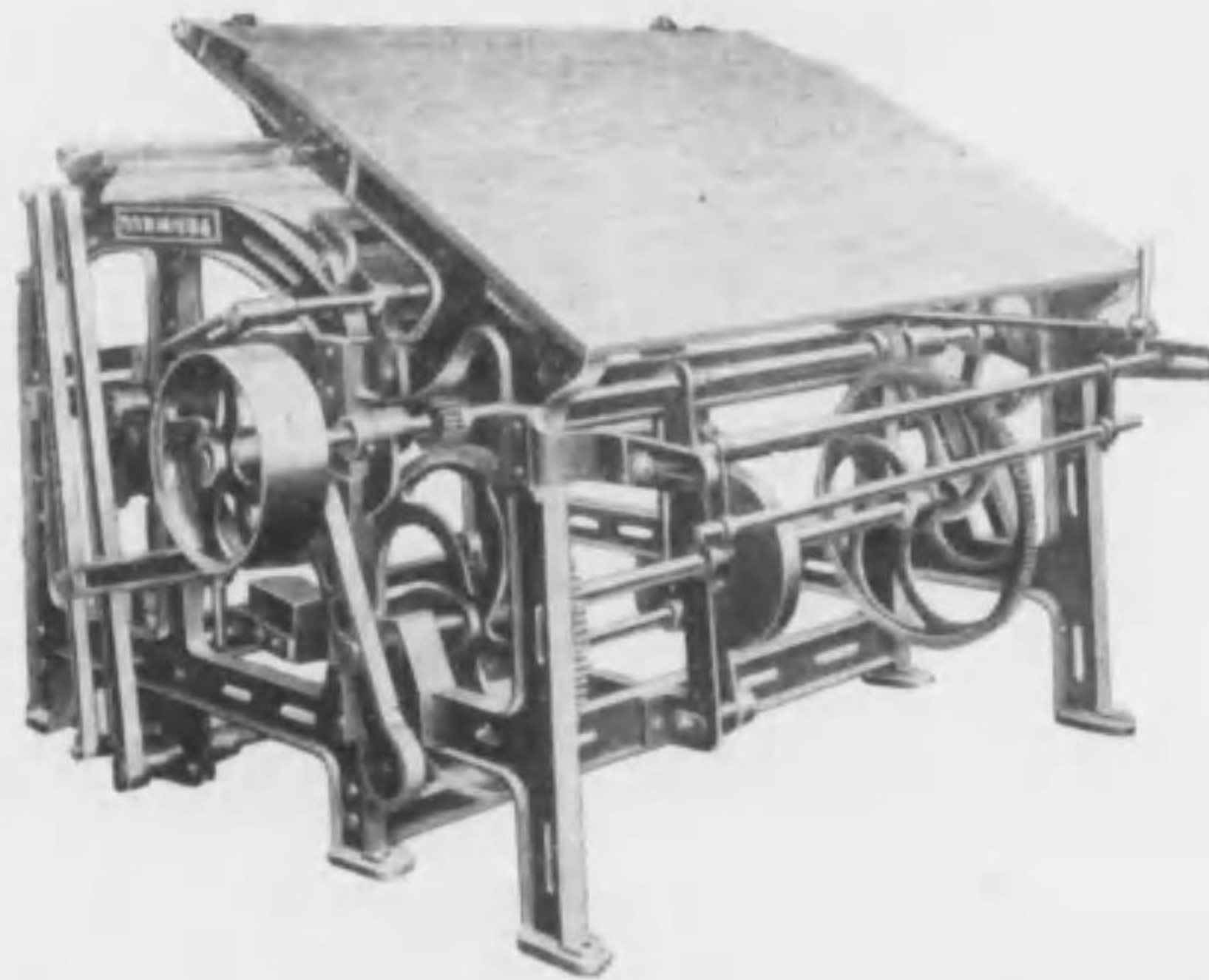
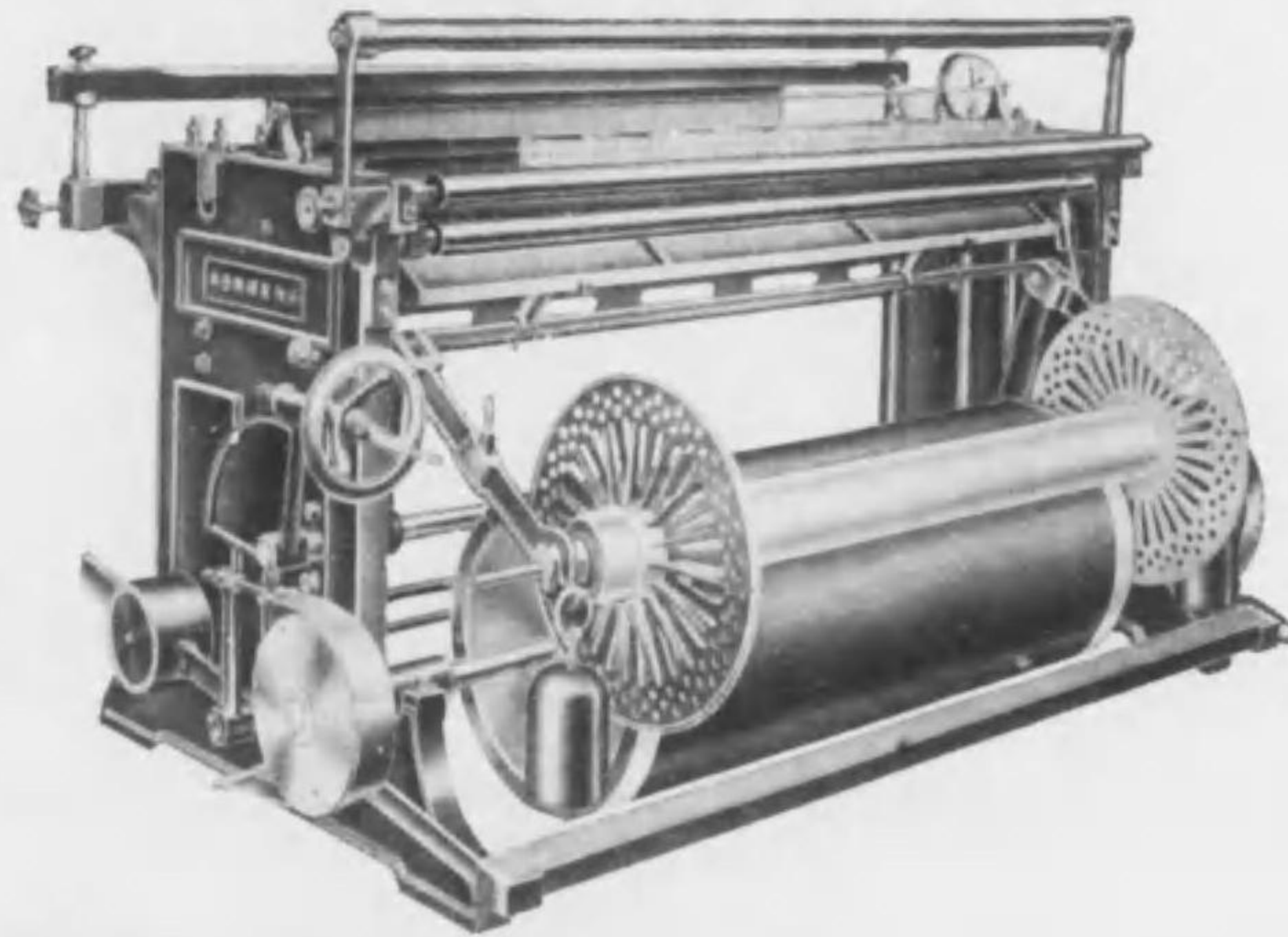


岡本リードワイヤー製作所

特前 二一七

各種準備機仕上機一式製造 工作機械製造

角田式荒捲整經機



布疊機

名古屋市中區東瓦町
角田機械製作所

電話 {營業所用 中(3) 3978番
倉庫用 瑞穂(73) 2825番

角田機械製作所

特前 二一六

登録商標

吉田鐵工所



毛織用二列十リング

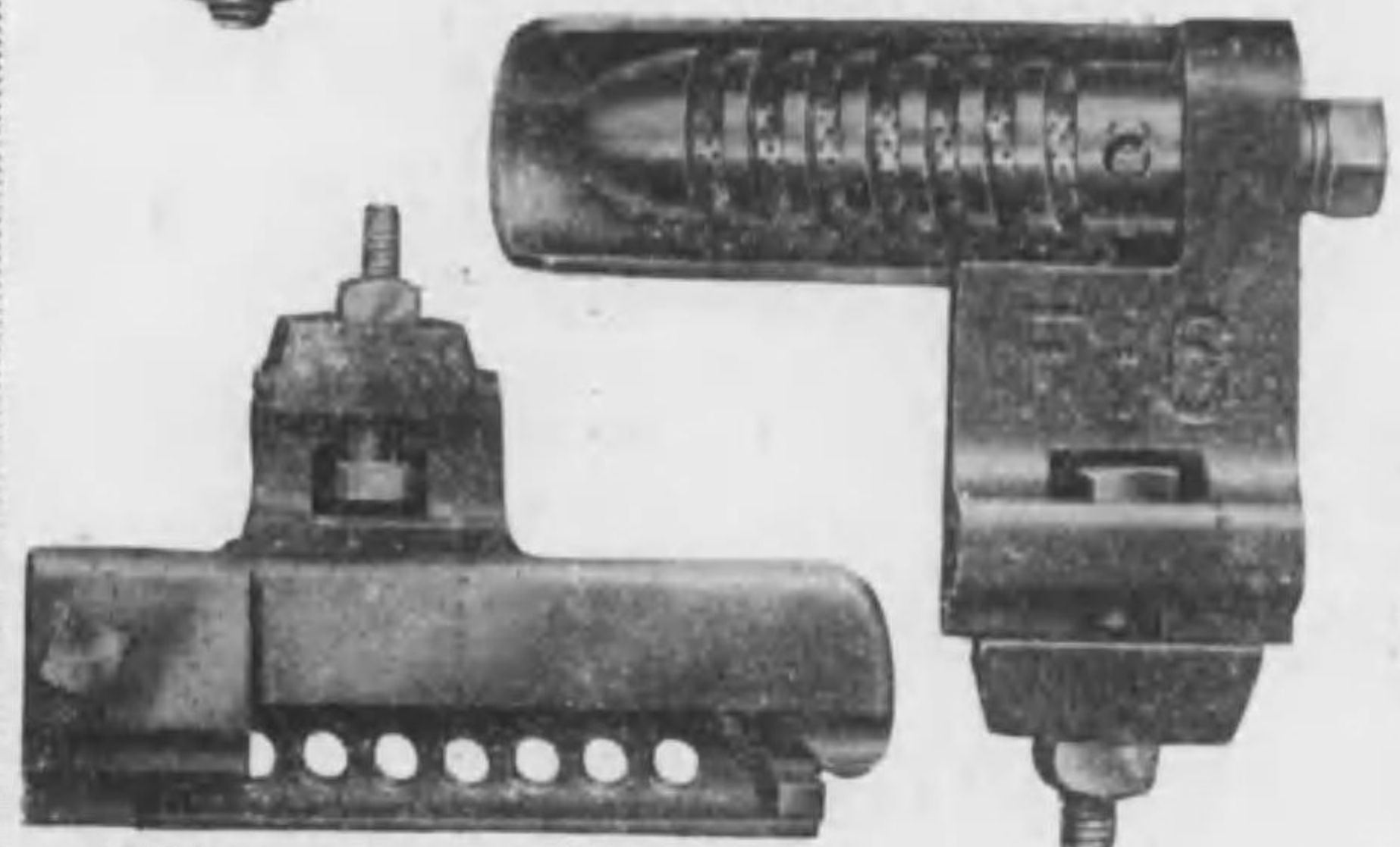
阪本式自働織機用指定製作所
リングテンプル

遠州織機用三列七リング
リングテンプル
人絹用リングテンプル
スターテンプル
デンチンクフツク
紡織機附屬品各種



遠州織機用三列七リング

綿織用三列七リング



輸出向ローラーテンプルケース



人絹用
スターテンプル

特前
二一九

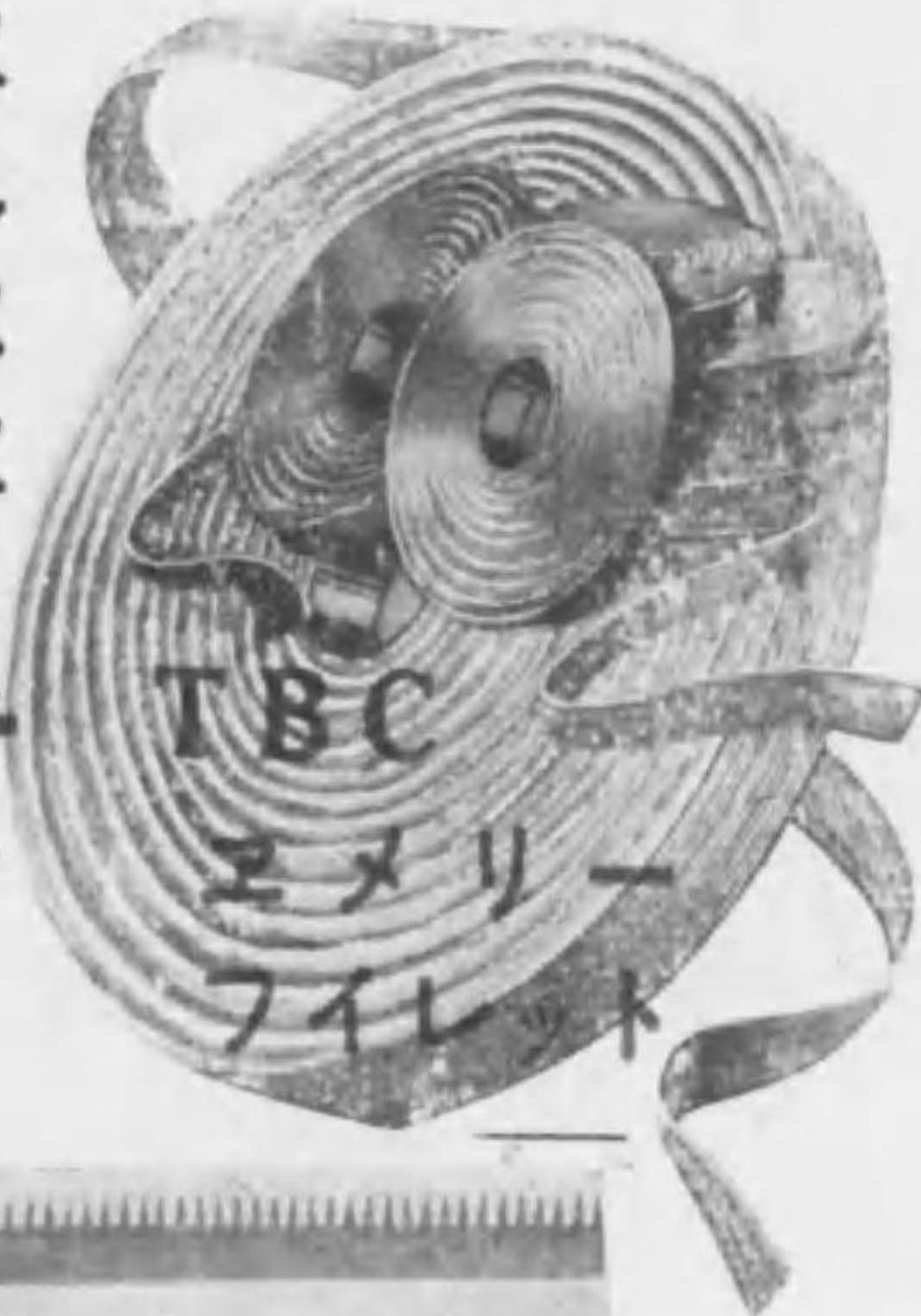
吉田鐵工所

大阪市西區京町堀通三丁目一
電話土佐堀五六五五番
振替大阪五九八〇四番
工場 大阪市此花區春日出町三三〇

國產エメリーファイレット

東京ブランケット社製
TBC BRAND

ローラー クロス
クリヤラ クロス
サイチク フランネル
アーメンスクリヤラ ^{エンドレス} クロス
ハルマ-エンドレス クロス
マシンスランケット 及
アプリケーションル及ラッピング
グリーンブラシ



カードコーム

紡織。起毛。製綿。染色。各機械
各種附屬品製作専門及ビ輸出入

田淵商店

大阪市西區立賣堀北通二丁目一番地
電話新町一七番・三二八番
工場 { 大阪市此花區下福島三丁目
大阪市港區三先町二丁目

田淵商店

特前
二一八

機械部

安宅商會

株式會社

優秀紡織諸機械

- カード及ミュール 横濱横濱機械工業株式會社
- 反毛機・磨針機一式 大阪吉村工作所
- 毛染色加工用機械 大阪山本機械製作所
- 毛織機一式 名古屋大隈鐵工所大曾根工場
- 綿・毛・人絹仕上用機械 和歌山前田鐵工所
- 梳棉機用エコノマイザ― 大阪三光工作所
- 絹紡・ラミー紡機械 今治松本鐵工所
- 人絹及化學機械 大阪楠木機械製作所
- フキルタープレス 大阪フキルタープレス製作所
- 乾燥機及送排風機一式 大阪佃機械製作所
- 給濕裝置一式 大阪杉江鐵工所
- 水管式汽罐及附屬品一式 大阪株式會社田熊研究所
- 淨水裝置一式 大阪淨水工業所
- 自動防火裝置一式 米國セントラルスプリンクラー會社
- 刺繡機械 瑞西サウラー會社
- 絹・綿・毛紡用針布 瑞西オネガー會社
- 管卷機一式 瑞西シュワイター會社
- 紡毛機械・カーテン編機 獨逸シユーベルトサルツァー會社

東京支店
 東京市麴町區丸ノ内二丁目八重洲ビル内
 電話丸之内 2181-2185

大阪市東區今橋五丁目
 電話北濱 1510-1519, 6141-6144

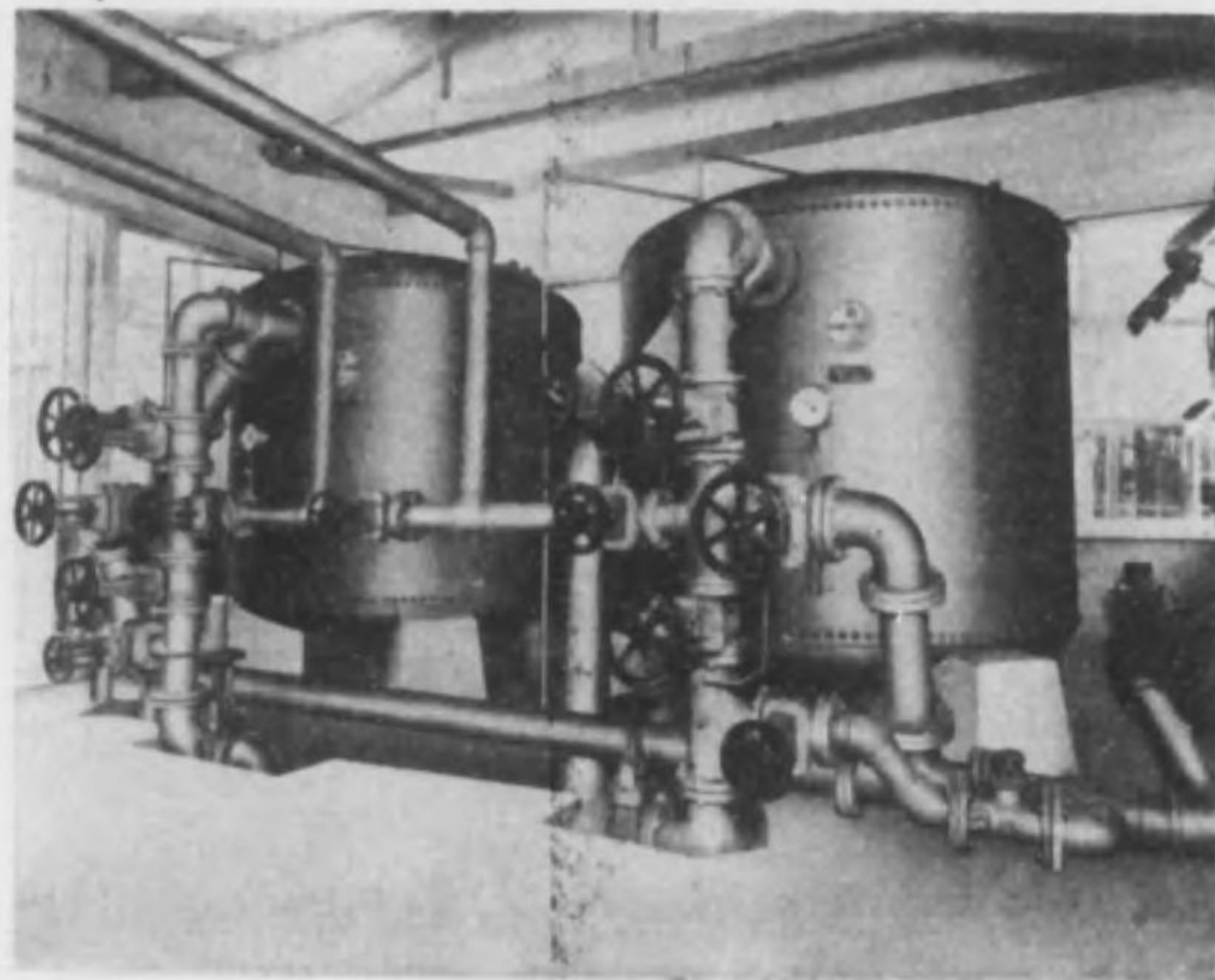
名古屋支店
 名古屋市中區廣小路通六丁目三住女ビル内
 電話本局 267・617・4170

株式會社安宅商會

淨水工業所

純國產 專賣特許

ネオパー毛硬水軟化裝置
シリコン急速濾水裝置
JK式汽罐水濃度自働調整裝置

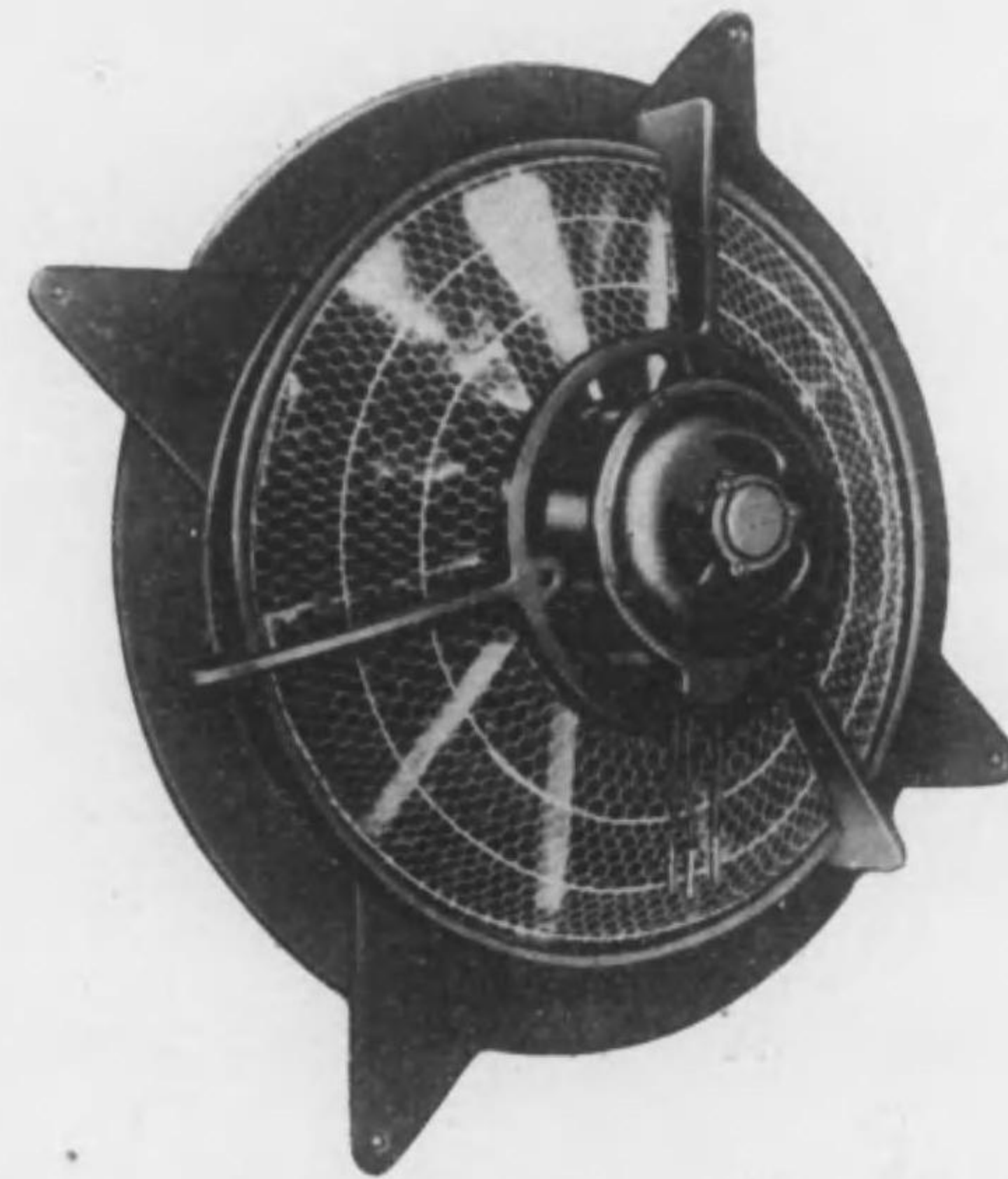


急速濾水裝置

特前
二二三

佃機械製作所

乾燥機及送排風機一式



プロペラファン

株式會社安宅商會

特前
二二三

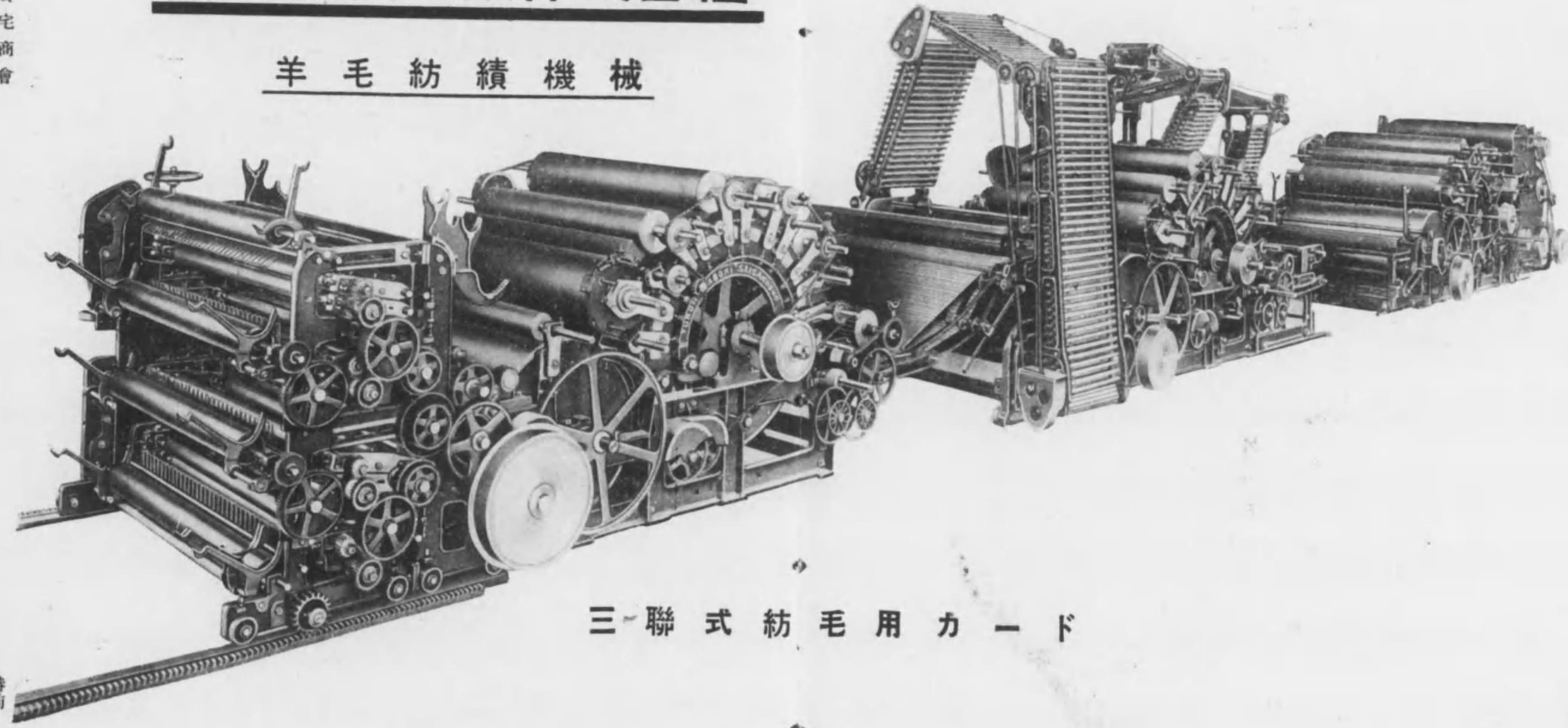
株式會社 **安宅商會** 機械部

株式會社安宅商會

橫濱機械工業株式會社

羊毛紡績機械

株式會社安宅商會



三聯式紡毛用カ一卜

特前
二二五

特前
二三四

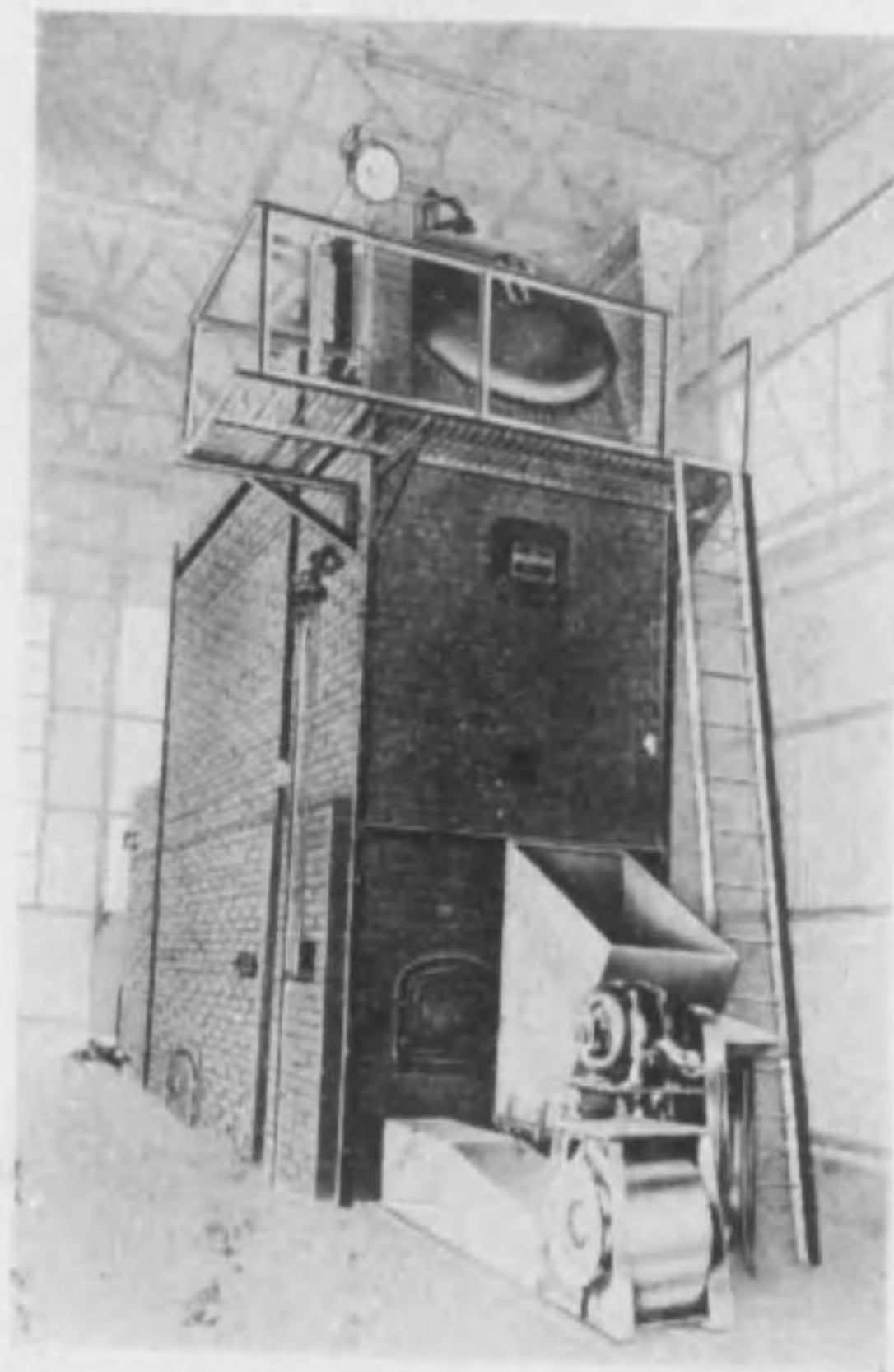
株式會社 **安宅商會** 機械部

株式會社安宅商會

株式會社 田熊研究所

高級小型水管式汽罐

つねきち ボイラー



特前
二二七

株式會社 **安宅商會** 機械部

株式會社安宅商會

フ井ルタープレス製作所

人絹・人織・染料・其他一般化學工業用
フキルタープレス及送液用各種ポンプ

専門製作



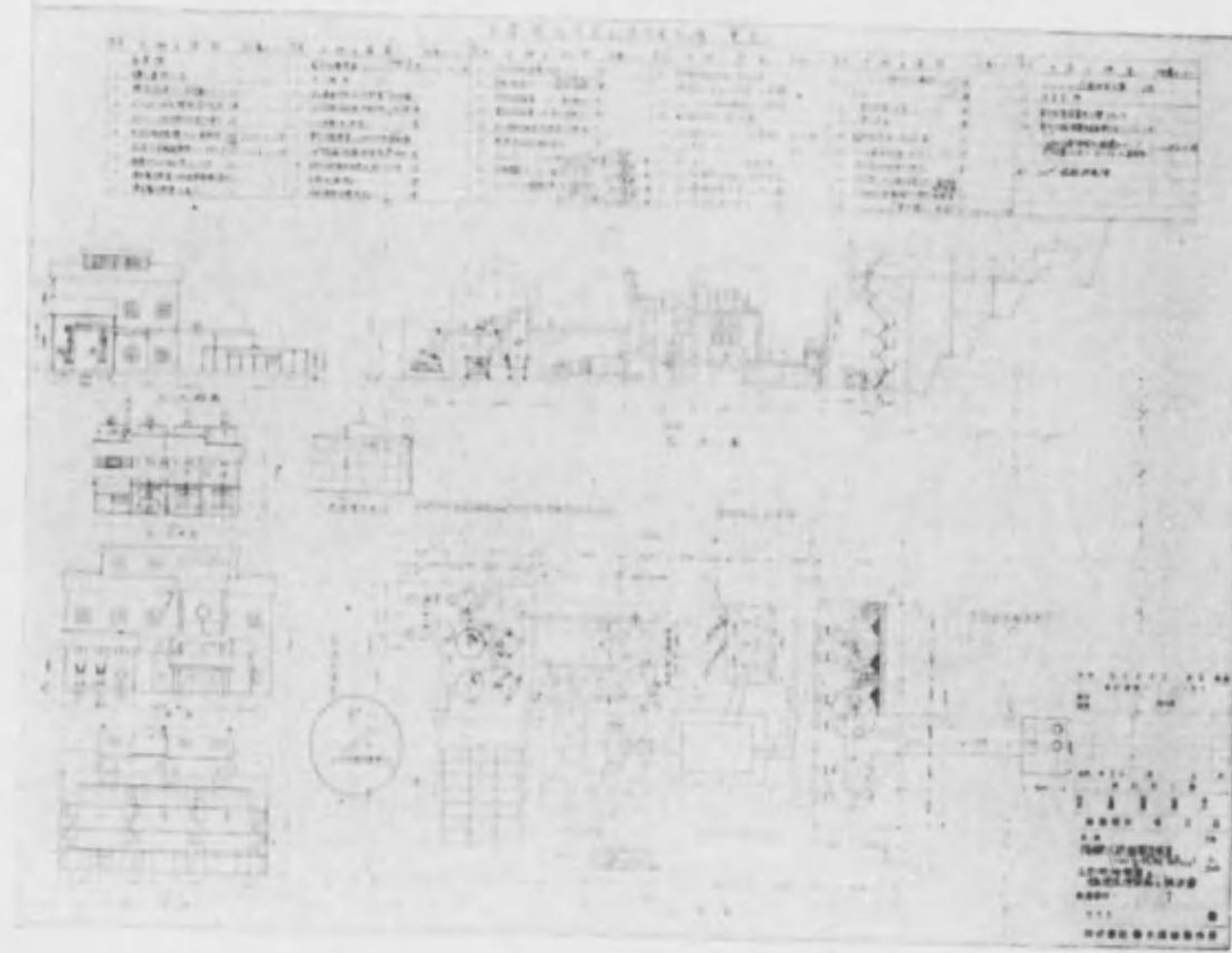
フ井ルタープレス

特前
二二六

株式會社 楠木機械製作所

株式會社 安宅商會

株式會社 安宅商會



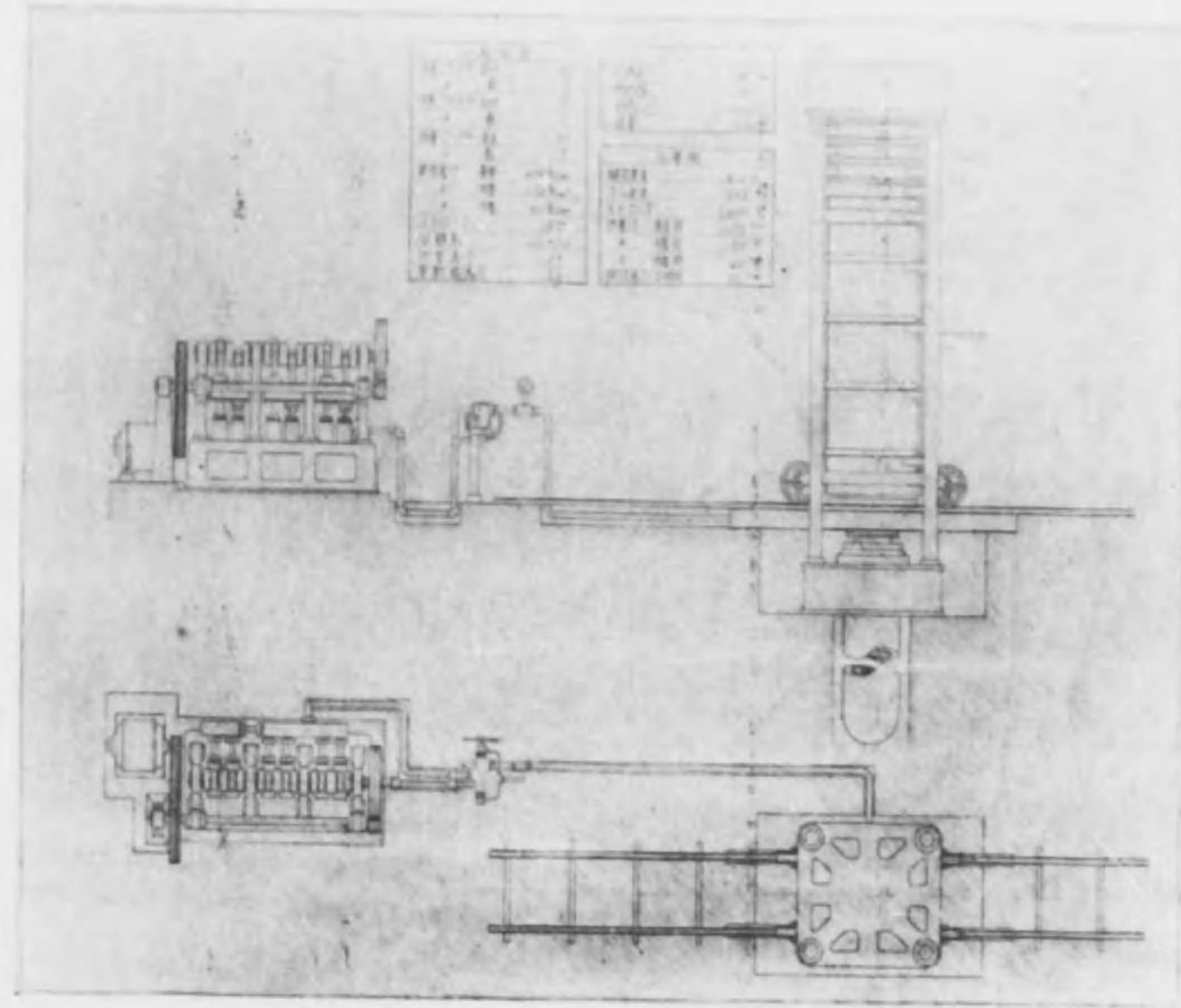
50 吨(一日)接觸式硫酸製造裝置

蒸 發 濃 縮 裝 置
 遠 心 脫 水 機
 水 壓 梱 包 裝 置

特前
 二二九

人 絹 製 造 機 械
 パ ル プ 製 造 機 械
 硫 酸 製 造 機 械

20 吨(一日)水壓梱包裝置



特前
 二二八

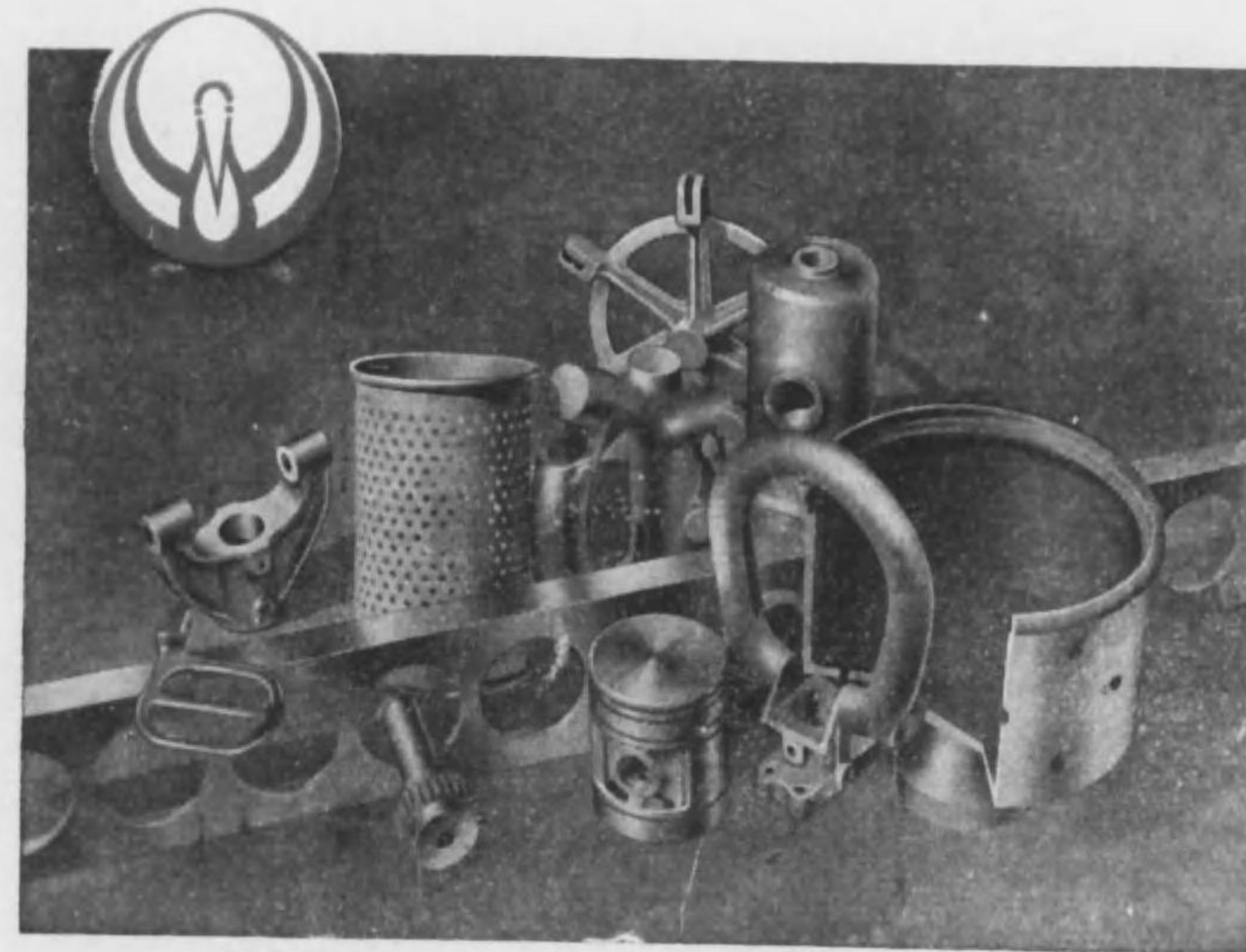
株式會社 安宅商會 機械部

紡織・人絹用

アルミニウム

ツルマル印NA各種輕合金製品

株式会社日本アルミニウム製造所



陸海軍省指定工場

株式会社 日本アルミニウム製造所

本社・工場

大阪市東淀川区宮原町

電話北④ { 3223番 3224番 4140番
4141番 1627番 1628番
三國 515番

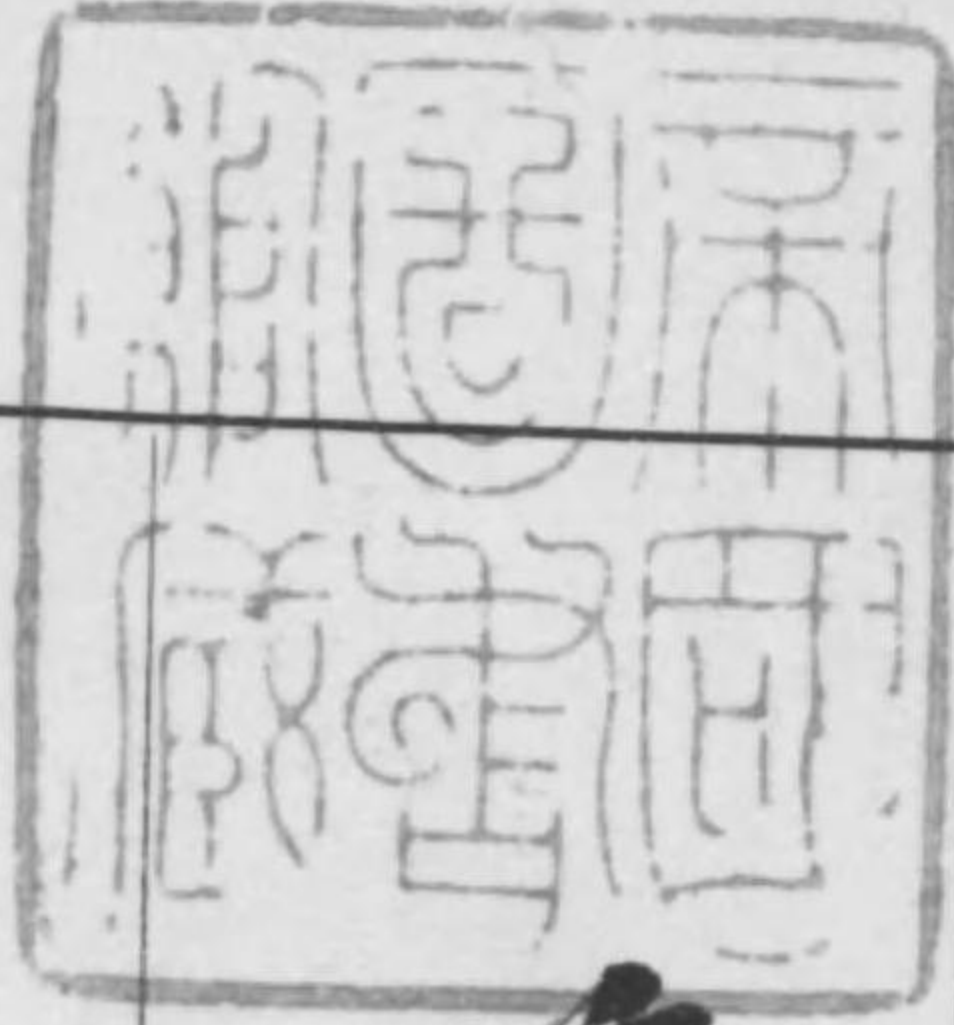
支店

東京市日本橋區大傳馬町三丁目

電話源花④ 1497番 1057番

特前 一三〇

332
204



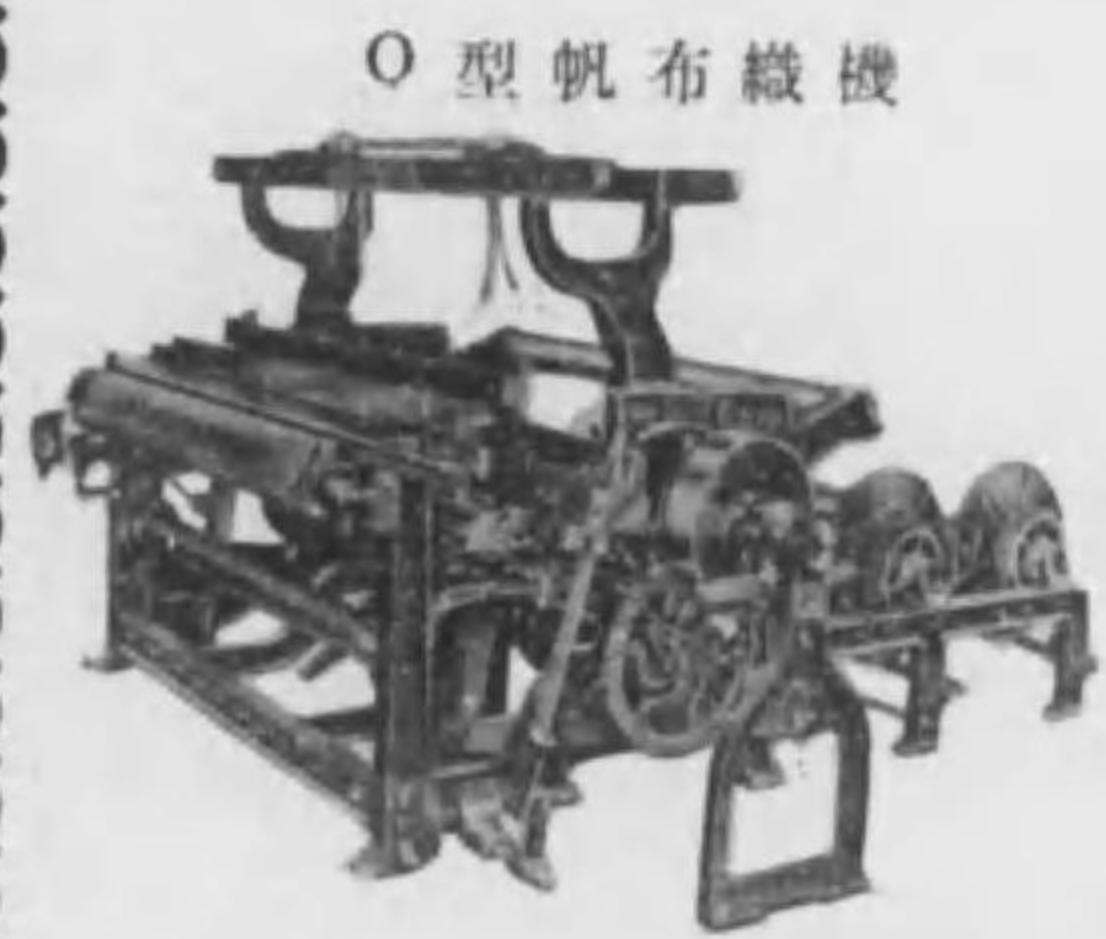
紡織要覽

昭和十四年版

合資
會社
紡織雜誌社發行



名古屋織機製造株式会社



O型帆布織機

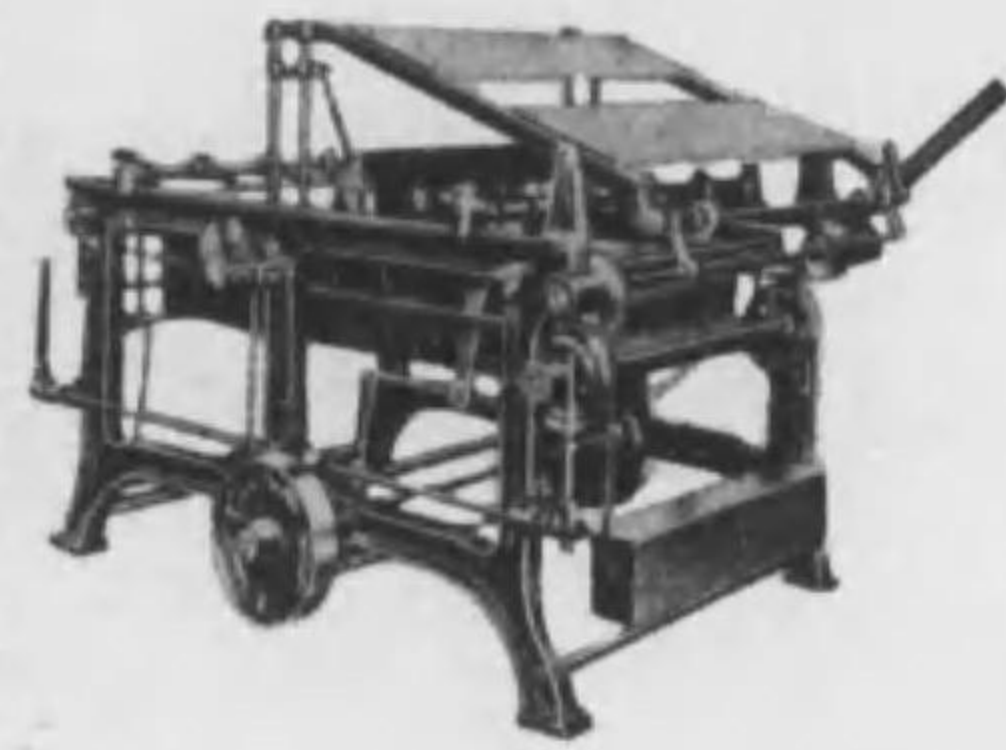


M型廣幅織機
兩側四丁杵裝置

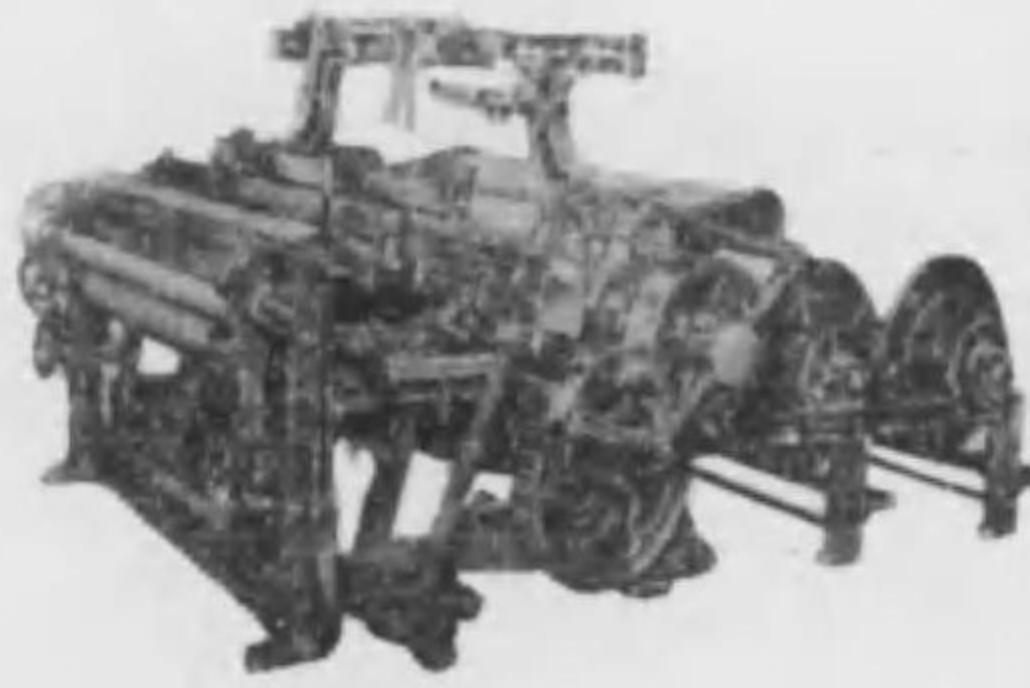
スラツシャーサイジングマシン



高級水平型布疊機



MH型帆布織機



御一報次第型録進呈

製作 { 各種織機・紡績機・染色機
整理機・撚糸機・準備機一式

名古屋織機製造株式会社

名古屋市熱田驛前(北二丁)

電話南 { 三三〇番
九四〇番

特前 二二二

産國

SOLVIL

合資会社近江屋塗料店油脂部

織布仕上處理用

本品は高分子量のナフテン系炭化水素によつて成立する、オゾケライトワックスの優れた物理的性状を強調統化し最大限に包含せしめたる、無酸、無アルカリ、長期安定の白色クリーム状エマルジョンにして然も國産原料を使用して生れ出でた斯界唯一の理想品であります。

絹、人絹、スフ、木綿、麻等全般織布、糸仕上用標準品。毛織、スフ織、混織品の仕上處理。

經糸糊 配合用

人絹を主とする經糸糊配合用(機械糊付用)。スフを主とする經糸糊配合用(機械糊付用)。人絹、スフ、經糸糊配合用(毒糊起糊及低温機械糊付用)。

スフ纖維處理劑

スフ纖維に仕上處理して柔軟と弾力とを兼備しオイル、脂肪酸系のエマルジョンの比ではありません。

店理代總所究研學化ルビルソ

部脂油店料塗屋江近 資合

番三三五五坵佐土話電 地番六日丁六島之中區北市阪大

MANUFACTURED BY

SOLVIL TEXTILE CHEMICAL LABORATORY

中表紙

一

序

今や皇軍の武威赫々として大陸に輝き、興亞販民の長期建設は漸く地につかんとしてゐる。我が繊維産業は此の多事多難の時期に當り如何にして發展の道を拓き開いて行くべきか。日本繊維産業が更に大飛躍する爲の陣痛期を切り抜けてゆく我々の責務は大である。

時宛も昭和十四年は我が紡織雜誌社創立三十周年に當る。人間で言へば而立の齡、まさに之から活躍發展すべき大轉期である。その意味で十四年版紡織要覽は内容に大改訂を加へ以て戦時體制下繊維産業界の指標とすべく念願した。幸ひにして江湖の参考とならば欣快の次第である。

昭和十三年十二月

紡織雜誌社

手塚米吉

特許出願中
超能超強力中性洗滌染色助劑

ミヨシカスデン

特許第九〇〇一四号使用許諾品
日本油脂株式会社製造 人絹・人織 柔軟平滑劑

ゾイデンソフト

一浴強力防水劑

ヘーメン

マルセール石鹼 オレイン酸 脂肪酸
整理劑 浸透劑 糊拔劑 塩縮劑 防皺劑

海軍省指定工場



三ヨシ化学興業株式会社

本社 東京市向原区吉塚町東五丁目一七
電話墨田七七八・七七八・五一八〇番
営業所 大阪………中京………北陸

ウロリーブペースト

光棉混紡用加工仕上劑

M.Y.ソフト.A

人絹・人織・柔軟仕上劑

スライデン

革期的新發明切劑劑

梳毛用純オリーブ油
各種調合油



吉村油化学研究所

営業所 大阪市北区編笠町九大江ビル
電話 北高二七二〇番
振替口座大阪七四三〇二番
工場 大阪 出張所 東京 名古屋

三ヨシ化学興業株式会社

特前 二三四

例言

一、昭和十四年版紡織要覽は内容を根本的に改革充實すると共に、新たに蠶絲・バルブ・薬品及染料・雑・官廳の各篇を設け、以て戦時纖維産業の多角的發展に對應せり。

二、綿・毛・人絹・スフ・バルブ・薬品・染料の諸部門に關しては、昭和十三年度の全貌を示す概觀を附せり。但し蠶絲篇のみは概觀に代へて統計を掲載す。

三、調査は大體昭和十三年七月八月を規準とし、可及的に各社の回答に據りたるも、出来るだけ最近の状態を載録する爲、小社調査部の資料を参考としたる點尠からず。

四、軍需工業に關聯せる諸社（特に麻・毛・薬品・染料）に在りては具體的内容・數字を發表し得ざるものあり、又昨年のデータを記載したるものあり、御諒承を乞ふ。

五、目次を詳細にし會社索引を附し且つ各篇には會社一覽表を掲げ、以て本書利用者の便宜を圖れり。

六、本書作成に關し各方面の御厚意を深謝すると共に、諸賢の批判叱正によりて更に内容の充實改善を期す。

昭和十三年師走

紡織雜誌社

紡織要覽編纂部識

昭和十四年版紡織要覽目次

序文	一	雜篇	H (一一三)
例言	二	バルブ篇	I (一一六)
目次	三—四	薬品・染料篇	J (一一六)
會社索引	三—四	織物・加工篇	K (一一八)
廣告目次	別頁一—六	組合篇	L (一一六)
綿紡篇	A (一一四)	商店篇	M (一一六)
人絹篇	B (一一六)	團體篇	N (一一〇)
ス・フ篇	C (一一六)	學校・試験場篇	O (一一五)
羊毛篇	D (一一六)	官廳篇	P (一一〇)
麻紡篇	E (一一六)	人名錄	Q (一一八)
絹紡篇	F (一一〇)	メーカー篇	R (一一三)
蠶絲篇	G (一一六)	メーカー篇 (商品別一覽)	S (一一七)

(目次)

各篇詳細目次

綿紡篇 A

全國綿糸紡績會社一覽表 A

本邦綿業概観

一、前期戦時編成 (十二年下半年ヨリ十三年上半年期)
 原棉輸入制限は強制する…………… 一六
 清算取引所機能の喪失…………… 二一
 綿業委員会の任命と綿業調整案
 最高標準價格の制定…………… 二三
 棉花輸入統制協會の設立…………… 二三
 棉花輸入逼迫の激化と操短の
 再擴張…………… 二三
 棉花消費統制と綿糸生産制限當
 スフ混用の實施と綿業統制の
 擴大…………… 二四

二、吉野統制より池田統制へ (十三年上半年期ヨリ下半年期)
 輸出向綿品の内地轉用…………… 二五
 綿業配給統制の進展…………… 二六
 綿糸の消費割當…………… 二七
 輸出向綿糸配給割當決定…………… 二七
 綿布輸出の苦悶…………… 二七
 (十三年下半年期)

全國綿糸紡績會社工場要覽 (五十音順)

輸出促進のための強硬策…………… A一八
 リンク制の實現…………… 二〇
 綿糸の公定最高價格制定…………… 二三
 輸出向綿糸の内地流入阻止…………… 二四
 補遺的諸問題…………… 二四
 綿布上場出現…………… 二四
 綿工聯・紡聯の合體問題…………… 二五
 綿布輸出不振の深化…………… 二五
 在支紡の確立…………… 二七

愛知紡績株式會社…………… A一六
 愛知織物株式會社…………… 一六
 旭紡績株式會社…………… 一六
 足利紡績株式會社…………… 一六
 和泉織物株式會社…………… 一六
 出雲製織株式會社…………… 一六
 内海紡績株式會社…………… 一六
 宇部紡績株式會社…………… 一六
 大阪紡績株式會社…………… 一六
 大阪紡績株式會社…………… 一六
 おたふくわた株式會社…………… 一六
 大町紡績株式會社…………… 一六
 近江帆布株式會社…………… 一六
 貝塚紡績株式會社…………… 一六
 鐘淵紡績株式會社…………… 一六

柏原紡績株式會社…………… A一五
 川越紡績株式會社…………… 一五
 岸和田紡績株式會社…………… 一五
 協和紡績株式會社…………… 一五
 共立モスリン株式會社…………… 一五
 錦華紡績株式會社…………… 一五
 國光紡績株式會社…………… 一五
 倉敷紡績株式會社…………… 一五
 倉敷紡績株式會社…………… 一五
 栗橋紡績所…………… 一五
 小津武林起業株式會社…………… 一五
 吳羽紡績株式會社…………… 一五
 京城紡績株式會社…………… 一五
 琴浦紡績株式會社…………… 一五
 湖東紡績株式會社…………… 一五
 株式會社近藤紡績所…………… 一五
 三光紡績株式會社…………… 一五
 佐野紡績株式會社…………… 一五
 山陽紡績株式會社…………… 一五
 昭光紡績株式會社…………… 一五
 昭和紡績株式會社…………… 一五
 昭和紡績合資會社…………… 一五
 正織株式會社…………… 一五
 泉州織物株式會社…………… 一五
 大東紡績株式會社…………… 一五
 大日本紡績株式會社…………… 一五
 龍田紡績株式會社…………… 一五

中央紡績株式會社…………… A一四
 朝鮮紡績株式會社…………… 一四
 辻紡績株式會社…………… 一四
 帝國製絲織物株式會社…………… 一四
 寺田紡績株式會社…………… 一四
 天滿織物株式會社…………… 一四
 東海紡績株式會社…………… 一四
 東邦紡績株式會社…………… 一四
 東洋紡績工業株式會社…………… 一四
 東洋紡績株式會社…………… 一四
 (東洋紡人事異動)
 豊田紡績株式會社…………… A一〇
 豊田式織機株式會社…………… 一〇
 豊田押切紡績株式會社…………… 一〇
 徳島紡績株式會社…………… 一〇
 内外紡績株式會社…………… 一〇
 日東紡績株式會社…………… 一〇
 日清紡績株式會社…………… 一〇
 原町紡績株式會社…………… 一〇
 株式會社服部商店…………… 一〇
 瀨名紡績株式會社…………… 一〇
 株式會社半田綿行…………… 一〇
 日高紡績株式會社…………… 一〇
 日出紡績株式會社…………… 一〇
 日昇紡績株式會社…………… 一〇
 平田紡績株式會社…………… 一〇

在滿支綿紡會社工場要覽 (在滿紡)

營口紡績株式會社…………… 二六
 内外綿株式會社金州支店…………… 二六
 富士瓦斯紡績株式會社安東工場…………… 二六
 奉天紡績廠…………… 二六
 滿洲福紡株式會社…………… 二七

福島紡績株式會社…………… A二〇
 富士瓦斯紡績株式會社…………… 二〇
 松太綿布株式會社…………… 二〇
 明治紡績株式會社…………… 二〇
 明治紡績株式會社…………… 二〇
 明正紡績株式會社…………… 二〇
 森紡績株式會社…………… 二〇
 森林紡績株式會社…………… 二〇
 吉見紡績株式會社…………… 二〇
 兩毛製織株式會社…………… 二〇
 若林製絲紡績株式會社…………… 二〇
 和歌山紡績株式會社…………… 二〇
 鷺津紡績株式會社…………… 二〇
 帝國製絲株式會社…………… 二〇
 杉野紡績所…………… 二〇
 泊紡績株式會社…………… 二〇
 大正製綿株式會社…………… 二〇
 西川合資會社…………… 二〇
 合同莫大小株式會社…………… 二〇

人絹篇 B

滿洲紡績株式會社…………… A二七
 (在支紡)
 國光紡績株式會社青島工場…………… A二六
 大日本紡績青島工場・上海工場…………… 二六
 上海製造絹絲株式會社…………… 二六
 上海紡績株式會社…………… 二六
 泰安紡績株式會社…………… 二六
 株式會社天津紡績公司…………… 二六
 東華紡績株式會社…………… 二六
 株式會社豊田紡績廠…………… 二六
 同興紡績株式會社…………… 二六
 内外綿株式會社上海支店…………… 二六
 同…………… 青島支店…………… 二六
 日華紡績株式會社…………… 二六
 日清紡績株式會社青島工場…………… 二六
 富士瓦斯紡績株式會社青島工場…………… 二六
 裕豐紡績株式會社(裕豐紗廠)…………… 二六
 在上海華人紡委託經營狀況…………… 二六

本邦人絹工業概観
 一、はしがき…………… B一
 二、人絹業躍進一服のかたち…………… 一
 三、本邦人絹工業の規模…………… 一
 四、需給事情概観…………… 一

五、操短制より生産統制へ	B	二八
六、生産状況	B	二二
七、事變下の輸出状況	B	二四
八、關プロツク輸出制限問題	B	二七
九、人絹リンクの採用	B	二八
一〇、最高價格制の確立	B	三三

全國人絹會社一覽表

全國人絹會社工場要覽	B	三三
(五十番順)	B	三三
旭ベンベルグ絹糸株式會社	B	三四
出雲製織株式會社	B	三四
鐘ヶ淵紡績株式會社	B	三四
錦華紡績株式會社	B	三四
倉敷絹織株式會社	B	三四
昭和人絹株式會社	B	三四
庄内川レーヨン株式會社	B	三四
第二帝國人絹株式會社	B	三四
太陽レーヨン株式會社	B	三四
大日本紡績株式會社	B	三四
帝國人造絹絲株式會社	B	三四
東洋レーヨン株式會社	B	三四
東洋紡績株式會社	B	三四
東京人造絹絲株式會社	B	三四
日本レーヨン株式會社	B	三四
日清紡績株式會社	B	三四
日本人造羊毛株式會社	B	三四

ス・フ 篇 C

全國スフ製造會社一覽表	C	一
全國スフ紡績會社一覽表	C	二
本邦ステープルファイバー	C	六
工業概観(昭和十三年度)	C	六
はしがき	C	六
スフの需給	C	六
スフ糸の需給	C	六
混紡糸の需給	C	六
スフ織物の需給	C	六
スフ及スフ製品の輸出	C	六
スフ及スフ製品の生産費	C	六

スフの統制	C	一四
スフの配給統制	C	一五
スフ糸の配給統制	C	一六
スフの價格統制	C	一六
統制と會社	C	一七

全國スフ製造會社工場要覽

(五十番順)	C	一八
旭ベンベルグ絹絲株式會社	C	一八
出雲製織株式會社	C	一八
鐘ヶ淵紡績株式會社	C	一八
錦華紡績株式會社	C	一九
倉敷絹織株式會社	C	一九
壽織維工業株式會社	C	一九
新日本レーヨン株式會社	C	二二
新興人絹株式會社	C	二三
昭和人絹株式會社	C	二三
庄内川レーヨン株式會社	C	二三
第二帝國人絹株式會社	C	二三
大日本紡績株式會社	C	二三
同(南大垣工場)	C	二三
太陽レーヨン株式會社	C	二三
帝國人造絹絲株式會社	C	二三
東洋レーヨン株式會社	C	二三
東京人造絹絲株式會社	C	二三
東洋絹織株式會社	C	二三
東邦人造絹絲株式會社	C	二三

東洋紡績株式會社	C	三
東亞織維工業株式會社	C	三
豐田光棉紡績株式會社	C	三
日東紡績株式會社	C	三
日曹人絹パルプ株式會社	C	三
新潟人絹工業株式會社	C	三
日本人造絹絲株式會社	C	三
日本人造羊毛株式會社	C	三
日本レーヨン株式會社	C	三
日清紡績株式會社	C	三
日本毛織株式會社	C	三
日出紡績株式會社	C	三
富士織維工業株式會社	C	三
福島人絹株式會社	C	三
明治レーヨン株式會社	C	三
(補遺)三眞織維工業株式會社	C	三

全國スフ紡績會社工場要覽

(スフ紡績專問)	C	三
(五十番順)	C	三
大島光棉紡績株式會社	C	三
關西シミレーン紡績株式會社	C	三
酒伊織維工業株式會社	C	三
東洋紡績株式會社	C	三
豐科紡績株式會社	C	三
同(補遺)	C	三

日本織維工業株式會社	C	四
日本光棉紡績株式會社	C	四
松田工業株式會社	C	四
(スフ紡績兼營)	C	四
愛知織物株式會社	C	四
愛知紡績株式會社	C	四
足利紡績株式會社	C	四
旭紡績株式會社	C	四
旭ベンベルグ絹絲株式會社	C	四
和泉織物株式會社	C	四
出雲製織株式會社	C	四
宇部紡績株式會社	C	四
内海紡績株式會社	C	四
小津武林起業株式會社	C	四
大阪紡績株式會社	C	四
大町紡績株式會社	C	四
近江絹絲紡績株式會社	C	四
近江帆布株式會社	C	四
大阪織物株式會社	C	四
おたふくわた株式會社	C	四
鐘ヶ淵紡績株式會社	C	四
柏原紡績株式會社	C	四
貝塚紡績株式會社	C	四
關東紡績株式會社	C	四
協和紡績株式會社	C	四
岸和田紡績株式會社	C	四

錦華紡績株式會社	C	四
倉敷紡績株式會社	C	四
倉敷製糸紡績株式會社	C	四
吳羽紡績株式會社	C	四
栗橋紡績所	C	四
湖東紡績株式會社	C	四
琴浦紡績株式會社	C	四
國光紡績株式會社	C	四
壽織維工業株式會社	C	四
近藤紡績所	C	四
佐野紡績株式會社	C	四
三光紡績株式會社	C	四
上毛絹絲紡績株式會社	C	四
新興人絹株式會社	C	四
昭光紡績株式會社	C	四
昭和紡績株式會社	C	四
新日本レーヨン株式會社	C	四
信濃絹絲紡績株式會社	C	四
株式會社杉野紡績所	C	四
泉州織物株式會社	C	四
正織株式會社	C	四
大日本紡績株式會社	C	四
龍田紡績株式會社	C	四
大正製綿株式會社	C	四
大東紡績株式會社	C	四
太陽レーヨン株式會社	C	四
高槻絹糸株式會社	C	四

中央紡績株式會社	C	五
辻紡績株式會社	"	五
帝國擔織物株式會社	"	五
天滿織物株式會社	"	五
帝國製絲株式會社	"	五
東洋紡績株式會社	"	五
東邦人造織維株式會社	"	五
東田切切紡績株式會社	"	五
東海紡績株式會社	"	五
德島紡績株式會社	"	五
東洋紡績工業株式會社	"	五
東邦紡績株式會社	"	五
泊紡績株式會社	"	五
東洋レーヨン株式會社	"	五
東洋絹織株式會社	"	五
内外綿株式會社	"	五
内外紡績株式會社	"	五
日清紡績株式會社	"	五
日東紡績株式會社	"	五
日本人造織維株式會社	"	五
日本絹絲紡績株式會社	"	五
株式會社 服部商店紡績部	"	五
濱名紡績株式會社	"	五
平田紡績株式會社	"	五

日高紡績株式會社	C	五
日出紡績株式會社	"	五
富士瓦斯紡績株式會社	"	五
福島紡績株式會社	"	五
松太綿布株式會社	"	五
明治紡績株式會社	"	五
明治紡績株式會社	"	五
明正紡績株式會社	"	五
森紡績株式會社	"	五
森林紡績株式會社	"	五
兩毛製絲紡績株式會社	"	五
若林製絲紡績株式會社	"	五
和歌山紡績株式會社	"	五
鷺津紡績株式會社	"	五
吉見紡績株式會社	"	五

羊毛篇

五、轉形期の羊毛工業鳥瞰ーリン	D	一五
ク制實績の小検討	"	一五
伊丹製絲所	D	一六
朝日毛糸紡績株式會社	"	一六
大阪毛織株式會社	"	一七
兼松羊毛研究所	"	一七
錦洲紡績株式會社	"	一七
錦華毛糸株式會社	"	一七
共同毛糸株式會社	"	一七
共立モスリン株式會社	"	一七
栗原紡績株式會社	"	一七
倉敷紡績株式會社	"	一七
昭和毛糸株式會社	"	一七
千住製絲所	"	一七
第一毛絲紡績株式會社	"	一七
大日本紡績株式會社	"	一七
大東紡績株式會社	"	一七
中央毛糸紡績株式會社	"	一七
帝國毛糸紡績株式會社	"	一七
東海毛糸紡績株式會社	"	一七
東洋毛織工業株式會社	"	一七
東洋毛絲紡績株式會社	"	一七
東洋紡績株式會社	"	一七
東洋紡績工業株式會社	"	一七

全國毛絲會社一覽表 本邦羊毛工業概観

- 一、戰時編成の萌芽
- 二、第一期戰時編成一羊毛工業とスフ工業の接觸
- 三、第二期戰時編成一リンクタ制の確立
- 四、全面的統制へのピリオードー毛糸最高價格と配給統制の登場

紡毛會社要覽

東洋毛糸株式會社	D	元
日本毛織株式會社	"	元
日本製毛工業株式會社	"	元
日本毛糸紡績株式會社	"	元
日本製絨株式會社	"	元
沼津毛織株式會社	"	元
伏原毛織株式會社	"	元
滿蒙毛織株式會社	"	元
三重製絨所	"	元
御幸毛織株式會社	"	元
宮川毛織株式會社	"	元

麻紡篇E

目白毛糸合資會社	D	四〇
東洋紡毛工業株式會社	"	四〇
米澤毛糸紡績所	"	四〇
今津紡毛株式會社	"	四〇
大阪羊毛工業株式會社	"	四〇
大津毛織株式會社	"	四〇
柏原製絲所	"	四〇
小西毛糸紡績所	"	四〇
佐野毛糸紡績所	"	四〇
住吉毛糸株式會社	"	四〇
角野毛糸工場	"	四〇
德原毛糸紡績所	"	四〇
忠岡毛糸紡績株式會社	"	四〇
深喜毛糸紡績株式會社	"	四〇
三島毛織株式會社	"	四〇
山本毛糸紡績株式會社	"	四〇
羊興毛糸紡績株式會社	"	四〇
吉野毛糸紡績所	"	四〇
一宮紡毛株式會社	"	四〇
尾張毛糸紡績合資會社	"	四〇
中京毛糸工業所	"	四〇
長谷川毛糸紡績株式會社	"	四〇
茨原毛糸紡績株式會社	"	四〇
尾西毛糸紡績工場	"	四〇
安野毛糸紡績株式會社	"	四〇
宇佐見毛織株式會社	"	四〇

全國麻紡會社一覽表 全國麻糸紡績會社工場要覽

日高株式會社	D	四七
東洋製織株式會社	"	四七
日本アングラ産業株式會社	"	四七
太陽毛織株式會社	"	四七
織維工業研究所	"	四七
東京アングラ毛糸株式會社	"	四七
東京蘭毛株式會社	"	四七
內海紡績株式會社	E	二
大阪製麻株式會社	"	二
小泉製麻株式會社	"	二
新興製麻工業株式會社	"	二
大正製麻株式會社	"	二
臺灣製麻株式會社	"	二
臺灣製麻株式會社	"	二
帝國製麻株式會社	"	二
東亞製麻株式會社	"	二
東洋麻糸紡績株式會社	"	二
東洋麻絲紡績株式會社	"	二

東洋麻工業株式會社	E	二
東京麻紡績株式會社	"	二
日本麻紡績株式會社	"	三
日本纖維工業株式會社	"	三
日本特殊纖維株式會社	"	三
日本麻紡績株式會社	"	三
日滿亞麻紡績株式會社	"	三
博多ラミー紡績株式會社	"	四
奉天製麻株式會社	"	四
滿洲製麻株式會社	"	五

絹紡篇 F

全國絹紡會社一覽表	F	一
全國絹紡績會社工場要覽(五十音順)	F	二
近江絹紡績株式會社	"	二
鐘淵紡績株式會社	"	二
關東紡績株式會社	"	四
信濃絹糸紡績株式會社	"	四
上毛絹糸紡績株式會社	"	四
末廣紡績株式會社	"	五
大日本紡績株式會社	"	五
高槻絹糸株式會社	"	六
東洋紡績株式會社	"	六

蠶絲篇 G

日東紡績株式會社	E	六
日本絹糸紡績株式會社	"	七
日本絹織株式會社	"	七
富士瓦斯紡績株式會社	"	七
合資會社九十絹業商會	"	九
九八紡績株式會社	"	九
大光紡績株式會社	"	〇
蠶絲關係諸統計	G	一
桑園段別累計年表	"	一
昭和十二年度產額	"	一
一、府縣別產額	"	一
二、種類別產額	"	三
昭和十三年度產額	"	三
一、春蠶收繭高	"	三
二、夏秋蠶收繭高	"	三
全國生糸及副蠶絲生產額	"	四
自昭和十二年六月至昭和十三年七月全國生糸生產高	"	四
生糸及屑絲、真綿、玉絲國外輸出表	"	六
屑物及炸蠶絲輸出入	"	八
全國製絲工場總數	"	九
昭和十三年七月一日に於ける製絲工場	"	〇

全國主要製絲會社一覽表 G

運轉狀況	G	〇
全國主要製絲會社一覽表	G	三
要覽(五十音順)	G	三
片倉製絲紡績株式會社	"	三
郡是製絲株式會社	"	六
鐘淵紡績株式會社	"	八
綾部製絲株式會社	"	九
株式會社石川組製絲所	"	九
岩手縣製絲株式會社	"	〇
越知製絲株式會社	"	〇
岡谷製絲株式會社	"	〇
片倉製絲株式會社	"	〇
株式會社笠原組	"	〇
河原田製絲株式會社	"	〇
關西製絲株式會社	"	〇
株式會社紀の川製絲所	"	〇
交水製絲株式會社	"	二
薩摩製絲株式會社	"	二
全南道製絲株式會社	"	二
昭和產業株式會社	"	三
大日本製絲株式會社	"	三
筒井製絲株式會社	"	三
帝國蠶絲株式會社	"	三

雜篇 H

帝國蠶絲會庫株式會社	G	三
帝國製絲株式會社	"	三
東亞製絲株式會社	"	三
東洋製絲株式會社	"	三
豐中製絲株式會社	"	三
長崎製絲株式會社	"	三
長野製絲株式會社	"	三
西川製絲株式會社	"	三
日本製絲株式會社	"	三
林組製絲株式會社	"	四
日之出製絲株式會社	"	四
府是製絲株式會社	"	四
松江片倉製絲株式會社	"	五
九ノ組製絲合名會社	"	五
滿洲製絲株式會社	"	五
若林製絲紡績株式會社	"	五
合名會社渡邊組	"	六
神榮生絲株式會社	"	六
雜纖維工業會社一覽表	H	一
雜纖維會社工場要覽	H	三
(カゼイン羊毛)	"	三
昭和產業株式會社	"	三

パルプ篇 I

東京電氣株式會社	H	八
德永板硝子株式會社	"	九
日本アスベスト株式會社	"	九
日東紡績株式會社	"	九
日東商事株式會社	"	九
日本硝織株式會社	"	九
(セロファン)	"	九
旭電化工業株式會社	"	〇
昭和透明紙株式會社	"	〇
大日本セロファン株式會社	"	〇
大日本セロファン株式會社	"	〇
高崎セロファン株式會社	"	〇
東京セロファン紙株式會社	"	〇
東洋セロファン株式會社	"	二
名古屋セロファン株式會社	"	二
富士セロローズ工業株式會社	"	二
合資會社米庄セロファン工場	"	三
(補遺)	"	三
日本輸出布帛製品株式會社	H	三
東北製織工業株式會社	H	三
全國パルプ製造會社一覽表	I	一

人絹用パルプの部.....I
製紙用パルプの部.....I

本邦パルプ工業概観

- 一、世界に於けるパルプ需給.....I
- 二、本邦に於けるパルプ需給.....I
- 三、パルプ増産計画.....I
- 四、設立する人絹パルプ会社.....I

全国パルプ製造會社工場要覽(五十音順)

- (人絹用パルプ)
 - 王子製紙株式会社.....I
 - 倉敷製紙株式会社.....I
 - 康徳製紙株式会社.....I
 - 國策パルプ工業株式会社.....I
 - 山陽パルプ工業株式会社.....I
 - 東京人造絹絲株式会社.....I
 - 東北振興パルプ株式会社.....I
 - 東邦パルプ工業株式会社.....I
 - 東洋製紙株式会社.....I
 - 東洋紡績株式会社.....I
 - 日曹人絹パルプ株式会社.....I
 - 日本人絹パルプ株式会社.....I
 - 日本パルプ工業株式会社.....I

(製紙用パルプ)

- 旭電化工業株式会社.....I
- 鴨江製紙株式会社.....I
- 樺太木材紙料株式会社.....I
- 新興パルプ研究所.....I
- 大昭和製紙株式会社.....I
- 大日本製紙工業株式会社.....I
- 太陽パルプ株式会社.....I
- 臺灣興業株式会社.....I
- 臺灣パルプ工業株式会社.....I
- 高崎製紙株式会社.....I
- 高千穂製紙株式会社.....I
- 帝國纖維パルプ株式会社.....I
- 東海製紙工業株式会社.....I
- 東洋製紙工業株式会社.....I

薬品・染料篇 J

- 全国アンモニア法曹達製造會社一覽表.....I
- 全国硫酸製造會社一覽表.....I
- 全国硫酸製造會社一覽表.....I
- 全国染料製造會社一覽表.....I

本邦薬品・染料工業界概観

- 苛性曹達界.....J
- 一、纖維工業に於ける重要性.....J
- 二、生産.....J
- 三、消費.....J
- 四、統制・價格.....J
- 五、結 び.....J
- 硫酸工業界.....J
- 二硫化炭素工業界.....J
- 染料工業界.....J

アンモニア法曹達製造會社工場要覽(五十音順)

- 旭硝子株式会社.....J
- 宇部曹達工業株式会社.....J
- 川南工業株式会社.....J
- 九州曹達株式会社.....J
- 徳山曹達株式会社.....J
- 東洋曹達工業株式会社.....J
- 日産化学工業株式会社.....J
- 滿洲曹達株式会社.....J
- 電解法曹達製造會社工場要覽.....J

- 旭ベンベルグ絹絲株式会社.....J
- 旭電化工業株式会社.....J
- 大阪曹達株式会社.....J
- 大阪阿粉株式会社.....J
- 尾崎染料化学工業所.....J
- 鐘淵紡績株式会社.....J
- 鐘淵曹達工業株式会社.....J
- 倉敷絹織株式会社.....J
- 昭和曹達株式會社.....J
- 昭和曹達株式會社.....J
- 四國曹達株式會社.....J
- 昭和人造肥料株式會社.....J
- 鶴見曹達株式會社.....J
- 株式會社鐵興社.....J
- 東洋人造肥料株式會社.....J
- 南海化学工業株式會社.....J
- 日産化学工業株式會社.....J
- 日本曹達株式會社.....J
- 日本電氣工業株式會社.....J
- 北海曹達株式會社.....J
- 保土ヶ谷曹達株式會社.....J
- 三井鑛山株式會社.....J
- 株式會社大和川染工所.....J
- ラサ工業株式會社.....J
- レーヨン曹達株式會社.....J
- 硫酸製造會社工場要覽.....J

- 宇部窒素工業株式會社.....J
- 大阪製煉株式會社.....J
- 大阪アルカリ肥料株式會社.....J
- 大阪阿粉株式會社.....J
- 關西硫酸販賣株式會社.....J
- 神島人造肥料株式會社.....J
- 神島化学工業株式會社.....J
- 昭和産業株式會社.....J
- 昭和人造肥料株式會社.....J
- 住友化学工業株式會社.....J
- 大日本特許肥料株式會社.....J
- チタン工業株式會社.....J
- 帝國人造肥料株式會社.....J
- 東洋化学工業株式會社.....J
- 東洋レーヨン株式會社.....J
- 南海化学工業株式會社.....J
- 新潟硫酸株式會社.....J
- 日本硫酸株式會社.....J
- 日本製煉株式會社.....J
- 日産化学工業株式會社.....J
- ラサ工業株式會社.....J
- 日本曹達株式會社.....J
- 福崎曹達株式會社.....J
- 三菱窒素株式會社.....J
- 矢作工業株式會社.....J

二硫化炭素製造會社

旭二化炭素製造所	元
旭ベンベルグ絹絲株式會社	元
太田廣輔	元
王子化工株式會社	元
合資會社關西硫黃工業所	元
廣陽化學工業株式會社	元
神島化學工業株式會社	元
清水硫化工業所	元
昭和和入絹株式會社	元
昭和和入絹株式會社	元
關二硫化炭素株式會社	元
大演化學工業株式會社	元
帝國化學工業株式會社	元
帝國人造絹絲株式會社	元
帝國人造絹絲株式會社	元
東京人造絹絲株式會社	元
東北化學工業株式會社	元
東洋硫黃工業株式會社	元
富山化學工業株式會社	元
南海化學工業株式會社	元
日本曹達株式會社	元
日清紡績株式會社	元
日曹人絹バルブ株式會社	元

染料及中間物製造會社

新瀉硫胺株式會社	元
日東紡績株式會社	元
日本硫黃株式會社	元
前田製藥株式會社	元
旭染料製造株式會社	元
秋陸染料製造所	元
赤堀化學工業株式會社	元
合資會社石井化學研究所	元
伊藤染料製造株式會社	元
池田化學工業株式會社	元
大阪硫化工業株式會社	元
大阪染料製造株式會社	元
尾崎染料製造株式會社	元
大阪化學工業研究所	元
オロチ染料製造所	元
王子染料製造所	元
關西染料製造合資會社	元
合資會社菊井化學研究所	元
岐阜化學工業所	元
金剛化學研究所	元
小松川染料製造所	元
採華顏料合資會社	元
山陽色素株式會社	元
三共株式會社	元

藏王化學研究所	元
山東化學工業所	元
新興化學研究所	元
合資會社菅井化學工場	元
精華化學工業株式會社	元
田岡染料製造株式會社	元
太陽化學工業所	元
中國アニリン染料製造所	元
帝國染料製造株式會社	元
德永化學研究所	元
合資會社東京染料工業所	元
東京アニリン染料製造所	元
東京染料工業株式會社	元
同盟染料商會	元
東硫化學工業株式會社	元
南海染料製造工場	元
南海色素化學工業所	元
中井色素工業所	元
內國化學工業所	元
日本染料製造株式會社	元
日本化成工業株式會社	元
日本色素製造株式會社	元
日本曹達株式會社	元
日本染料藥品製造株式會社	元
日本醋酸製造株式會社	元
日本化學工業所	元
合名會社橋本製藥所	元

平松染料工場	元
古川化學工業所	元
保土ヶ谷曹達株式會社	元
三井鑛山三池染料工業所	元
三ツ連磨化學工業所	元
三星化學研究所	元
山田化學工業所	元
由良染料株式會社	元
米本染料製造合名會社	元
合名會社米村工業所	元
淀川化學工業所	元
和歌山染料合資會社	元

大阪化工株式會社	元
大長染料製造所	元
オーストリア染料製造合資會社	元
東邦化學研究所	元
株式會社東京櫻商會	元
東洋インキ製造株式會社	元
山本化學研究所	元
硫酸製造會社補遺	元
朝日化學肥料株式會社	元
旭ベンベルグ絹絲株式會社	元
尾崎染料製造株式會社	元
住友鑛業株式會社	元
多木肥料株式會社	元
朝鮮窒素肥料株式會社	元

電氣化學工業株式會社	元
東洋高壓工業株式會社	元
日本製鐵株式會社	元
日本窒素肥料株式會社	元
日窒鐵業株式會社	元
日本染料製造株式會社	元
日本化成工業株式會社	元
日本興化學株式會社	元
日東紡績株式會社	元

後藤毛織株式會社	元
株式會社白金莫大小製造所	元
昭和製織工業株式會社	元
昭和製織株式會社	元
進華合名會社	元
杉本員三	元
精巧莫大小株式會社	元
大日本麻糸興業株式會社	元
大日本コール天紡績株式會社	元
株式會社高瀬商店	元
谷直太郎	元
田中孫次郎	元
合名會社ちきり屋織物再整部	元
千代田紡績株式會社	元
千代田紡績株式會社	元
千代田リヤス株式會社	元
千代田毛織株式會社	元
中外紡績株式會社	元
株式會社三織物工場	元
寺田織物株式會社	元
東京羅紗株式會社	元
東京莫大小株式會社	元
東京紡績株式會社	元
東京羅紗株式會社	元
東洋製糸工業株式會社	元
東洋タオル株式會社	元
特許紡績株式會社	元
内外編物株式會社	元
内外毛織株式會社	元
日本織布株式會社	元

旭織物株式會社	元
淺葉再製織布株式會社	元
岩波織物合資會社	元
榎戸織物工場	元
近江織物株式會社	元
協林紡績株式會社	元
木崎紡績合名會社	元
久保田織物工業株式會社	元
桑華織物株式會社	元

全國各種燃糸織物染色整理加工會社工場一覽	元
燃糸織物莫大小ノ部	元
東京府	元
旭織物株式會社	元
淺葉再製織布株式會社	元
岩波織物合資會社	元
榎戸織物工場	元
近江織物株式會社	元
協林紡績株式會社	元
木崎紡績合名會社	元
久保田織物工業株式會社	元
桑華織物株式會社	元

細川織業場	K	九
安宅毛織株式會社	〃	〃
青城毛織工場	〃	〃
伊藤織業場	〃	〃
伊藤岩松	〃	〃
石川織業株式會社	〃	〃
今森絹織工場	〃	〃
一宮工場	〃	〃
越路第一織物株式會社	〃	〃
太田織業場	〃	〃
小田中織物株式會社	〃	〃
上村織業株式會社	〃	〃
金澤織物株式會社	〃	〃
金戸幸平	〃	〃
加賀織物株式會社	〃	〃
加藤金工場	〃	〃
加藤巳之助	〃	〃
株式會社川崎織業場	〃	〃
木戸織業場	〃	〃
合資會社木場絹織工場	〃	〃
京都織物株式會社	〃	〃
北出織業株式會社	〃	〃
久保織業場	〃	〃
合資會社栗本織業場	〃	〃
清水商事株式會社	〃	〃
小島織業場	〃	〃
小谷織業場	〃	〃
小倉織業場	K	三
株式會社小松本商店	〃	〃
株式會社小松安井商店	〃	〃
合資會社佐久間織業場	〃	〃
新本六三郎	〃	〃
聖城織物株式會社	〃	〃
高板徳永株式會社	〃	〃
高林吉次郎	〃	〃
瀧尾織物株式會社	〃	〃
株式會社徳田織業場	〃	〃
株式會社千路織物工場	〃	〃
東織業場	〃	〃
土下織業場	〃	〃
綿田織業場	〃	〃
名馬織物工場	〃	〃
中川織業場	〃	〃
中村織業場	〃	〃
西上常吉	〃	〃
株式會社能登織物工場	〃	〃
兵庫織物合名會社	〃	〃
北陸製絹株式會社	〃	〃
北國漁網製糸會社	〃	〃
合資會社羽爲織物工場	〃	〃
福親製糸株式會社	〃	〃
福田三太郎	〃	〃
福岡織業場	〃	〃
藤岡織業場	〃	〃
丸一株式會社	〃	〃
丸一森本工場	〃	〃
合資會社丸一織業場	K	三
丸三織物株式會社	〃	〃
合資會社丸三洋川工場	〃	〃
丸谷絹織株式會社	〃	〃
丸谷織業場	〃	〃
合資會社丸谷商店	〃	〃
合名會社松崎織業場	〃	〃
松任製糸織物株式會社	〃	〃
三島幸次郎	〃	〃
宮本合資會社	〃	〃
盛田喜作	〃	〃
村井織業場	〃	〃
山田長太工場	〃	〃
山又織業株式會社	〃	〃
合資會社安田商店	〃	〃
合名會社山新織業場	〃	〃
吉田絹織物工場	〃	〃
米澤實	〃	〃
良川織物第二工場	〃	〃
麗陽織物株式會社	〃	〃
丸益絹毛株式會社	〃	〃
株式會社丸三製糸織物工場	〃	〃
株式會社丸三織業場	〃	〃
合名會社ミクニ工業所	〃	〃
福井縣	〃	〃
朝日織物株式會社	〃	〃
今立製糸織物株式會社	〃	〃
織田織物株式會社	〃	〃
河内彌平工場	〃	〃

株式會社金津織業場	K	六
勝山織業兄弟合資會社	〃	〃
北陸胡布株式會社	〃	〃
會茂織物株式會社	〃	〃
佐々木織物株式會社	〃	〃
酒伊合同紡織株式會社	〃	〃
酒井織物株式會社	〃	〃
鯖江製糸織物株式會社	〃	〃
白崎織物株式會社	〃	〃
島崎織物株式會社	〃	〃
坪金合資會社	〃	〃
東洋織産工業株式會社	〃	〃
東華織物合資會社	〃	〃
日出織物株式會社	〃	〃
日滿織維工業株式會社	〃	〃
春江織物株式會社	〃	〃
橋本製糸織物株式會社	〃	〃
藤田織物株式會社	〃	〃
九二織物株式會社	〃	〃
合資會社松文織業場	〃	〃
山田織物株式會社	〃	〃
合資會社山岸織業場	〃	〃
株式會社安本織業場	〃	〃
吉岡織物株式會社	〃	〃
山梨縣	〃	〃
池田織業株式會社	〃	〃
富山製織株式會社	〃	〃
富山製糸工業株式會社	〃	〃
長野縣	〃	〃
伊那織布會社	K	〇
上條染織工場	〃	〇
株式會社松本精練所	〃	〇
丸山織物工場	〃	〇
青木工場	〃	〇
徳織物株式會社	〃	〇
鴨飼孫一	〃	〇
大垣毛織株式會社	〃	〇
岡徳織布合資會社	〃	〇
加藤工場	〃	〇
神谷一	〃	〇
合名會社玉榮社	〃	〇
小島清藏	〃	〇
田中清吉	〃	〇
藤井爲三郎	〃	〇
伏見彌三郎	〃	〇
松原治郎	〃	〇
株式會社村井織布工場	〃	〇
山内工場	〃	〇
静岡縣	〃	〇
イ織布合名會社	〃	〇
飯田末八	〃	〇
合資會社伊藤織布工場	〃	〇
大竹織布工場	〃	〇
加藤忠織物株式會社	〃	〇
合資會社金原織布工場	〃	〇
木俣物産織物合資會社	〃	〇
小杉織物合資會社	〃	〇
毒織物株式會社	K	〇
西遠織布株式會社	〃	〇
昭和織布合資會社	〃	〇
下位織物株式會社	〃	〇
城北織業株式會社	〃	〇
鈴岡織物株式會社	〃	〇
生熊紡績織布株式會社	〃	〇
高橋合資會社	〃	〇
高島工場	〃	〇
竹内織物合名會社	〃	〇
瀧高織物合資會社	〃	〇
神陽合資會社	〃	〇
寺田商事合名會社濱松支店	〃	〇
天龍織業株式會社	〃	〇
東京製糸株式會社	〃	〇
東海織布合資會社	〃	〇
豊濱織布株式會社	〃	〇
東京人胡織物株式會社	〃	〇
外山織物合名會社	〃	〇
合資會社濱織	〃	〇
廣益織物株式會社	〃	〇
引佐織布株式會社	〃	〇
福羽製糸株式會社	〃	〇
丸助織物合資會社	〃	〇
丸松織布合資會社	〃	〇
マルケイ合資會社	〃	〇
山口織布合資會社	〃	〇
吉津織布株式會社	〃	〇
淺野毛織工場	〃	〇

田中蚊帳製織合資会社	五
日本ビロード株式会社	五
濱田製織合資会社	五
富士物産株式会社	五
京都府	五
石崎嘉吉郎商店	五
市川組機業株式会社	五
今西織布工場	五
大西織布工場	五
大代仁兵衛九條工場	五
梶田織布工場	五
京都製織株式会社	五
京都紡織株式会社	五
小林織布工場	五
近藤興宗治郎工場	五
行武兵衛工場	五
株式會社竹村商店	五
玉川織布株式会社	五
中野織布工場	五
中野毛織合資会社	五
不二製織株式会社	五
細井恒次郎工場	五
株式會社九居商店第一製造所	五
大阪府	五
朝日織布株式会社	五
旭紡織株式会社	五
淺利洋行	五
合資会社淺野商店	五
和泉人絹株式会社	五

一〇唐縮縮工場	五
和泉サイジング株式会社	五
和泉縮布株式会社	五
泉タオル株式会社	五
泉永織布工場	五
磯原毛織株式会社	五
上ノ山織布工場	五
梅田織物工場	五
惠美須織物株式会社	五
大島織布株式会社	五
大杉織布株式会社	五
大津川製織株式会社	五
大阪縮染株式会社	五
大北織布株式会社	五
合資会社東村織布工場	五
大地織物合資会社	五
岡村織布工場	五
岡田利吉織布工場	五
岡田織物株式会社	五
藤原織布株式会社	五
萩原人絹株式会社	五
株式會社帯谷商店	五
柏原製織所	五
河内紡織株式会社	五
川崎織布株式会社	五
川崎織布株式会社	五
貝塚木綿株式会社	五
片山メリヤス工場	五
銀治田友織工場	五

金貨メリヤス株式会社	六
龍平支那工場	六
紙谷商事株式会社	六
金殿商店	六
岸和田煉瓦製業株式会社	六
合名会社胡川織布工場	六
北田織布工場	六
黒島織布株式会社	六
熊取織物株式会社	六
久保熊織布工場	六
久保熊織布株式会社	六
古谷喜雨太	六
株式會社古妻織布工場	六
小林米太郎	六
坂本織布工場	六
株式會社佐々木商店	六
昭和織布合資会社	六
合資会社自然田織物工場	六
合名会社信達織物工場	六
新存家織物株式会社	六
住江織物株式会社	六
泉陽紡織株式会社	六
泉一編布株式会社	六
泉風織布株式会社	六
泉北織布株式会社	六
泉北丸三織布株式会社	六
泉南織布株式会社	六
太陽織布株式会社	六
太陽メリヤス株式会社	六

田尻織物株式会社	六
田治米織物株式会社	六
田中淺治郎	六
高岡製織所	六
株式會社辻久商店	六
帝國製糸株式会社	六
天滿製糸株式会社	六
合資会社殿谷織布工場	六
東洋帆布株式会社	六
鳥取織布株式会社	六
塔筋與次郎	六
東尾伴五郎	六
永井メリヤス製造所	六
道明織布工場	六
南北織布株式会社	六
龍華尾糸合名会社	六
仲谷織布工場	六
中道織布株式会社	六
中東織布工場	六
中林織布株式会社	六
日本製網株式会社	六
日本絹毛紡織株式会社	六
西松メリヤス株式会社	六
西野織布工場	六
西出織布工場	六
日本メリヤス株式会社	六
日本浴巾株式会社	六
服部綱一郎	六
林織物合資会社	六
高山織布工場	六

八田織物株式会社	六
春木織布工場	六
七里英雄	六
合資会社双馬商會	六
福助足袋株式会社	六
府中織物株式会社	六
藤橋織布株式会社	六
眞子毛糸紡績所	六
眞子毛糸紡績工場	六
正木メリヤス工場	六
正木 佐吉	六
丸松合資会社	六
前新毛織株式会社	六
溝口毛糸紡績工場	六
南川 義雄	六
南織物株式会社	六
見和織物株式会社	六
三島毛織株式会社	六
村岸莫大小株式会社	六
村瀬人絹織布工場	六
森田織布株式会社	六
森井織布株式会社	六
森本毛糸紡績工場	六
森本毛糸紡績工場	六
森孫風呂敷加工工場	六
八田織物株式会社	六
山中織物株式会社	六
株式會社山發商店	六
山中幸友織工場	六
八幡織布株式会社	六
八坂織物株式会社	六

山田徳永株式会社	七
山道文次郎	七
敬織物株式会社	七
合資会社横田織布工場	七
横田彌太郎工場	七
浪速紡織株式会社	七
中山織布株式会社	七
兵庫縣	七
阿江織布工場	七
秋田市太郎織布工場	七
秋田横沼織布工場	七
合資会社稻岡商店	七
岩井織布工場	七
依藤松太郎工場	七
榮織工業株式会社	七
岡田義輝工場	七
近江絹布合資会社	七
神戸帆布合資会社	七
古坂帆布株式会社	七
岡田太一郎	七
高瀬織布株式会社	七
高林商店	七
高田 福次	七
但馬織物株式会社	七
帝國帆布株式会社	七
出石織物株式会社	七
東亞紡織株式会社	七
南越織物株式会社	七
日本製業株式会社	七

日本フェルト工業株式會社	〇七
播磨帆布株式會社	〇七
長谷川織物工場	〇七
姫路莫大小株式會社	〇七
姫田第一工場	〇七
藤本織布第一工場	〇七
藤本織布第四工場	〇七
藤本織布第六工場	〇七
荻野織布工場	〇七
泰久商店	〇七
瀧原メリヤス製造株式會社	〇七
九万第三工場	〇七
水谷織物株式會社	〇七
村喜分工場	〇七
合資會社村上喜兵衛商店	〇七
合資會社來住織物商店	〇七
麗陽織物株式會社	〇七
和田織物合名會社	〇七
奈良縣	〇七
倭織布株式會社	〇七
平井裕次郎工場	〇七
平松織布合資會社	〇七
藤岡織布株式會社	〇七
奈良織布株式會社	〇七
和歌山縣	〇七
紀陽織布株式會社	〇七
合同莫大小紡績株式會社	〇七
高田織機株式會社	〇七
富永織布工場	〇七

合資會社中島商店織布部	〇七
中村織布工場	〇七
南海天宮織株式會社	〇七
南陽織布株式會社	〇七
九三織布株式會社	〇七
合資會社九宮織布工場	〇七
株式會社和歌山製織工場	〇七
和歌山織布株式會社	〇七
岡山縣	〇七
淺野織物合資會社	〇七
株式會社井原織物所	〇七
井原興業株式會社	〇七
合資會社大島本店	〇七
大江織物工場	〇七
株式會社岡野織物工場	〇七
岡本織布株式會社	〇七
岡山製織株式會社	〇七
小田織布株式會社	〇七
尾崎商業株式會社	〇七
倉敷織布株式會社	〇七
兒島織物株式會社	〇七
後月織物株式會社	〇七
山陽織物合資會社	〇七
高尾織物株式會社	〇七
大日本織物株式會社	〇七
中國織物株式會社	〇七
津山タオル製織株式會社	〇七
東洋織物株式會社	〇七
中塚織布株式會社	〇七

內藤織物株式會社	〇七
南兒織物合資會社	〇七
日本織布株式會社	〇七
日本殖産株式會社	〇七
東森織物合資會社	〇七
備前小倉織株式會社	〇七
備前織物株式會社	〇七
備前物産株式會社	〇七
山本織布株式會社	〇七
矢掛織布株式會社	〇七
合資會社丸高織工場	〇七
廣島縣	〇七
鶴野織布工場	〇七
大平織布工場	〇七
河合織物株式會社	〇七
掛江恒太郎	〇七
倉田帆布會社	〇七
合名會社自重堂	〇七
合資會社葉田織物工場	〇七
宜山織布會社	〇七
竹内合資會社	〇七
佐竹織布工場	〇七
高垣久太郎	〇七
沼隈織物株式會社	〇七
野田製布工場	〇七
株式會社八興社	〇七
日の出帆布合資會社	〇七
平地織物合名會社	〇七
備後織物合資會社	〇七
備後藍精株式會社	〇七

福山織物合名會社	〇七
本場關戸蚊帳株式會社	〇七
九八織物株式會社	〇七
眞備後織物工場	〇七
水谷織物株式會社	〇七
三木俊雄	〇七
横濱帆布株式會社尾道工場	〇七
吉重合名會社	〇七
株式會社吉岡商店	〇七
山口縣	〇七
旭織布株式會社	〇七
大島織物株式會社	〇七
周防織物株式會社	〇七
原織布工場	〇七
吉井織布工場	〇七
德島縣	〇七
旗妻織布株式會社	〇七
株式會社長尾商店	〇七
香川縣	〇七
株式會社逸見商店	〇七
大路商事株式會社	〇七
合名會社白方機織布工場	〇七
登瀛織物株式會社	〇七
中瀬織物株式會社	〇七
合名會社濱田機織布工場	〇七
松山製布株式會社	〇七
松山染織株式會社	〇七
山十織物合資會社	〇七

合資會社朝日織布工場	〇七
愛媛縣	〇七
阿部株式會社	〇七
伊川織物工場	〇七
今治機業合資會社	〇七
今治織物株式會社	〇七
入山織布株式會社	〇七
宇和島織布合資會社	〇七
愛媛織布株式會社	〇七
岡田織布合資會社	〇七
菊池織布株式會社	〇七
株式會社木原織布工場	〇七
小松製布株式會社	〇七
株式會社興業社	〇七
昭和織物株式會社	〇七
高橋梅太郎工場	〇七
合資會社西村機織布工場	〇七
合資會社野間工場	〇七
八幡濱織布株式會社	〇七
廣浮タオル合資會社	〇七
平井合名會社	〇七
丸今織布株式會社	〇七
丸喜織布株式會社	〇七
三好織布株式會社	〇七
高知縣	〇七
濱田織物工場	〇七
安岡織物工場	〇七
福岡縣	〇七

久留米精株式會社	〇七
國式特許精合名會社	〇七
株式會社佐藤商店織布工場	〇七
清水合資會社	〇七
つちやたひ合名會社	〇七
株式會社松居織工場	〇七
佐賀縣	〇七
佐賀綿糸株式會社	〇七
鹿兒島縣	〇七
社團法人鹿兒島縣授産所	〇七
西薩織物株式會社	〇七
臺灣	〇七
東興商會東興タオル工場	〇七
臺灣織機株式會社	〇七
臺灣織布株式會社	〇七
臺灣織物株式會社	〇七
朝鮮	〇七
京城織組株式會社	〇七
京城紡織株式會社	〇七
朝鮮棉花株式會社織布工場	〇七
朝鮮織物株式會社	〇七
朝鮮胡麻株式會社	〇七
旭胡麻株式會社	〇七
東海織物株式會社	〇七
京畿織機株式會社	〇七
新光織物株式會社	〇七
泰昌織物株式會社	〇七

晒染色整理加工ノ部

青木染工場	九〇
伊藤染工場	九〇
株式會社梅田起毛染色工場	九〇
武榮織物整理株式會社	九〇
中央防水布株式會社	九〇
東京ベルベット株式會社	九〇
東洋紡織工業株式會社水神工場	九〇
東洋紡織工業株式會社	九〇
東洋紡織工業株式會社	九〇
東洋防水布製造株式會社	九〇
東京染織株式會社	九〇
東京染布株式會社	九〇
西室染布株式會社	九〇
日本染織株式會社	九〇
日本染色株式會社	九〇
日本加工織布株式會社	九〇
日本織布加工株式會社	九〇
日新染布株式會社	九〇
濱野商事株式會社	九〇
株式會社八王寺織物整理染色工場	九〇
平岡染織株式會社	九〇
福井織物株式會社	九〇
松本染工場	九〇
宮本染色防水布製造所	九〇
山崎染工株式會社	九二
宮城縣	九二
仙臺染織製絲株式會社	九二
栃木縣	九二
山三型染工場	九二
西野染色整理株式會社	九二
群馬縣	九二
上毛染織株式會社	九二
品染整理株式會社	九二
丸上染織株式會社	九二
埼玉縣	九二
共同印刷大宮染工場	九二
埼玉染織株式會社	九二
神奈川縣	九二
日本加工織布株式會社	九二
富山縣	九二
株式會社富山染織工場	九二
富山縣染織株式會社	九二
富山縣織物模範工場	九二
大同染織株式會社	九二
九二女工工場	九二
日本プリント工場	九二
常本染織工場	九二
石川縣	九二
小松精染工株式會社	九二
倉庫精染株式會社	九二
福井縣	九二
足羽染工株式會社	九二
新興染色株式會社	九二
昭和染色株式會社	九四
第一染色整理工場	九四
東洋染色株式會社	九四
南越染色株式會社	九四
日本精染染色株式會社	九四
日染工業株式會社	九四
福井織物化學加工工場	九四
福井染織株式會社	九四
福井精染加工株式會社	九四
福井染色株式會社	九四
株式會社九三染工場	九四
柳町染工場	九四
山梨縣	九四
富士染工場	九四
岐阜縣	九四
三和精染株式會社大垣工場	九四
靜岡縣	九四
今尾染工株式會社	九四
大三染色株式會社	九四
昭和整毛株式會社	九四
合資會社豐崎染工場	九四
西遠染色株式會社	九四
大崎染織株式會社	九四
東洋染色株式會社	九四
東陽染織株式會社	九四
日本形染株式會社	九四
丸村染色株式會社	九四
宮崎染色工業株式會社	九四
横濱精染株式會社	九四
榎吉整理株式會社	一〇二
大阪染工株式會社	一〇二
大阪染織株式會社	一〇二
太田染工場	一〇二
大路織布貿易株式會社中津染工場	一〇二
關西別染工場	一〇二
株式會社高瀬染工場	一〇二
東洋染色株式會社	一〇二
日新染工場	一〇二
日東染織株式會社	一〇二
日本人絹染色聯合株式會社	一〇二
日本防水布株式會社	一〇二
紅赤染工場	一〇二
大和川染工場	一〇二
兵庫縣	一〇二
株式會社石長綿布整理工場	一〇二
猪名川整理株式會社	一〇二
關西整絨所	一〇二
神戸染色株式會社	一〇二
北子染工株式會社	一〇二
合同染工株式會社	一〇二
神港染色工場	一〇二
正明染工場	一〇二
日本輸出織物加工所	一〇二
日本染工株式會社	一〇二
奈良染布株式會社	一〇二
和歌山縣	一〇二
株式會社池田染工場	一〇二

愛知縣

株式會社愛知物産組	九六
石原染工株式會社	九六
上飯田染織株式會社	九六
株式會社加藤染工場	九六
豐金興業株式會社	九六
株式會社關西整絨所	九六
南山染織株式會社	九六
株式會社庄内川染工場	九六
敷島染工株式會社	九六
鈴木染織整理所	九六
蘇東興業株式會社	九六
大日本染織株式會社	九六
大正織物染色整理合資會社	九六
合名會社中央染布工業所	九六
津島染色整理株式會社	九六
津島羊毛染工株式會社	九六
水野染織株式會社	九六
名古屋染織工業株式會社	九六
名古屋織物整理合資會社	九六
名古屋紡織工業組合矢田川工場	九六
株式會社日本ボアリン染工場	九六
堀尾染布工業所	九六
増田染工場	九六
滋賀縣	九六
近江織物株式會社整理部	九六
京都府	九六
川島染織株式會社	九六
桂川染工株式會社	九六
株式會社大村紅染工場	九八
鴨川染工株式會社	九八
京都再整合名會社	九八
京都工業株式會社	九八
京都染織株式會社	九八
京都織布再整工場	九八
京都絹毛染工株式會社	九八
京都染織工業株式會社	九八
京都染織工業株式會社	九八
株式會社杉本精染工場	九八
合資會社田中忠染工場	九八
多田友合名會社	九八
中外染工株式會社	九八
東洋染色株式會社	九八
東洋クロス株式會社	九八
日本製布株式會社	九八
日本クロス工業株式會社	九八
野口染工場	九八
濱口興業株式會社	九八
藤本染工株式會社	九八
藤原絹毛工業所	九八
横井染工株式會社	九八
洛東再整株式會社	九八
大阪府	九八
旭染工株式會社	一〇三
石津染工場	一〇三
井上商事株式會社	一〇三
株式會社市居染工場	一〇三
株式會社市新晒工場	一〇三
檀吉整理株式會社	一〇三
大阪染工株式會社	一〇三
大阪染織株式會社	一〇三
太田染工場	一〇三
大路織布貿易株式會社中津染工場	一〇三
關西別染工場	一〇三
株式會社高瀬染工場	一〇三
東洋染色株式會社	一〇三
日新染工場	一〇三
日東染織株式會社	一〇三
日本人絹染色聯合株式會社	一〇三
日本防水布株式會社	一〇三
紅赤染工場	一〇三
大和川染工場	一〇三
兵庫縣	一〇三
株式會社石長綿布整理工場	一〇三
猪名川整理株式會社	一〇三
關西整絨所	一〇三
神戸染色株式會社	一〇三
北子染工株式會社	一〇三
合同染工株式會社	一〇三
神港染色工場	一〇三
正明染工場	一〇三
日本輸出織物加工所	一〇三
日本染工株式會社	一〇三
奈良染布株式會社	一〇三
和歌山縣	一〇三
株式會社池田染工場	一〇三

(目次)組合

埼玉縣糸卸商業組合	九
京都府糸卸商業組合	一〇
九州府糸卸商業組合	一一
三重縣糸卸商業組合	一二
廣島縣糸卸商業組合	一三
愛知縣糸卸商業組合	一四
東京毛糸卸商業組合	一五
愛知毛糸卸商業組合	一六
大阪毛糸卸商業組合	一七
關東毛糸卸商業組合	一八
關西毛糸卸商業組合	一九
關東毛糸卸商業組合	二〇
關西毛糸卸商業組合	二一
關東毛糸卸商業組合	二二
關西毛糸卸商業組合	二三
關東毛糸卸商業組合	二四
關西毛糸卸商業組合	二五
關東毛糸卸商業組合	二六
關西毛糸卸商業組合	二七
關東毛糸卸商業組合	二八
關西毛糸卸商業組合	二九
關東毛糸卸商業組合	三〇
關西毛糸卸商業組合	三一
關東毛糸卸商業組合	三二
關西毛糸卸商業組合	三三
關東毛糸卸商業組合	三四
關西毛糸卸商業組合	三五
關東毛糸卸商業組合	三六
關西毛糸卸商業組合	三七
關東毛糸卸商業組合	三八
關西毛糸卸商業組合	三九
關東毛糸卸商業組合	四〇
關西毛糸卸商業組合	四一
關東毛糸卸商業組合	四二
關西毛糸卸商業組合	四三
關東毛糸卸商業組合	四四
關西毛糸卸商業組合	四五
關東毛糸卸商業組合	四六
關西毛糸卸商業組合	四七
關東毛糸卸商業組合	四八
關西毛糸卸商業組合	四九
關東毛糸卸商業組合	五〇
關西毛糸卸商業組合	五一
關東毛糸卸商業組合	五二
關西毛糸卸商業組合	五三
關東毛糸卸商業組合	五四
關西毛糸卸商業組合	五五
關東毛糸卸商業組合	五六
關西毛糸卸商業組合	五七
關東毛糸卸商業組合	五八
關西毛糸卸商業組合	五九
關東毛糸卸商業組合	六〇
關西毛糸卸商業組合	六一
關東毛糸卸商業組合	六二
關西毛糸卸商業組合	六三
關東毛糸卸商業組合	六四
關西毛糸卸商業組合	六五
關東毛糸卸商業組合	六六
關西毛糸卸商業組合	六七
關東毛糸卸商業組合	六八
關西毛糸卸商業組合	六九
關東毛糸卸商業組合	七〇
關西毛糸卸商業組合	七一
關東毛糸卸商業組合	七二
關西毛糸卸商業組合	七三
關東毛糸卸商業組合	七四
關西毛糸卸商業組合	七五
關東毛糸卸商業組合	七六
關西毛糸卸商業組合	七七
關東毛糸卸商業組合	七八
關西毛糸卸商業組合	七九
關東毛糸卸商業組合	八〇
關西毛糸卸商業組合	八一
關東毛糸卸商業組合	八二
關西毛糸卸商業組合	八三
關東毛糸卸商業組合	八四
關西毛糸卸商業組合	八五
關東毛糸卸商業組合	八六
關西毛糸卸商業組合	八七
關東毛糸卸商業組合	八八
關西毛糸卸商業組合	八九
關東毛糸卸商業組合	九〇
關西毛糸卸商業組合	九一
關東毛糸卸商業組合	九二
關西毛糸卸商業組合	九三
關東毛糸卸商業組合	九四
關西毛糸卸商業組合	九五
關東毛糸卸商業組合	九六
關西毛糸卸商業組合	九七
關東毛糸卸商業組合	九八
關西毛糸卸商業組合	九九
關東毛糸卸商業組合	一〇〇
關西毛糸卸商業組合	一〇一
關東毛糸卸商業組合	一〇二
關西毛糸卸商業組合	一〇三
關東毛糸卸商業組合	一〇四
關西毛糸卸商業組合	一〇五
關東毛糸卸商業組合	一〇六
關西毛糸卸商業組合	一〇七
關東毛糸卸商業組合	一〇八
關西毛糸卸商業組合	一〇九
關東毛糸卸商業組合	一一〇
關西毛糸卸商業組合	一一一
關東毛糸卸商業組合	一一二
關西毛糸卸商業組合	一一三
關東毛糸卸商業組合	一一四
關西毛糸卸商業組合	一一五
關東毛糸卸商業組合	一一六
關西毛糸卸商業組合	一一七
關東毛糸卸商業組合	一一八
關西毛糸卸商業組合	一一九
關東毛糸卸商業組合	一二〇
關西毛糸卸商業組合	一二一
關東毛糸卸商業組合	一二二
關西毛糸卸商業組合	一二三
關東毛糸卸商業組合	一二四
關西毛糸卸商業組合	一二五
關東毛糸卸商業組合	一二六
關西毛糸卸商業組合	一二七
關東毛糸卸商業組合	一二八
關西毛糸卸商業組合	一二九
關東毛糸卸商業組合	一三〇
關西毛糸卸商業組合	一三一
關東毛糸卸商業組合	一三二
關西毛糸卸商業組合	一三三
關東毛糸卸商業組合	一三四
關西毛糸卸商業組合	一三五
關東毛糸卸商業組合	一三六
關西毛糸卸商業組合	一三七
關東毛糸卸商業組合	一三八
關西毛糸卸商業組合	一三九
關東毛糸卸商業組合	一四〇
關西毛糸卸商業組合	一四一
關東毛糸卸商業組合	一四二
關西毛糸卸商業組合	一四三
關東毛糸卸商業組合	一四四
關西毛糸卸商業組合	一四五
關東毛糸卸商業組合	一四六
關西毛糸卸商業組合	一四七
關東毛糸卸商業組合	一四八
關西毛糸卸商業組合	一四九
關東毛糸卸商業組合	一五〇
關西毛糸卸商業組合	一五一
關東毛糸卸商業組合	一五二
關西毛糸卸商業組合	一五三
關東毛糸卸商業組合	一五四
關西毛糸卸商業組合	一五五
關東毛糸卸商業組合	一五六
關西毛糸卸商業組合	一五七
關東毛糸卸商業組合	一五八
關西毛糸卸商業組合	一五九
關東毛糸卸商業組合	一六〇
關西毛糸卸商業組合	一六一
關東毛糸卸商業組合	一六二
關西毛糸卸商業組合	一六三
關東毛糸卸商業組合	一六四
關西毛糸卸商業組合	一六五
關東毛糸卸商業組合	一六六
關西毛糸卸商業組合	一六七
關東毛糸卸商業組合	一六八
關西毛糸卸商業組合	一六九
關東毛糸卸商業組合	一七〇
關西毛糸卸商業組合	一七一
關東毛糸卸商業組合	一七二
關西毛糸卸商業組合	一七三
關東毛糸卸商業組合	一七四
關西毛糸卸商業組合	一七五
關東毛糸卸商業組合	一七六
關西毛糸卸商業組合	一七七
關東毛糸卸商業組合	一七八
關西毛糸卸商業組合	一七九
關東毛糸卸商業組合	一八〇
關西毛糸卸商業組合	一八一
關東毛糸卸商業組合	一八二
關西毛糸卸商業組合	一八三
關東毛糸卸商業組合	一八四
關西毛糸卸商業組合	一八五
關東毛糸卸商業組合	一八六
關西毛糸卸商業組合	一八七
關東毛糸卸商業組合	一八八
關西毛糸卸商業組合	一八九
關東毛糸卸商業組合	一九〇
關西毛糸卸商業組合	一九一
關東毛糸卸商業組合	一九二
關西毛糸卸商業組合	一九三
關東毛糸卸商業組合	一九四
關西毛糸卸商業組合	一九五
關東毛糸卸商業組合	一九六
關西毛糸卸商業組合	一九七
關東毛糸卸商業組合	一九八
關西毛糸卸商業組合	一九九
關東毛糸卸商業組合	二〇〇
關西毛糸卸商業組合	二〇一
關東毛糸卸商業組合	二〇二
關西毛糸卸商業組合	二〇三
關東毛糸卸商業組合	二〇四
關西毛糸卸商業組合	二〇五
關東毛糸卸商業組合	二〇六
關西毛糸卸商業組合	二〇七
關東毛糸卸商業組合	二〇八
關西毛糸卸商業組合	二〇九
關東毛糸卸商業組合	二一〇
關西毛糸卸商業組合	二一一
關東毛糸卸商業組合	二一二
關西毛糸卸商業組合	二一三
關東毛糸卸商業組合	二一四
關西毛糸卸商業組合	二一五
關東毛糸卸商業組合	二一六
關西毛糸卸商業組合	二一七
關東毛糸卸商業組合	二一八
關西毛糸卸商業組合	二一九
關東毛糸卸商業組合	二二〇
關西毛糸卸商業組合	二二一
關東毛糸卸商業組合	二二二
關西毛糸卸商業組合	二二三
關東毛糸卸商業組合	二二四
關西毛糸卸商業組合	二二五
關東毛糸卸商業組合	二二六
關西毛糸卸商業組合	二二七
關東毛糸卸商業組合	二二八
關西毛糸卸商業組合	二二九
關東毛糸卸商業組合	二三〇
關西毛糸卸商業組合	二三一
關東毛糸卸商業組合	二三二
關西毛糸卸商業組合	二三三
關東毛糸卸商業組合	二三四
關西毛糸卸商業組合	二三五
關東毛糸卸商業組合	二三六
關西毛糸卸商業組合	二三七
關東毛糸卸商業組合	二三八
關西毛糸卸商業組合	二三九
關東毛糸卸商業組合	二四〇
關西毛糸卸商業組合	二四一
關東毛糸卸商業組合	二四二
關西毛糸卸商業組合	二四三
關東毛糸卸商業組合	二四四
關西毛糸卸商業組合	二四五
關東毛糸卸商業組合	二四六
關西毛糸卸商業組合	二四七
關東毛糸卸商業組合	二四八
關西毛糸卸商業組合	二四九
關東毛糸卸商業組合	二五〇
關西毛糸卸商業組合	二五一
關東毛糸卸商業組合	二五二
關西毛糸卸商業組合	二五三
關東毛糸卸商業組合	二五四
關西毛糸卸商業組合	二五五
關東毛糸卸商業組合	二五六
關西毛糸卸商業組合	二五七
關東毛糸卸商業組合	二五八
關西毛糸卸商業組合	二五九
關東毛糸卸商業組合	二六〇
關西毛糸卸商業組合	二六一
關東毛糸卸商業組合	二六二
關西毛糸卸商業組合	二六三
關東毛糸卸商業組合	二六四
關西毛糸卸商業組合	二六五
關東毛糸卸商業組合	二六六
關西毛糸卸商業組合	二六七
關東毛糸卸商業組合	二六八
關西毛糸卸商業組合	二六九
關東毛糸卸商業組合	二七〇
關西毛糸卸商業組合	二七一
關東毛糸卸商業組合	二七二
關西毛糸卸商業組合	二七三
關東毛糸卸商業組合	二七四
關西毛糸卸商業組合	二七五
關東毛糸卸商業組合	二七六
關西毛糸卸商業組合	二七七
關東毛糸卸商業組合	二七八
關西毛糸卸商業組合	二七九
關東毛糸卸商業組合	二八〇
關西毛糸卸商業組合	二八一
關東毛糸卸商業組合	二八二
關西毛糸卸商業組合	二八三
關東毛糸卸商業組合	二八四
關西毛糸卸商業組合	二八五
關東毛糸卸商業組合	二八六
關西毛糸卸商業組合	二八七
關東毛糸卸商業組合	二八八
關西毛糸卸商業組合	二八九
關東毛糸卸商業組合	二九〇
關西毛糸卸商業組合	二九一
關東毛糸卸商業組合	二九二
關西毛糸卸商業組合	二九三
關東毛糸卸商業組合	二九四
關西毛糸卸商業組合	二九五
關東毛糸卸商業組合	二九六
關西毛糸卸商業組合	二九七
關東毛糸卸商業組合	二九八
關西毛糸卸商業組合	二九九
關東毛糸卸商業組合	三〇〇
關西毛糸卸商業組合	三〇一
關東毛糸卸商業組合	三〇二
關西毛糸卸商業組合	三〇三
關東毛糸卸商業組合	三〇四
關西毛糸卸商業組合	三〇五
關東毛糸卸商業組合	三〇六
關西毛糸卸商業組合	三〇七
關東毛糸卸商業組合	三〇八
關西毛糸卸商業組合	三〇九
關東毛糸卸商業組合	三一〇
關西毛糸卸商業組合	三一〇

團體篇

人絹バルブ同業會	一
バルブ同業會十日會	二
在華日本紡績同業會	三
大日本紡績聯合會	四
日本棉花同業會	五
棉花共同購入組合	六
棉花輸入統制協會	七
綿絲布輸出調整組合	八
日本羊毛工業會	九
日本羊毛輸入統制協會	一〇
大日本人造纖維紡績工業會	一一
日本ステープル・ファイバー協會	一二
日本ステープル・ファイバー製造工業組合	一三
日本人絹聯合會	一四
日本ステープル・ファイバー紡績工業組合(補遺)	一五
(尙人絹、スフ紡績工組ニ就キテハN一、九頁ヲ參照)	

工業組合・同業組合聯合會

絹紡工業會	一
大日本蠶絲會	二
日本中央蠶絲會	三
絹紡原料輸入統制協會(補遺)	四
大日本織物協會	五
朝鮮織物協會	六
日本織物中央會	七
人絹バルブ統制協會	八
バルブ懇話會	九
バルブ調整組合	一〇
人絹バルブ同業會	一一
日本綿織物工業組合聯合會	一二
久留米耕工業組合聯合會	一三
泉北郡織物工業組合聯合會	一四
廣島縣織物工業組合聯合會	一五
兵庫縣織物工業組合聯合會	一六
日本製織品工業組合聯合會	一七
日本製綿工業組合聯合會	一八
日本綿糸染劑工業組合聯合會	一九
日本內地機械染劑工業組合聯合會	二〇

(目次)團體

日本タオオル工業組合聯合會	一
日本拋糸工業組合聯合會	二
毛糸・毛織	三
大日本毛織物工業組合聯合會	四
日本帽子工業組合聯合會	五
日本紡毛工業組合聯合會(補遺)	六
人絹・スフ	七
日本輸出織物染色工業組合聯合會	八
日本人造絹織物工業組合聯合會	九
日本內地人造絹織物工業組合聯合會	一〇
日本ステープル・ファイバー織物	一一
浸染工業組合聯合會	一二
日本ステープル・ファイバー織物	一三
染工業組合聯合會	一四
日本ステープル・ファイバー織物	一五
工業組合聯合會(補遺)	一六
日本麻織物工業組合聯合會	一七
日本輸出麻織物工業組合聯合會	一八
日本マニラ麻織物工業組合聯合會	一九
全國生糸共同施設聯合會	二〇
全國産業組合製絲組合聯合會	二一
全國製絲業組合聯合會	二二
全國蠶種業組合聯合會	二三
全國蠶蠶業組合聯合會(補遺)	二四

全國銘仙聯合會	一
日本內地向絹織物工業組合聯合會	二
日本輸出絹織物工業組合聯合會	三
日本內地向絹織物工業組合聯合會	四
日本絹織工業組合聯合會	五
日本天竺織工業組合聯合會	六
日本輸出羽二重工業組合聯合會	七
福井縣輸出羽二重工業組合聯合會	八
福島縣輸出羽二重工業組合聯合會	九
大日本莫大小製造工業組合聯合會	一〇
日本輸出莫大小工業組合聯合會	一一
大阪莫大小工業組合聯合會	一二
日本布帛製品工業組合聯合會	一三
大阪布帛製品工業組合聯合會	一四
兵庫縣輸出布帛製品工業組合聯合會	一五
神奈川縣輸出布帛製品工業組合聯合會	一六
メーカ	一七
全日本紡績木管工業組合聯合會	一八
日本纖維機械工業組合聯合會	一九
輸出組合聯合會	二〇
日本綿糸布輸出組合聯合會	二一
日本絹人絹糸布輸出組合聯合會	二二
日本中南米輸出組合聯合會	二三
日本雜貨中南米輸出組合聯合會	二四

商業組合聯合會	一
日本綿糸商組合聯合會	二
日本綿織物商組合聯合會	三
日本毛糸元賣卸商業組合聯合會	四
全國毛糸組合聯合會	五
全國人絹特約店組合聯合會	六
全國乾繭販賣購買組合聯合會	七
全日本蠶紗商業組合聯合會	八
日本輸出絹人絹商業組合聯合會	九
中央會	一〇
工業組合中央會	一一
産業組合中央會	一二
商業組合中央會	一三
輸出組合中央會	一四
補遺	一五
絹紡原料輸入統制協會	一六
日本紡毛工業組合	一七
日本ステープル・ファイバー織物	一八
工業組合聯合會	一九
日本ステープル・ファイバー紡績工業組合	二〇
全國蠶蠶業組合聯合會	二一
兩毛織物同業組合聯合會	二二
山形縣織物同業組合聯合會	二三
武相甲織物同業組合聯合會	二四

新潟縣染織同業組合聯合會	〇	一九
岐阜縣織物同業組合聯合會	〇	一九
愛媛縣織物同業組合聯合會	〇	一九
鹿兒島縣織物同業組合聯合會	〇	一九
甲斐絹同業組合聯合會	〇	一九

學校・試驗場

大學・專門學校	〇	二〇
東京帝國大學工學部	〇	二〇
京都帝國大學工學部	〇	二〇
大阪帝國大學工學部	〇	二〇
九州帝國大學工學部	〇	二〇
東京工業大學	〇	二〇
早稻田大學工學部	〇	二〇
京都高等工藝學校	〇	二〇
名古屋高等工藝學校	〇	二〇
福井高等工藝學校	〇	二〇
桐生高等工藝學校	〇	二〇
米澤高等工藝學校	〇	二〇
京城高等工藝學校	〇	二〇
上田蠶絲專門學校	〇	二〇
神戶高等工業學校	〇	二〇
廣島高等工業學校	〇	二〇
金澤高等工業學校	〇	二〇
濱松高等工業學校	〇	二〇
德島高等工業學校	〇	二〇

工業學校

熊本高等工業學校	〇	二五
仙臺高等工業學校	〇	二五
明治專門學校	〇	二五
臺灣總督府臺南高等工業學校	〇	二五
京都高等蠶絲學校	〇	二五
山形縣立米澤工業學校	〇	二六
山形縣立山形工業學校	〇	二六
山形縣立鶴岡工業學校	〇	二六
福島縣立會津工業學校	〇	二六
福島縣立川俣工業學校	〇	二六
栃木縣立足利工業學校	〇	二六
群馬縣立伊勢崎工業學校	〇	二六
群馬縣立前橋工業學校	〇	二六
埼玉縣立立川工業學校	〇	二六
東京府立織染學校	〇	二六
新潟縣立長岡工業學校	〇	二六
新潟縣立長岡工業學校	〇	二六
長野縣立野尻工業學校	〇	二六
靜岡縣立濱松工業學校	〇	二六
山梨縣立立山工業學校	〇	二六
岐阜縣第一工業學校	〇	二六
愛知縣工業學校	〇	二六
愛知縣工業實務學校	〇	二六
愛知縣立御所工業學校	〇	二六
和歌山縣立工業學校	〇	二六

試驗場

大阪府立佐野職工學校	〇	二〇
大阪市立泉尾工業學校	〇	二〇
大阪市立都島工業學校	〇	二〇
京都市立第一工業學校	〇	二〇
京都府立工業學校	〇	二〇
滋賀縣立彦根工業學校	〇	二〇
福井縣立工業學校	〇	二〇
石川縣立工業學校	〇	二〇
神戶村野工業學校	〇	二〇
岡山縣立工業學校	〇	二〇
廣島縣立福山工業學校	〇	二〇
德島縣立工業學校	〇	二〇
愛媛縣立松山工業學校	〇	二〇
福岡縣立福岡工業學校	〇	二〇
大分縣立大分工業學校	〇	二〇
東京府立染織試驗場	〇	二〇
東京工業試驗場	〇	二〇
京都府織物試驗場	〇	二〇
京都市染織試驗場	〇	二〇
神奈川縣工業試驗場	〇	二〇
大阪工業試驗場	〇	二〇
大阪府工業獎勵館	〇	二〇
紡織試驗部天津分場	〇	二〇
埼玉縣浦和染織指導所	〇	二〇
埼玉縣秩父染織指導所	〇	二〇

栃木縣工業試驗場	〇	一八
群馬縣前橋工業試驗場	〇	一八
群馬縣工業試驗場	〇	一八
群馬縣工業試驗場伊勢崎分工場	〇	一八
山形縣立米澤工業試驗場	〇	一八
長井指導所	〇	一八
山形縣鶴岡工業試驗場	〇	一九
宮城縣工業試驗場	〇	一九
福島縣川俣工業試驗場	〇	一九
岩手縣工業試驗場	〇	一九
青森縣工業試驗場	〇	一九
愛知縣工業試驗場	〇	一九
愛知縣尾張染織試驗場	〇	一九
愛知縣三河染織試驗場	〇	一九
靜岡縣工業試驗場	〇	一九
靜岡縣濱松工業試驗場	〇	一九
岐阜縣工業試驗場	〇	一九
福井縣工業試驗場	〇	一九
石川縣工業試驗場	〇	一九
同 大聖寺作業所	〇	一九
富山縣染織講習所	〇	一九
新潟縣染織講習所	〇	一九
新潟縣麻織物試驗場	〇	一九
同 豐澤作業所	〇	一九
山梨縣工業試驗場	〇	一九
同 吉田分場	〇	一九
同 上野原分場	〇	一九
長野縣工業試驗場	〇	一九

長野縣織物試驗場	〇	二三
三重縣工業試驗場	〇	二三
滋賀縣長濱工業試驗場	〇	二三
滋賀縣登川工業試驗場	〇	二三
同 高島分場	〇	二三
和歌山縣工業試驗場	〇	二三
兵庫縣西脇染織講習所	〇	二三
兵庫縣西脇染織講習所	〇	二三
奈良縣工業試驗場	〇	二三
廣島縣工業試驗場	〇	二三
岡山縣工業試驗場	〇	二三
山口縣工業試驗場	〇	二三
香川縣工業試驗場	〇	二三
德島縣工業試驗場	〇	二三
愛媛縣工業試驗場	〇	二三
福岡縣工業試驗場	〇	二三
大分縣工業試驗場	〇	二三
鹿兒島工業試驗場	〇	二三
北海道工業試驗場	〇	二三
朝鮮總督府中央試驗所	〇	二三

研究所

福島縣出絹織物檢查所	〇	二四
鶴岡縣出絹織物檢查所	〇	二四
福井縣出絹織物檢查所	〇	二四
金澤縣出絹織物檢查所	〇	二四
富山縣出絹織物檢查所	〇	二四
愛知縣毛織物檢查所	〇	二四
石川縣生絲檢查所	〇	二四
石川縣生絲檢查所	〇	二四
日本綿織物工業組合聯合會所屬檢査所一覽	〇	二四
大阪府立工業研究所	〇	二四
大阪帝國大學纖維科學研究所	〇	二四
日本化學纖維研究所	〇	二四
化學研究所(京都帝大)	〇	二四
武藏理化學研究所	〇	二四
東洋紡績株式會社科學研究所	〇	二四
千住製絨所	〇	二四
大日本セルロイド株式會社研究所	〇	二四
昭和絹糸研究所	〇	二四
南滿洲鐵道株式會社中央試驗所	〇	二四
東邦人造纖維株式會社研究所	〇	二四
商工省纖維工業試驗所	〇	二四
倉敷絹織株式會社研究所	〇	二四
日本蠶絲學會	〇	二四
日本纖維協會	〇	二四
日本學術振興會	〇	二四
大日本織物協會	〇	二四
化學工業協會	〇	二四

工業化學會	〇
織維工業學會	〇
織維素協會	〇
光棉研究會	〇
朝鮮織物協會	〇
被服協會	〇
朝鮮織維協會	〇

官廳篇 P

內閣關係	P
企業院	P
臨時資金調整委員會	P
臨時資金審查委員會	P
中央經濟會議	P
科學審議會	P
外務省關係	P
通商局	P
條約局	P
內務省關係	P
地方官	P
警保局	P
地方廳經濟部長	P
經濟警察	P
商工省關係	P
商務局	P

工務局	P
鑛山局	P
保險局	P
統制局	P
特許局	P
貿易局	P
臨時物資調整局	P
綿需給調整協議會	P
物價委員會	P
製鐵事業委員會	P
石炭生產能力調査委員會	P
統制委員會	P
百貨店委員會	P
生産管理委員會	P
貿易審議會	P
大藏省關係	P
大臣官房、主稅局、理財局	P
銀行局、爲替局	P
預金部、資金局、國民貯蓄獎勵局、各	P
關稅局、各稅務監督局長	P
外國爲替管理委員會	P
關稅調査會	P
(日本銀行首腦部)	P
(橫濱正金銀行首腦部)	P
農林省關係	P
山林局	P
蠶絲局	P
絲綢安定委員會	P
絲綢需要増進調査會	P

帝室林野局	P
陸軍省關係	P
經理局	P
陸軍造兵廠	P
陸軍兵器本廠	P
海軍省關係	P
海軍需本局	P
經理局	P
海軍艦政本部	P
拓務省關係	P
殖産局	P
殖産局	P
厚生省關係	P
殖民地關係	P
朝鮮總督府	P
臺灣總督府	P
樺太廳	P
南洋廳	P
其の他	P
日華經濟協議會	P
産業報國聯盟	P
農業報國聯盟	P
日本學術振興會第六特別委員會	P
滿支關係	P
滿洲國	P
中華民國政府聯合委員會	P
中華民國臨時政府	P
中華民國維新政府	P
蒙古聯盟自治政府	P
(團體篇追補)	P

人名錄 Q

日本人絹聯合會事務所移轉	P
日本スフ紡績工組事務所移轉	P
財團法人朝鮮織維協會成立	P
ア	九一
イ	二七
ウ	三三
エ	三三
オ	三三
カ	三三
キ	三三
ク	三三
ケ	三三
コ	三三
サ	三三
シ	三三
ス	三三
セ	三三
ソ	三三
タ	三三

ト	二八
ツ	二八
テ	二八
チ	二八
ナ	二七
ニ	二七
ヌ	二七
ネ	二七
ノ	二七
ハ	二七
ヘ	二七
フ	二七
ホ	二七
マ	二六
メ	二六
ミ	二六
ム	二六
モ	二六
ヤ	二六
ヨ	二六

メーカー篇 R

ラ	二五
ロ	二五
リ	二五
ワ	二五
ヰ	二五
ヱ	二五

詳細目次ハ本文冒頭ニ在リ

メーカー一覽 S

【ツ】

中京機械商會	特前	一八三
津田駒次郎商店	特前	一八四
津田製作所	特後	一八五
月島機械株式會社	特前	一八六
加藤製作所	特前	一八七
綱本鐵工所	特前	一八八
角田機械製作所	特前	一八九
椿本チエイン製作所	特前	一九〇
【テ】		
手島硝子製作所	並	一九一
手島織物用品製造所	特前	一九二
帝國皮革工業所	厚紙	一九三
寺下商店	特後	一九四
寺下商店	特後	一九五
天満小森鐵工所	並	一九六
【ト】		
戸上電機製作所	厚紙	一九七
戸田針金工業所	特後	一九八
土居チンローラー商會	特前	一九九
東亞金屬工業株式會社	特後	二〇〇
東亞纖維工業株式會社	特後	二〇一
東京イーシー工業株式會社	特後	二〇二
東京電機株式會社	特後	二〇三
東京冷凍機商會	並	二〇四

【ナ】

東洋機械製作所	特前	二〇五
東洋機料商會	特後	二〇六
東洋機料店	並	二〇七
東洋クローム株式會社	特前	二〇八
東洋シャトル合名會社	特後	二〇九
東洋精機製作所	並	二一〇
東洋チエイン株式會社	特前	二一一
東洋チンローラー株式會社	特前	二一二
東洋電機製造株式會社	特前	二一三
東洋テンプル商會	特前	二一四
東洋トラベラー製造株式會社	特前	二一五
東洋ビツカー製造所	特前	二一六
東洋フアイバー株式會社	特前	二一七
東洋ベアリング製造所	特後	二一八
東洋紡績株式會社	並	二一九
東洋伸銅株式會社	並	二二〇
巴ビツカー製作所	特前	二二一
豊田紡績株式會社	並	二二二
豊田自動機株式會社	特前	二二三
【ナ】		
名古屋織機製造株式會社	特前	二二四
名古屋織機工業木管工業所	並	二二五
中尾鐵工所	特前	二二六
中辻工業所	厚紙	二二七
中山製作所	並	二二八

【ニ】

長瀬商店機械部	特前	二二九
長田工業合名會社	特前	二三〇
長谷榮輔工作所	特後	二三一
浪速木管工作所	特前	二三二
【ニ】		
西尾商店	厚紙	二三三
西陣ジャカード機製作所	特後	二三四
西田スピンドル製作所	特前	二三五
西松商店機械部	特後	二三六
日東紡績株式會社	中表紙	二三七
日東リソール製作所	特後	二三八
日東人絹バルブ株式會社	並	二三九
日東アルギンチン化學工業株式會社	特後	二四〇
日本アルミニウム製造所	特前	二四一
日本硝子株式會社	特前	二四二
日本汽機製造株式會社	厚紙	二四三
日本ケーシング工作所	特前	二四四
日本工業株式會社	特中	二四五
日本工業商會鑿井工部	特前	二四六
日本穀産工業株式會社	特前	二四七
日本ゴム車輪製作所	中表紙	二四八
日本シャフト製工所	特後	二四九

【ハ】

日本商工木管工場	特前	二五〇
日本織機賣買商會	特前	二五一
日本人造織維株式會社	並	二五二
日本針布株式會社	特前	二五三
日本スピンドル製造所	並	二五四
日本染料製造株式會社	特前	二五五
日本澱粉製造所	特前	二五六
日本トラベラー製造株式會社	特前	二五七
日本皮革株式會社	特後	二五八
日本フアイバー株式會社	特前	二五九
日本紡機製作所	中表紙	二六〇
日本木管株式會社	並	二六一
日本油脂株式會社	並	二六二
日本リング製鋼所	特前	二六三
【ヘ】		
野上式自動機株式會社	特前	二六四
馬場光兄弟商會	並	二六五
橋本工作所	並	二六六
長谷川商店	特前	二六七
服部梅次郎商店	並	二六八
林スプリング製作所	並	二六九
林木管製作所	特前	二七〇
原商店	特後	二七一
原田式織機株式會社	特前	二七二
播磨ヘルド製造所	特中	二七三
半田倍其商店	特中	二七四

【フ】

阪東調帯護株式會社	厚紙	二七五
【ヒ】		
日立製作所	中表紙	二七六
日出針布工業株式會社	特後	二七七
日ノ本工業所	特前	二七八
平井チンローラー工作所	特後	二七九
平井鐵工所	特後	二八〇
平野金屬合資會社	特後	二八一
平野シャトル株式會社	特前	二八二
平野製作所	並	二八三
廣澤製作所	並	二八四
【フ】		
フィルタープレス製作所	特前	二八五
フタバ油脂工業株式會社	並	二八六
富士瓦斯紡績株式會社	並	二八七
富士トラベラー製造所	並	二八八
福田製作所	特前	二八九
藤崎油脂製造所	特後	二九〇
藤澤木工製作所	特前	二九一
藤田製作所	特後	二九二
藤岡商事株式會社	特中	二九三
藤原式ヘルド製作所	特前	二九四
藤原製作所	特前	二九五
藤森製作所	特前	二九六

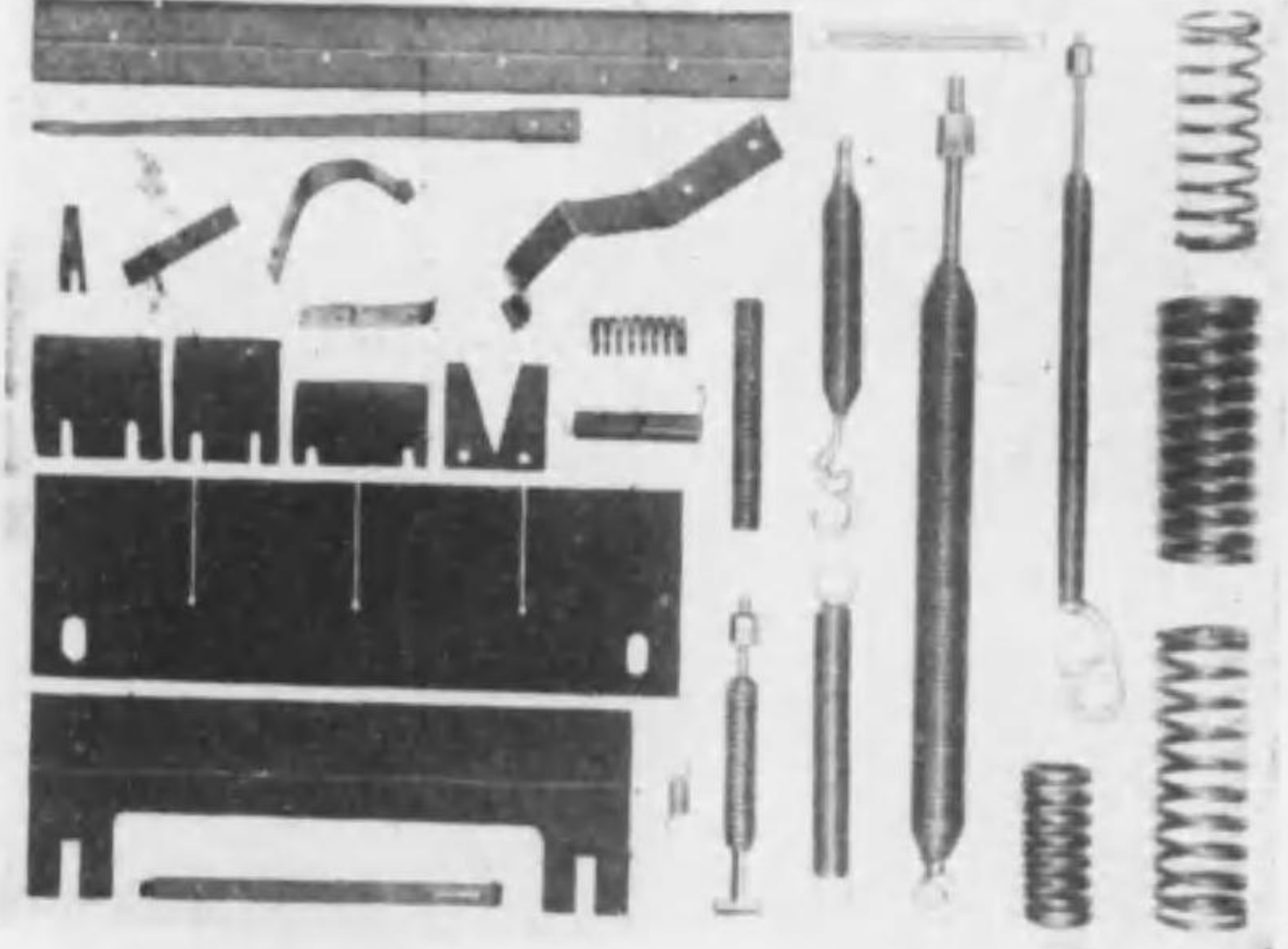
【ホ】

平和織機製作所	特後	二九七
【ホ】		
報國研究所	特前	二九八
紡績機械用品株式會社	並	二九九
細音商店	並	三〇〇
本多商事株式會社	特後	三〇一
【マ】		
麻生生徳次郎商店	並	三〇二
牧商會油脂工業所	特前	三〇三
牧野正二商店	特前	三〇四
増島工作所	中表紙	三〇五
松井鐵工株式會社	特後	三〇六
松川式組機製作所	特後	三〇七
松川常七商店硝子工場	並	三〇八
松田平八商店機械部	並	三〇九
松谷商店	特前	三一〇
松原製作所	並	三一〇
松本商店	厚紙	三一〇
丸八紡績機料卸商會	特前	三一〇
丸八木管製造所	特後	三一〇
丸菱油脂化學工業所	特中	三一〇
万谷商店	特後	三一〇
【ヨ】		
ミヨシ化學興業株式會社	特前	三一〇
三井物産株式會社	特前	三一〇

三菱工業所	特後	八五	米田製作所	特前	一一
三菱電機株式會社	厚紙	九三	【リ】	特前	一一
三菱重工業株式會社	特後	九三	リグナイト株式會社	並	九四
三菱商事株式會社	特後見返一	九三	理化學興業株式會社	厚紙	九四
溝端商店	特前	一〇六	【ル】	並	九四
水谷鐵機製作所	特後	一〇六	ルドルフ商會	特前	一〇一
宮井鐵工所	特前	一〇六	六甲商工株式會社	特後	一〇
宮木電機製作所	並	一〇六	【ワ】	特後	一〇
宮崎商店	特前	一〇六	和歌山鐵工株式會社	並	一〇
美和商會	特前	一〇六	若山フランシ製作所	特後	一〇
【ム】	並	一〇六	渡邊物商店	特後	一〇
村尾製作所	特前	一一	渡邊鐵工所	特後	一〇
村上機料所	特後	一一			
村上厚二商店	特前	一一			
村田直商店	特後	一一			
【メ】	並	一一			
名機製作所	並	一一			
【モ】	並	一一			
守谷商會	特後	一一			
森川工業所	特前	一一			
森田製作所	特前	一一			

X

各種 スプリング専門 製作



- 一般紡織機用
- 人絹紡織機用
- 超ハイドラフト装置用
- 各式自動織機用
- 絹綿毛紡用コーマー附屬スプリング並に部分品

合理化製作に依る 國産優秀品

並に抜物、押物類一式

宮川スプリング製作所

營業所 { 大阪市西淀川區海老江上二丁目五
電話福島三五六三番・振替口座大阪七四四一番
工場 大阪市西淀川區海老江上一丁目
特約店 株式會社 稻畑商店機械部
本店 大阪・支店 東京・出張所 名古屋

宮川スプリング製作所

特前 一三五

王蜀黍製純良優秀品

地球印コーンスターチ

日本穀産工業株式会社



植物纖維
動物纖維
人造纖維
糊付仕上用

地球印 ペネトローズ

各種纖維糊付、仕上用

地球印 洗濯用コーンスターチ

洗濯専用(三貫匁袋入)

工業用 精製コーンオイル

各種纖維整理用

地球印 グルコース

染色捺染用

コーン シュガー

人絹製造用

製造元 日本穀産工業株式会社
 朝 鮮 平 壤
 發賣元 三菱商事株式会社
 各地支店出張所

特前 二二六

全國綿紡會社一覽表
 本邦綿業概觀
 全國綿紡會社工場要覽
 滿支綿紡會社工場要覽

露光量違いの為重複撮影

綿紡業


綿

紡

A

滿支綿紡會社工場要覽	滿支綿紡會社工場要覽	全國綿紡會社工場要覽	本邦綿業概觀	全國綿紡會社一覽表
------------	------------	------------	--------	-----------

王蜀黍製純良優秀品
地球印コーンスターチ



植物纖維
動物纖維
人造纖維

糊付仕上用

地球印 ペネトローズ	各種纖維糊付、仕上用
地球印 洗濯用コーンスターチ	洗濯専用 三貫匁袋入
工業用 精製コーンオイル	各種纖維整理用
地球印 グルコース	染色捺染用
コーン シュガー	人絹製造用

製造元 日本穀産工業株式會社
傾 軋 平 境
 發售元 三菱商事株式會社
各地支店出張所

日本穀産工業株式會社

11

紡織用各種木管製造販賣

登錄



商標

日本木管株式會社

兵庫縣尼ヶ崎市昭和通二丁目

電話大阪福島二八五一・二八五二番

尼ヶ崎一三四番

振替 穴阪一九一六番

上海修理工廠 上海平涼路七五七

孟買出張所 印度孟買三井物産支店內

全國綿糸紡績會社一覽表 (五十音順)

會社名	資本金	本社 (電話)	代表取締役
旭紡績株式會社	六,〇〇〇,〇〇〇	東京市日本橋區大傳馬町二丁目傳馬ビル内(浪花五二七三)	渡邊 周
足利紡績株式會社	五,〇〇〇,〇〇〇	東京市日本橋區芳野二丁目(茅場三九一五)	荻野 萬太郎
愛知紡績株式會社	五,〇〇〇,〇〇〇	名古屋市中種區高見町四丁目(東三八)	*瀧 信四郎
愛知紡績株式會社	五〇〇,〇〇〇	愛知縣丹羽郡岩倉町(岩倉一六)	宮田 二郎
和泉製織株式會社	二,五〇〇,五〇〇	大阪府泉南郡南播守村大字尾生(岸和田二二五〇)	白井 治平
出雲製織株式會社	一〇,〇〇〇,〇〇〇	島根縣城川郡今市町(今市六〇〇)	穴戸 寛一
西海紡績株式會社	一〇,〇〇〇,〇〇〇	和歌山縣海南市名高(營業所北濱四二一〇)	前田 辰之助
宇部紡績株式會社	三,〇〇〇,〇〇〇	宇部市大字中宇部(二〇八)	高良 宗七
小津武林起業株式會社	五,〇〇〇,〇〇〇	大阪市西淀川區野里町(福島二〇一三)	小津 清左衛門
大阪紡績株式會社	三,〇〇〇,〇〇〇	堺市七道西町(戎二五九八)	安川 第五郎
大阪紡績株式會社	二,〇〇〇,〇〇〇	大阪府泉南郡西信造村大字岡田(田尻二八)	寺田 利吉
大阪紡績株式會社	七五〇,〇〇〇	福岡市比惠明治町	原田 忠右衛門
大町紡績株式會社	五,〇〇〇,〇〇〇	大阪市東區安土町二丁目(北濱九〇八)	伊藤 忠兵衛
近江帆布株式會社	七,一〇〇,〇〇〇	滋賀縣蒲生郡八幡町(八幡四六)	森 五郎兵衛
柏原紡績株式會社	一,八〇〇,〇〇〇	大阪府南河內郡柏原町字市村(柏原一二)	*玉井 英二
貝塚紡績株式會社	六五〇,〇〇〇	大阪府泉南郡貝塚町北(貝塚三)	寺田 松三郎
鐘淵紡績株式會社	六〇〇,〇〇〇	東京市向島區岡田町二丁目(墨田二〇九)	津田 信吾
協和紡績株式會社	二,六五〇,〇〇〇	大阪市西淀川區大和田町(福島六五八)	松岡 潤吉
錦華紡績株式會社	二六,〇〇〇,〇〇〇	金澤市大豆田新町(三九三〇)	加藤 正人

A

一

(綿紡) 會社一覽表

岸和田紡績株式會社
 共立モスリン株式會社
 倉敷紡績株式會社
 倉敷染糸紡績株式會社
 吳羽紡績株式會社
 栗橋紡績株式會社
 株式會社寺田紡績工廠
 朝鮮紡績株式會社
 京城紡績株式會社
 合同莫大小紡績株式會社
 琴浦紡績株式會社
 湖東紡績株式會社
 國光紡績株式會社
 株式會社近藤紡績所
 佐野紡績株式會社
 三光紡績株式會社
 山陽紡績株式會社
 泉州織物株式會社
 昭和紡績株式會社
 昭和紡績合資會社
 昭光紡績株式會社

二〇,〇〇〇,〇〇〇
 四,〇〇〇,〇〇〇
 三五,〇〇〇,〇〇〇
 八三〇,〇〇〇
 二〇,〇〇〇,〇〇〇
 二,〇〇〇,〇〇〇
 一〇,〇〇〇,〇〇〇
 三,〇〇〇,〇〇〇
 三〇〇,〇〇〇
 五,〇〇〇,〇〇〇
 二〇,〇〇〇,〇〇〇
 一〇,〇〇〇,〇〇〇
 三,〇〇〇,〇〇〇
 三〇〇,〇〇〇
 五,〇〇〇,〇〇〇
 三,〇〇〇,〇〇〇
 三五五,〇〇〇
 二,五〇〇,〇〇〇
 一,五〇〇,〇〇〇
 二,五〇〇,〇〇〇
 二,五〇〇,〇〇〇

岸和田市北町(岸和田二一七七)
 千葉縣市川市曳高(市川六二四)
 倉敷市倉敷(倉敷一〇)
 倉敷市御船町(倉敷二八)
 大阪市東區安土町二丁目(東九〇八)
 埼玉縣北葛飾郡栗橋町(栗橋一四)
 大阪府泉南郡貝塚町津田
 朝鮮釜山府凡一町(釜山四〇〇五)
 朝鮮京城府南大門通一丁目(本局四〇五二)
 和歌山市南土佐町
 岡山縣兒島郡琴浦町(下村一一)
 大阪市東區平野町二丁目(北濱三三三三)
 長崎市幸町一丁目(北濱三三三三)
 名古屋市南區呼続町(瑞穂三一三五)
 大阪府泉南郡佐野町
 東京市日本橋區通二丁目(日本橋二九九四)
 廣島市河原町(四二七六)
 岸和田市南町(岸和田二〇六六)
 和歌山市岡町(和歌山五二七)
 大阪府泉北郡天津町
 和歌山縣海草郡野崎村大字北島(和歌山二二五四)

寺田 甚吉
 川西 清司
 大原 孫三郎
 三宅 平左衛門
 伊藤 忠兵衛
 中村 卓爾
 寺田 利田
 原 安三郎
 金 李 洙
 牲川 角之助
 * 竹村 清次郎
 田附 政次郎
 原 茂久雄
 近藤 信男
 寺田 元之助
 近藤 滋彌
 * 今田 庫吉
 寺田 元之助
 * 玉井 英二
 森本 文五郎
 土生 信一

正織 株式會社
 大日本紡績株式會社
 龍田紡績株式會社
 大東紡績株式會社
 中央紡績株式會社
 辻紡績株式會社
 帝國燃絲織物株式會社
 天滿織物株式會社
 東洋紡績株式會社
 德島紡績株式會社
 東海紡績株式會社
 大正製綿株式會社
 豐田紡績株式會社
 豐田押切紡績株式會社
 豐田式織機株式會社
 東洋紡績工業株式會社
 東邦紡績株式會社
 泊紡績株式會社
 內外紡績株式會社
 內外綿株式會社
 日清紡績株式會社
 日東紡績株式會社
 西川合資會社

一,〇〇〇,〇〇〇
 一〇,〇〇〇,〇〇〇
 五〇〇,〇〇〇
 一〇,七〇二,六〇〇
 三,〇〇〇,〇〇〇
 三,〇〇〇,〇〇〇
 一,七五〇,〇〇〇
 一〇,五〇〇,〇〇〇
 七,七二五,〇〇〇
 二,五〇〇,〇〇〇
 三,〇〇〇,〇〇〇
 三,〇〇〇,〇〇〇
 一五,六〇〇,〇〇〇
 二,〇〇〇,〇〇〇
 一五,〇〇〇,〇〇〇
 一五,〇〇〇,〇〇〇
 三〇〇,〇〇〇
 五〇〇,〇〇〇
 二,五〇〇,〇〇〇
 三三〇,〇〇〇
 二七,〇〇〇,〇〇〇
 二九,六〇〇,〇〇〇
 五〇〇,〇〇〇

岡山縣都窪郡茶屋町(一五)
 尾崎市東本町一丁目(本町四〇二)
 姫路市延末(姫路六〇七)
 東京市向島區香取町
 愛知縣碧海郡刈谷町(刈谷三六四)
 京都市中京區壬生花井町(壬生三九〇)
 名古屋市西區上名古屋町(西九一〇)
 大阪市旭區毛馬町(北濱六〇九三)
 大阪市北區堂島濱通二丁目(北濱一六〇〇)
 德島市田宮町(德島二二)
 岐阜縣安八郡神戶町大字末守(神戶四三)
 滋賀縣犬上郡高宮町
 名古屋市西區米田町(西二五〇)
 名古屋市西區葎原町四丁目(西二一七七)
 名古屋市西區島崎町
 東京市城東區龜戶町七丁目(龜田五五一)
 大阪府南河內郡金岡村(金岡一一二)
 富山縣下新川郡泊町平柳
 名古屋市西區下長者町(本局七二)
 大阪市北區堂島中二丁目(北一〇〇)
 東京市城東區龜戶町(龜田三三一九)
 福島縣信夫郡杉妻村(六五)
 東京市澁野川區田端町二一四

姫井 三龜男
 小寺 源香
 龍田 三郎
 鷗見 左吉雄
 * 豐田 利三郎
 南郷 三郎
 * 加藤 庫吉
 野田 吉兵衛
 庄内 乙吉
 八代 祐太郎
 小島 太左衛門
 神野 新平
 豐田 利三郎
 豐田 平吉
 兼松 照
 門野 重九郎
 永井 勝衛
 中山 定次郎
 * 遠山 靜一
 * 佐々木 國藏
 宮島 清治郎
 片倉 三平

(綿紡) 會社一覽表

帝國製絲株式會社	二、〇〇〇、〇〇〇	大阪府中河内郡龍華町安中(營業所大阪平野町瓦斯ビル内)	村井貞之助
株式會社 半田綿行	一、二〇〇、〇〇〇	大阪市西區平田通二丁目(西四五二)	* 半田庸之助
株式會社 服部商店	六、四〇〇、〇〇〇	名古屋市東區宮町一丁目(東一一一七)	* 三輪常次郎
濱名紡績株式會社	五、二〇〇、〇〇〇	靜岡縣濱名郡新居町(新居六)	宮本 甚七
平田紡績株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇	三重縣三重郡富洲原町(富田二)	* 平田 佐矩
株式會社 杉野紡績所	三五〇、〇〇〇	名古屋西區光善寺町六九四(東二三五八)	* 杉野 一三
日出紡績株式會社	二一、〇〇〇、〇〇〇	和歌山縣日高郡御坊町(御坊四四)	田中榮八郎
日高紡績株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇	和歌山縣日高郡御坊町大字島(御坊一二)	原 秀次郎
福島紡績株式會社	一六、〇〇〇、〇〇〇	大阪市北區玉江町二丁目(土佐堀一一)	八代祐太郎
富士瓦斯紡績株式會社	五〇、〇〇〇、〇〇〇	東京市日本橋區本町二丁目(日本橋一二八八七)	日比谷平左衛門
松太綿布株式會社	一、三四五、〇〇〇	和歌山市字須(和歌山四〇八)	* 加藤大三郎
明正紡績株式會社	一〇、〇〇〇、〇〇〇	大阪市東淀川區三津屋新町(北五一四二)	堀 文 平
明治紡績合資會社	五、〇〇〇、〇〇〇	福島縣戶畑市明治町五丁目(戸畑四)	* 松本健次郎
森紡績株式會社	六〇〇、〇〇〇	愛知縣中島郡稻澤町(稻澤八)	* 森 佐十
森林紡績株式會社	二、〇〇〇、〇〇〇	愛知縣中島郡稻澤町(稻澤八)	* 森 林 兵衛
吉見紡績株式會社	四、〇〇〇、〇〇〇	大阪府泉南郡田尻村大字吉見(田尻一四)	* 土岐榮太郎
兩毛製織株式會社	五五〇、〇〇〇	桐生市三吉町(桐生三七五四)	飯塚春太郎
濠津紡績株式會社	一、〇〇〇、〇〇〇	靜岡縣濱名郡雙津町	* 小林儀一郎
若林製紙紡績株式會社	二、五〇〇、〇〇〇	滋賀縣犬上郡河瀬村大字大方(彦根一〇一)	若林 乙 吉
和歌山紡績株式會社	五二〇〇、〇〇〇	和歌山傳法橋南之丁(營業所土佐堀八二五〇〇)	川口 義 宏
原町紡績株式會社	一、四〇〇、〇〇〇	東京市龜町區丸ノ内二丁目(丸ノ内一六二七)	佐竹 房 夫
日昇紡績所	一、四〇〇、〇〇〇	大阪市西區南堀江通二丁目(櫻川六〇四)	* 小川勝太郎

A 四

本邦綿業概観

- 一、前期戦時編成(十二年下半年より十三年上半期)
- 二、吉野統制より池田統制へ(十三年上半期より下半年)
- 三、綿布輸出の苦悶(十三年下半年)
- 四、補遺的諸問題

一、前期 戦時 編成 — 十二年下半年より十三年上半期 —

昭和十二年末から十三年にかけて、綿業はその凡てのスケールを擧げて百八十度の大轉換を遂げた。勿論それを必要ならしめた遠因は、實に昭和七年の資本逃避防止法實施以來の圓價不安であるのだが、直接的な近い原因としては、十二年七月の支那事變突發——此の時期直前の所謂準戦時體制經濟の諸影響であつた。この曾て見ざる「嵐」の時期において、綿業にあたられた戦時統制の諸手段、諸法令はまづたく枚擧にいとまがない。綿業へ十二年春の爲替管理法強化以降、如何に統制がほどこされ、いかに諸法令が續發したかは周知のところである。しかし綿業の徹底的再編成の完成は十三年に入つてからである。十二年の吉野統制全盛時代は云はば前期戦時編成と稱することができやう。

綿業のわがくに輕工業に占むる位置は壓倒的である。ゆゑに綿業において遂行された統制の進展をうかがふことはわが輕工業全體の情態と運命とをうかがふことにもなる。まづこゝにいふ前期戦時編成を問題別にしらべてみよう。

第一表 本邦纖維工業品月別貿易額(單位千圓・大藏省調)

年 月	内地貿易總額			主要纖維工業品輸入額			主要纖維工業品輸出額				
	輸入額	輸出額	差額	棉花	人絹	羊毛	綿織物	生絲	絹織物	人絹織物	毛織物
十二年 四月	三三六、五七九	三三三、〇〇〇	* 三、五七九	八、〇一九	六、三〇六	一、七一三	四、八七〇	三、七〇三	五、三三六	一一、八九七	二、七九六
五月	四一九、九七六	三三二、四〇〇	* 一八七、四七六	二七、六〇〇	六、三八八	六、二一六	四、九六三	三、〇三〇	一、〇〇〇	一三、七七七	一、〇〇〇

(綿紡) 概観

A 五

(綿紡)概観

年	月	内地貿易總額		主要纖維工業品輸入額		主要纖維工業品輸出額	
		輸入額	輸出額	棉花	人絹	綿織物	生絲
十二	六月	八八,三二一	三二,一六六	七九,六〇三	六,七四六	四,八〇〇	二七,五八四
十二	七月	八八,三二一	三二,一六六	七九,六〇三	六,七四六	四,八〇〇	二七,五八四
十二	八月	八八,三二一	三二,一六六	七九,六〇三	六,七四六	四,八〇〇	二七,五八四
十二	九月	八八,三二一	三二,一六六	七九,六〇三	六,七四六	四,八〇〇	二七,五八四
十二	十月	八八,三二一	三二,一六六	七九,六〇三	六,七四六	四,八〇〇	二七,五八四
十二	十一月	八八,三二一	三二,一六六	七九,六〇三	六,七四六	四,八〇〇	二七,五八四
十二	十二月	八八,三二一	三二,一六六	七九,六〇三	六,七四六	四,八〇〇	二七,五八四
十三	計	八八,三二一	三二,一六六	七九,六〇三	六,七四六	四,八〇〇	二七,五八四

原棉輸入制限は強制する 昭和十二年年度の棉花輸入許可總量は一千四百萬擔と一應の決定は見たものゝ大藏當局の之に對する爲替の許可は頗る澁滞を極め業者は先づ原棉の供給確保に著しい苦難を味はねばならなかつた。

天	福	東	大
滿	日	洋	本
物	島	洋	本

探附	綿糸	混紡糸	ス・フ	男工	女工
一、〇六八、四〇八	五、一七〇、九二二	三、二四八、八七	一、〇六八、四〇八	六、六一	一、三、九三九
一、五四六、〇〇〇	一、〇〇四、二〇三	九三、一五九	九一、〇五〇	一九九二	一、五、八七〇
三七一、一二八	二、三六、八六五	一、五、七七〇	四三、三一八	七八八	三、八五二
三五〇、〇九六	一、六八、七五一	一、七、一七〇	五、九八九	三三二	二、六一九

註・鍾數合計は在滿支紡を加算すれば約一千三百五十萬鍾となる

協	明	内	小	帝	大	錦	岸	泉	具	和	佐	吉	大	和	合	松	昭	昭	日	日	辻	東	龍	正	琴
和	正	林	余	原	物	田	田	田	塚	野	物	見	織	阪	泉	同	太	同	昭	昭	海	高	邦	田	浦
和	正	林	余	原	物	田	田	田	塚	野	物	見	織	阪	泉	同	太	同	昭	昭	海	高	邦	田	浦
五、六、五九二	二、一六、九一六	一、〇六、六五六	三、六、八六〇	一、四、七〇〇	三、四、一一〇	五、六、九〇四	五、〇七、六五六	三、二〇、九八〇	四、一、六〇〇	一、九、九五二	四、〇、四一六	五、一、四〇八	七、三、四八四	三、七、七九六	一、四、四〇四	二、九、四八〇	八、六、三二〇	三、二、四〇〇	一、四、八、二〇八	二、三、五、〇七二	一、六、一、二八	一、一、五、五二八	一、一、〇、二四	六、八、六四〇	
三、二、一七三	一、四、二、五八六	五、三、五七九	一、六、一〇二	一、四、七〇〇	二、〇、九二六	二、六、八一〇	二、二、九、四一一	一、三、四、七〇三	一、一、五、〇〇〇	一、一、八、一一二	一、一、七、四九九	三、二、八九〇	二、五、七、一六	一、〇、七、〇〇〇	七、九、二五一	一、五、二、七四	三、八、一、五五	一、九、〇、四七	七、二、四〇〇	一、〇、八、七五三	一、〇、八、七四	五、〇、二、七一	九、七、一、二	八、〇、八、四	二、七、九、二一
四、九、五九九	七、四、八七	二、八、五五	一、五、四〇	一、五、四〇	二、〇、八二	五、三、九四	二、二、〇、五二	一、四、一、六八	一、一、〇、〇〇	一、一、六、八〇	一、一、二、六二	二、四、一〇〇	三、三、五、六〇	一、三、七、〇〇	三、〇、三八	一、〇、五、七	一、七、七、一	九、五、二	四、一、六二	二、〇、五、三三	六、六、八七	四、八〇	九、二、五	八、一、一	七、
六、二〇	九、二〇〇	一、一、六、五六	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九	一、一、一、九
九、四	二、五、六	七、三	四、五	九、七	四、五	八、七	四、五	四、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五	一、六、五
五、四、三	一、七、七八	八、一、八	二、九、九	七、五	四、二	五、三、八六	三、九、九二	七、六、三	五、九、五	三、七、一	七、二、三	六、六、三	四、七、六	一、九、三六	一、〇、六三	一、〇、六三	一、〇、六三	一、〇、六三	一、〇、六三	一、〇、六三	一、〇、六三	一、〇、六三	一、〇、六三	一、〇、六三	一、〇、六三

(綿紡)概観

(綿紡)概製

Table with columns for company names (e.g., 倉敷紡績, 牛田綿織), production metrics (据付産数, 運轉, 混紡糸用), and employee counts (職工, 男, 女). Includes a small table 'A' at the bottom right.

Main table with columns for company names (e.g., 愛知紡績, 森中央, 中津), production metrics (前年同月分, 計), and employee counts. Includes a small table 'A' at the bottom left.

(綿紡)概製

第三表 棉花需給表 單位 輸入及在荷は依 綿消費高は真

輸入高及在荷は日本棉花同業會の數字による 綿消費高は紡績による 棉花年度は九月より翌年八月迄

A 九

(綿紡)概観

Table showing cotton production and consumption data from 1933 to 1937. Columns include production (供給), consumption (消費), and stock (在庫) for various categories like domestic production, imports, and exports.

紡聯は之に基いて大體の棉花輸入計畫を立てたのであるが其後の事變の擴大に伴ふ軍需品の輸入増加は益々棉花爲替の許可を滞せしむる結果となり、紡聯は再び生産計畫を立て直す必要に迫られる事となり、不取敢九月廿五日操短率を擴張し、原棉食延しを策した。

第四表 綿糸需給表

註 綿布一、六〇〇平方碼を綿糸一噸に換算す(但し阪神綿布在荷の噸はこの換算法に依らず) 綿糸生産高、綿糸輸入高は紡聯調、綿糸輸出高、綿布輸出高、期末在荷高は輸出綿糸布同業會調、綿糸在荷は神戸、大阪、東京、名古屋の在荷を示す

清算取引所機能の喪失 棉花輸入制限を初とする綿業各部門の戰時的統制の進行に伴ひ、次第に其機能を奪はれ存在を薄くして行つたのは棉花綿糸の清算取引所である。

第五表 三品棉花相場最高最低

Table showing cotton market price ranges (highest and lowest) for three grades of cotton from 1933 to 1937. Includes columns for highest price (最高), lowest price (最低), and average price (平均).

(綿紡)概観

月	最高	最低	平均
五月	五二・七五	五二・〇〇	五二・三五
六月	五一・五〇	四八・二五	四九・九六
七月	五五・〇〇	五二・五〇	五三・六〇
八月	五三・〇〇	五〇・二五	五一・四二

爲替管理に伴ふ棉花の輸入制限の強化と共に我内地棉花市場は思惑の高潮から棉花相場は輸入採算をはるかに上廻る不常なる高相場を現出するに至り、之がやがて輸出を阻害せしむる原因となすに至つた爲棉花の清算取引に對して政府は漸く何等かの統制を加へるの必要を感じ結局爲替管理の續く現在の情勢下にあつては當分棉花の清算取引は不必要なりとの意見を示す事となつたのであるが之に對し清算取引所當業者は寫眞取引を當局に申請せるも許されず遂に九月一日より三月限以降の棉花清算取引を停止するの止むなきに至り、且つ最高價格の制定最高價格適用限月の延長と共に清算取引所は全く破滅の外なき運命に陥る事となつたのである。

綿業委員の任命と綿業調整案

政府は從來の自治的統制から進んで國家の介入を必要とする全面的な綿業の戦時統制の體様を整ふ可き必要を痛感し十月始め紡聯輸出綿糸布同業會、棉花同業會、綿糸商組合聯合會及綿工聯五團體の代表者を以て綿業委員會を組織し其協力の下に左の如き綿業調整案を作製し十月廿二日綿業關係團體代表者を招致し之を發表附議した。

此調整案(棉花輸入、數量月額百五萬ピクル、國內消費節約、綿糸布最高價格制、生産數量減少等)は戦時下に於ける我綿業統制の根本方針をなすものであり、我産業統制の先驅をなすものとして重大なる意義を有する。

最高標準價格の制定 以上の調整案に基き十月廿三日商工省は綿業委員會の立案になる第一回の綿糸及棉花の最高價格を承認紡聯及び棉花同業會をして發表せしめた。

政府の意圖する綿業調整計畫が内地の消費節約輸出の促進にある以上、公定最高價格の制定は絶體に必要であり、今後益々騰貴を不可避とする綿製品相場の價格統制の一段として當然實施を必要とす可き方法であるが不幸にして之に伴ふ可き配給統制に欠陥があつた爲數々の膜法行爲を生み綿業界を一時的ながら混亂に陥れた。

次で十一月末には綿布最高價格制、十三年一月末にはスフ、國用綿糸、撚糸の最高價格も制定され茲に綿業の價格統制は完全に其體を整ふるに至つた。

棉花輸入統制協會の設立 棉花輸入制限の強化は其結果として輸入消費割當の必要を生ずる、此内消費割當は消費者たる紡聯のみに關する問題であるから困難は生じないが輸入割當に至つては俄然輸入者たる棉花同業會と紡聯との間に輸入權の歸屬を繞つて抗争が生ずるに至つた。

茲に於て紡聯棉花同業會は十月廿一日兩者共同して輸入統制協會を組織し原棉輸入統制に關する一切の業務を處理する事となつた。

棉花輸入壓迫の激化と操短の再擴張 曩に決定を見たる五千萬圓の棉花輸入爲替許可は一月まで延長されたのみならず、綿業調整案に示されて商工省の月額百五萬擔輸入案も二月以降は到底實現は不可能と豫想されるに至つたので紡聯は止むを得ず十一月十六日、十二月度一月度の操短率を次の通り再び擴張した。

一、十二年十二月並に一月の操短率を三割六分二厘とし兩月を通じ從來の四晝夜休業基準の上更に休日を三日増加する。即ち休日三日増加により月平均五分七厘の實質的操短擴張となり之に十二月度の擴張率を加算すれば兩月の平均實質擴張率は七分六厘となる。

此操短擴張によつて綿糸の兩月生産高は三十萬捆となり、綿業調整計畫の生産量が豫定より二ヶ月繰上げられた譯である。

棉花消費統制と綿糸生産割當 以上述べたる如く愈々逼迫する原棉輸入に對應して紡聯は幾度か其生産計畫を變更する事を餘儀なくされたが更に十一月十六日には各社の手持棉花の過不足を調整する爲に棉花貸借に關する規定を立案案し、一月三十一日より實施する事になつた。其方法は卷末の規程に示す如く割當委員が各社の手持棉花の過不足を調査し、相互に棉花を貸借の方法により融通し合ひ、生産の順調なる運行を維持せんとするもので後述する棉花消費割當の前提とも云ふ可き方法であつた。

第七表會社紡績番手別綿糸生産高 (單位捆紡績調査)

年	十九手以下			二十—二十二手			四—五手以上			合 計
	純綿糸	國用糸	純綿糸	國用糸	純綿糸	國用糸	純綿糸	國用糸		
十一年	九、九三・三二	—	一、〇一〇・〇〇	—	一、一七三・〇〇	—	一、三三三・〇〇	—	三、三三三・〇〇	
十二年	一、〇一五・九二	—	一、〇一四・三六	—	一、五七五・三〇	—	一、八〇九・〇〇	—	三、四〇九・六四	
十三年	一、〇一八・五三	—	一、〇一四・三六	—	一、五七五・三〇	—	一、八〇九・〇〇	—	三、四〇九・六四	
十三年一月	九、〇七・〇〇	—	一、〇一四・三六	—	一、五七五・三〇	—	一、八〇九・〇〇	—	三、四〇九・六四	
二月	五、五二・四八	—	一、〇一四・三六	—	一、五七五・三〇	—	一、八〇九・〇〇	—	三、四〇九・六四	

(綿紡)概観

年	月	十九手以下		二十—二十二手		二十三—二十四手		四十五手以上		合計
		純綿糸	國用糸	純綿糸	國用糸	純綿糸	國用糸	純綿糸	國用糸	
十三年	九月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	八月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	七月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	六月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	五月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	四月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	三月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	二月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	一月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
十二年	十二月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	十一月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	十月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	九月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	八月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	七月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	六月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	五月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	四月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	三月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	二月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0
	一月	5,433.5	5,844.5	3,888.5	8,270.0	8,270.0	9,111.5	1,002.0	10,113.5	7,261.0

かゝる方法の出現は棉花買付の巧拙による各社の利不利を喪失せしむるものであり思惑的妙味は愈々薄れ紡績會社の収益計算の上にも一つの變率を生ずる事になつた譯である。

然し愈々加速度に困難を加へる棉花手當難に對しては到底從來の如き單なる操短率の擴大のみによる方法にては對處する事困難となり、既定の月産三十萬捆の綿糸生産も不可能なる情勢に立至つたので十一月卅日紡聯は遂に此を廿七萬五千捆へ低減すると共に劃期的な綿糸生産割當を實施する事になつた。

此生産割當は同時に棉花の生産割當であり原料統制への前進を示すものとして興味がある。

ス・フ混用の實施と綿業統制の擴大 以上行はれたる綿業統制の根幹は棉花の輸入困難にあり従つて統制は綿糸の生産を中心として進展して來たのであるがス・フ混用と云ふ新なる原料上の制約が加はるゝ及び綿業は更に廣汎なる統制への進行を餘儀なくされ統制の方法は次第に自治的色彩を失つて強力なる國家的統制へと轉換を見るに至つた。

第八表 國用綿糸生産高在荷高

年	月	國用糸	純綿糸換算	混紡糸在荷	混紡糸費用	ス・フ消費高
十三年	九月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	八月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	七月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	六月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	五月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	四月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	三月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	二月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	一月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
十二年	十二月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	十一月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	十月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	九月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	八月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	七月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	六月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	五月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	四月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	三月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	二月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763
	一月	1,467.5	918.6	53,648.8	802,782	1,343,763

即ち政府の意圖する所は綿製品を内産向と輸出向と截然と區別し、原則として内地には純綿物の使用を禁止すると云ふ處にある此爲に内地向と輸出向を認定する機關として綿工聯紡聯タール工聯其他の關係團體を指定し商品に標識を貼付せしめて兩者の混合を防止せんとしたのである。

一、吉野統制より池田統制へ

十三年上半期より下半期

此の時期はまさに綿業大轉換の前夜であつた、前期戦時編成をおこなつてきた吉野商相が輸出不振の問題にぶつかつてついに池田商相の登場を見たのもこの時期である。綿業統制は前期戦時編成によつて建築された基礎工事に巨大なる鐵骨を立て、コンクリートを流しはじめたのである。

輸出向綿品の内地轉用 先づ第一に現れた現象は輸出向綿布の内地流入である、商工當局はス・フ混用規則發布に先立ち全国の綿布在庫品及仕掛品量を調査し其七割を輸出にその三割を内地向へ使用せしむ向き方針を以て認定を行はしむる事としたのであるがス・フ混用令發布と共に純綿物の先行供給薄を見越して思惑買付は猛烈と起り問屋は純綿糸の争奪に血眼となり機業家は小幅綿布の製織に忙殺されるに至つた。其結果内地向木綿物の價格は暴落を演じ輸出向廣幅綿織物も法網をくゞつて盛に内地へ轉用さるゝ結果となり輸出向綿布の供給量は著しく減少を示したのである。

第九表 綿織物生産高輸出高 (單位千圓・商工省調査)

年	月	生産高		輸出高		合計
		廣巾	小巾	廣巾	小巾	
十三年	九月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	八月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	七月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	六月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	五月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	四月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	三月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	二月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	一月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
十二年	十二月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	十一月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	十月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	九月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	八月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	七月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	六月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	五月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	四月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	三月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	二月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0
	一月	7,311.6	8,311.5	5,578.3	875.7	4,996.0

(綿紡)概観

A 一五

十三年十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月	生産			合計	輸出高 (大蔵省調)
											廣中	小中	特殊織物		
七六、〇二七	七四、〇五四	七一、九一九	六九、六六一	六九、六六一	六九、八一一	六五、八八七	六六、八三七	一六、九一四	三五、六四三	三六、九二九	七、六九三	六、九九六	八、〇六一	九、二〇四	五四、四三九
七、〇二七	六、九九六	六、一八八	六、三三六	七、四八六	六、五二一	五、九四七	六、二五五	二、二八三	三、一六五	三、二〇〇	五、八三四	六、一四九	八、七一九	九、〇二四	四六、三四五
七、〇二七	六、九九六	六、一八八	六、三三六	七、四八六	六、五二一	五、九四七	六、二五五	二、二八三	三、一六五	三、二〇〇	七、〇二七	六、九九六	六、一八八	六、三三六	五、八四六
七、〇二七	六、九九六	六、一八八	六、三三六	七、四八六	六、五二一	五、九四七	六、二五五	二、二八三	三、一六五	三、二〇〇	八、五八八	八、〇三三	八、〇三三	八、〇三三	三二、五九二
七、〇二七	六、九九六	六、一八八	六、三三六	七、四八六	六、五二一	五、九四七	六、二五五	二、二八三	三、一六五	三、二〇〇	八、五八八	八、〇三三	八、〇三三	八、〇三三	三七、一五〇
七、〇二七	六、九九六	六、一八八	六、三三六	七、四八六	六、五二一	五、九四七	六、二五五	二、二八三	三、一六五	三、二〇〇	八、五八八	八、〇三三	八、〇三三	八、〇三三	四八、六六七
七、〇二七	六、九九六	六、一八八	六、三三六	七、四八六	六、五二一	五、九四七	六、二五五	二、二八三	三、一六五	三、二〇〇	八、五八八	八、〇三三	八、〇三三	八、〇三三	四一、七五九
七、〇二七	六、九九六	六、一八八	六、三三六	七、四八六	六、五二一	五、九四七	六、二五五	二、二八三	三、一六五	三、二〇〇	八、五八八	八、〇三三	八、〇三三	八、〇三三	二七、一八六
七、〇二七	六、九九六	六、一八八	六、三三六	七、四八六	六、五二一	五、九四七	六、二五五	二、二八三	三、一六五	三、二〇〇	八、五八八	八、〇三三	八、〇三三	八、〇三三	二一、二七八
七、〇二七	六、九九六	六、一八八	六、三三六	七、四八六	六、五二一	五、九四七	六、二五五	二、二八三	三、一六五	三、二〇〇	八、五八八	八、〇三三	八、〇三三	八、〇三三	二四、二二三

此の如き状態に於ては到底豫期するが如き輸出の振興を計る事は到底不可能なので十三年二月十日商工省はス・フ混用令を改正し、輸出向廣幅綿布の國內販賣を卸賣は四月一日以降小賣は七月一日以降禁止して思惑熱を阻止し、又十六日には内地物の割當晒小巾木綿の最高卸小賣價格を制定して暴騰を抑へる事になつた。

綿糸配給統制の進展 綿糸の生産減少に伴ひ、思惑的賣惜しみ原糸の不足偏在は愈々顯著となり、最高價格を無視したる暗取引は盛に行はれて弱少なる機業家の苦惱は頗る深刻となるに至つた。

かかる情勢に對して商工省は夙に綿糸配給統制の必要を痛感し其準備を急いでゐたが先づ配給統制の機關として綿工聯を選び、從來綿工聯に未加盟の内地向小幅物機業家をも急遽之に参加せしむ可く各地機業家に命令を發し、加入費の融通、切符による綿糸の配給割當の計畫割當基準等を示し近く行はる可き綿糸配給統制の準備を整えたのである。

一月廿三日官民兩委員を以て綿業調整協議會が設立せられ、更に綿糸の消費割當を決定する機關として綿工聯タウル工聯人工聯輸出絹織物工聯其他の綿糸消費組合代表者を以て綿糸消費統制協議會が組織された。

綿業調整協議會は一月廿五日第一回會議を開き輸出向及國內向用綿糸の生産數量決定方法を決定した。

かくて以上の決定方法に基き協議會は歴史的な三月分綿糸生産量を左の通り決定した。

輸出日用綿糸	内地日用綿糸	純綿糸(軍需用)	混紡用純綿糸	合計
一七五、〇〇〇捆	四〇、〇〇〇捆	五二、五〇〇捆	二五七、五〇〇捆	一、〇〇〇捆

綿糸の消費割當前記 綿糸生産割當は生産者が紡聯と云ふカルテルに包攬されてゐる丈けに其統制は比較的簡單に行ひ得るのであるが之に伴ふ綿糸の消費割當に至つては其消費者の數の大なる事、經營規模の差異甚しき事、其業種の多種なる事、其消費量の區々なる事理由で完全なる統制は至難ではあつたが、三月一日商工省令を以て綿糸配給統制規則が發布された。

此省令によつて綿糸の配給統制團體として紡聯以下十八團體が指定され、綿糸消費者は此團體の發行する割當票と引換へでなければ綿糸の購入は出来ない事となつたのである。

尙輸出は内地向製品の數量原料材料の強制検査が規定されたが之は製品の數量と消費せる糸量を検査し輸出は原糸の内地品への轉用を防止し、過度の綿糸思惑的ストツクを防ぐ爲である。

此省令に基き各工聯は新に消費統制規定以外に糸量検査規定を許可所屬組合及組合者の製品検査に當る事となつた。

輸出向綿糸配給割當決定 國用綿糸の配給割當に就ては省令により三月一日より割當票による配給が行はれてゐるが輸出向用純綿糸は就ては別段の規定がない爲前記の紡聯の例の如く適宜の方法で配給統制を行つてゐた、商工省は其後輸出は綿糸の配給統制方法に就ても具體化を急いでゐたが四月廿八日綿糸消費統制協議會の輸出團體各工聯の評議會を開催しその割當案を正式決定した。

三、綿布輸出の苦悶 — 十三年下半期 —

原棉を制限しつゝ、しかも尙ほ綿織物輸出を確保しやうとすることの矛盾、綿業統制の強行がともすれば輸出不振の障壁にぶつかつて行き悩むといふことは、周知のごとくあたりまへの現象である。勿論當局にとつてもこゝにいふ障壁は豫期されなかつたことではない、原棉輸入制限がある以上或る程度の綿織物減退は止むを得ない、しかしすくなくとも昨年度実績二十七億方碼ぐらひ、いや最低二十三億方碼は確保したい——これが當局の肚であつて、そのために消費統制を施行、國內用綿織物に三十パーセントス

(綿紡)概観

A 二二二

第一條 本則において織維製品とは左に掲ぐる物品をいふ、但し綿糸販賣価格取縮規則またはステープル・ファイバーおよびステープル・ファイバー糸販賣価格取縮規則の適用を受くるものはこの限りにあらず

一、綿、人造絹絲、ステープル・ファイバー、羊毛、山羊毛または駱駝毛を原料として製造したる糸、織物（フェルトを含む）メリヤスまたは製綿。

二、前號の物品を原料として製造した物品にして商工大臣の指定したるもの。

第二條 織維製品を販賣するものは何らの名義をもつてするを問はず本則施行の日の前日における販賣価格を越ゆる對價をもつて取扱商品を販賣することを不得、但し輸出する場合取引所において賣買する場合およびやむを得ざる事由により卸賣については商工大臣、小賣については地方長官の許可を受けたる場合はこの限りにあらず。

第三條 織維製品を販賣するものはその販賣に當り前條の規定による制限を越ゆる對價をもつて取扱商品を販賣したると同一の別益を擧ぐる目的をもつて買戻し約款を付し他の商品を合せ販賣しその他これに類する行為をなすことを不得。

第四條 商工大臣特に必要ありと認むる時は織維製品を販賣するものに對し販賣価格の引下げを命ずることあるべし。

附則 本則は公布の日よりこれを施行す。

織維製品販賣価格取縮規則第一條第二項の規定による物品

紐および繩、網および網、布帛製品、衣類およびその附屬品ベルトおよびホース

(C) 綿製品の加工制限に関する件

綿糸、綿織物または綿莫大小については昭和十三年六月二十九日より同年七月二十八日にいたる期間染、晒、裁断その他の加工をなすことを不得、但し輸出品（關東州、滿洲國または中華民國に輸出するものを除く、以下同じ）輸出品の原料もしくは材料に用ふるもの、または綿製品の製造制限に関する件、第一項但書の規定により許可を受け製造したるものについてはこの限りにあらず前項の綿糸綿織物および綿莫大小品ステープル・ファイバーを混用したるものを含む。

附則 本令は公布の日よりこれを施行す、本令施行の際現に加工仕掛中のもの綿製品、ス・フなど混用規則第一條第一項但書または第二條第一項但書の規定により許可を受け製造したるもの（同則第二條第一項但書の規定により昭和十三年二月九日までに許可を受けたる綿織物を除く）については本令を適用せず。

(D) 綿製品の生産制限に関する件

綿糸、綿織物または綿莫大小は輸出品（關東州、滿洲國、または中華民國に輸出するものを除く、以下同じ）および輸出品の原料、または材料に用ひるものを除くのほかこれを製造することを不得、たゞし特別の事情により地方長官の許可を受けたる場合はその限りにあらず。

前項の綿糸、綿織物および綿莫大小にス・フを混用したるものを含む。

附則 本令は公布の日よりこれを施行す、綿製品ス・フなど混用規則はこれを廢止す。

本令施行の際現に仕掛中のものについては本令を適用せず、綿製品、ス・フなど混用規則第二條第一項但書の規定により昭和十三年二月九日までに許可を受けたる綿織物および同則附則第二項の規定により許可を受けたる綿織物は同則附則第三項但書の規定により商工大臣の指定したるものを除くほか卸賣業者にありては本令施行後小賣業者にありては昭和十三年七月一日以後本邦、關東州、滿洲國または中華民國における消費に充つるためこれを販賣することを不得す。

綿糸の公定最高價格制定 既に綿糸布の最高標準價格は制定され綿糸の配給統制も一應は完備したのであるが前述の如く綿糸の供給不足に伴ひ最高價格現視の啗取引買占め賣惜しみに依然後を絶たず小機業家は割當等を有し乍ら綿糸の配給を得られず其生業は頗る危険に頻するに至つた

第十二表 三品綿糸相場最高最低

註・*印は概算

年	最高		最低		平均	
	最	高	最	低	平	均
十九年	二七五・九〇	一九七・九〇	二一四・三六	二二七・八〇	一八二・一〇	二〇六・〇〇
十九年	二一八・〇〇	一八三・九〇	二〇六・四四	二二二・三〇	一八一・七〇	二〇五・五〇
十九年	二五三・四〇	一八六・七〇	二〇七・九五	二五四・〇〇	一八五・七〇	二〇一・三五
十九年	三〇〇・〇〇	二〇七・一〇	*二五四・八〇	二八三・〇〇	二〇七・〇〇	二四七・一〇
十九年	二四三・四〇	二二九・五〇	二二七・一五	二三一・四〇	二一四・五〇	二二四・四三
十九年	二二三・五〇	二二六・五〇	二二九・九五	二一八・五〇	二〇九・六〇	二二四・三三
十九年	二二〇・一〇	二一三・五〇	二一七・九一	二一〇・九〇	一九九・〇〇	二〇七・二五
十九年	二一四・五〇	二〇二・〇〇	二〇七・七二	二一一・〇〇	一九七・〇〇	二〇三・七三
十九年	二〇七・九〇	一九四・五〇	二〇〇・九一	二〇〇・三〇	一九七・〇〇	一九一・九四
十九年	二四七・〇〇	一九七・一〇	二〇四・二二	二〇一・七〇	一九四・八〇	一九七・六四

(綿紡)概観

A 二二三

五月廿日省令を以て綿糸最高価格を公定價格とすると共に綿糸販賣取締規則を公布して違反行為の根拠を期する事となつた。
輸出向綿糸布の内地流通阻止——前記の通り綿糸の生産計畫が輸出の水準の維持を目的とする爲に内地向綿糸の生産に著しい制限を加えた結果綿糸相場は異常なる昂騰を示すに至り最高價格を無視した暗取引は盛に行はれ又輸出向綿糸布の内地流通し様々なる方法を以て行はるゝに至り輸出の梗塞は益々甚しくなつて來たのである。

斯る脱法的行為の横行と溢々な輸出向綿糸布の内地流通的向に對し商工當局は之が阻止策に腐心し、結局當業者の良心と協力に俟たざれば斯る弊風の一掃は困難なる事を察し、紡聯日本綿糸布元賣商業組合、綿工聯、日本綿織物卸商業組合聯合會、日本綿糸布輸聯、大阪三品、東京米穀商品、名古屋綿糸取引所の綿糸布生産消費販賣輸出の諸團體と協議の結果、次の如き方法を四月一日より實施以て輸出向の内地流通の阻止に努める事となつた。

四、補遺的諸問題

リンク制と綿製品國內供給禁止は綿業統制のゴールインであり、ピリオドである。今後統制内容がどう變化するかは分らないが、おそらく基本的なこの機構は變らぬであらう。

終りに十三年下半年期の末近くに起つたこと、起りつゝあることについて一瞥してみやう。

綿布上場實現 リンク制により取引機能を失つた綿糸の代りに新たに綿布が十月一日から上場された。今のところデーンズ一本であるが綿布上物は綿布の本來的性質に據るのではなく、一般には三大都市取引所救済策とみてゐる、しかし一應輸出にとつてヘツチの役目をなすことはうたがへぬ、したがつて綿布清算取引は今後の展開を俟つて云々されなければならぬ。

綿工聯、紡聯の合體問題 リンク制出現は綿工聯所屬組合の廣い部分を紡績會社の賃織工場化し、當然綿工聯の力も衰退せざるを得なくなつた、かゝる力關係と綿業統制の一元化の必要から從來有耶無耶にされてきた合體問題が今後は實現せんとしてゐる、綿工聯の有する唯一の武器——輸出綿布検査權は紡聯が輸出のヘゲモニーを握つた今日、まつたく有名無實化した合體問題は庄司紡聯委員長の辭職による紡聯の編成替へ氣運と共に十三年末期の大なる現象であらう。

第十二表 本邦綿布集散概況 (單位千方碼)

註・商工省廣幅生産高一米を一・一碼として換算

年	月	廣中物全國生産高		紡績生産高(紡聯調)		輸出高
		(商工省調)	純綿布	混紡糸織布+混用織布	(大藏省調)	
十一年	七月	四、一九二、八九〇	一、八四三、四七一	一、八〇二、四〇一	二、七二五、一〇九	
十二年	七月	三、九八〇、九三〇	一、八九〇、五五四	一、八〇〇、五五四	二、七〇九、八八五	
十三年	七月	三、八〇三、六六七	一、五七、四四一	一、五七、四四一	二、六四四、〇二九	
	八月	二九五、七四三	一五六、二四七	一五六、二四七	二一五、一九六	
	九月	三四八、〇四六	一五九、四一六	一五九、四一六	一九三、八四九	
	十月	三四九、九五六	一五九、五三六	一五六、九四〇	二四八、九六五	
	十一月	三四四、六一八	一五一、八一六	一四二、七六一	二四六、〇四三	
	十二月	三四六、六六二	一四二、七六一	一四二、七六一	二五三、一〇一	
	一月	三一六、四四〇	一一二、五六三	一一二、五六三	一六二、八五七	
	二月	二八六、四二二	一一一、三〇六	一一一、三〇六	一八三、四六四	
	三月	二八二、六一三	一一五、五九六	一一五、五九六	二二〇、六三九	
	四月	二六九、五九二	一一五、五九六	一一五、五九六	二〇九、五二一	
	五月	二五三、七三五	一一五、七七八	一一五、七七八	一三七、三二四	
	六月	五五、一二九	二六、四一八	二六、四一八	一六九、六四五	

綿布輸出不振の深化 リンク制施行以後も綿布輸出の数はれざる不振は九月の回ブロッタ向輸出禁止を喰つて一層深刻を極め、加工綿布の減退は特にいちぢるしく、ついに所期の二十億方碼死守すら危ぶまれるに至つた。

かくては苦難を極めて略々完成した綿業統制も生彩を失ふにいたるであらう、數量リンク制を金額リンク制に改むべし——かゝる要望が一部に起る所以であらう、當局も當事者も必死の打開策を講じつゝある。

次に綿工聯調の八月綿布輸出調査を参考迄にかゝる。

八月本邦綿織物總輸出高は數量一三四、三三四、五四八平方碼、金額二二、七二六、八二九圓にして、前月に比し數量二六・九%、金額二四・五%を各増加、前年同月に比しては數量二八・七%、金額四六・三%を各減少してゐる。七月個人リンク制實施月の對前年

同期減少率よりは稍緩和されてはゐるも数量の二八・七%減少に對し金額の四六・三%減少は注目すべき現象である。之を種類別に見れば、生地が數量に於て一・三%と僅か乍ら増加、金額は一九・五%の減少を示してゐるに反し、それ以外のものに於ては甚だしく落ちて晒が數量三八・八%、金額五二・〇%、捺染が數量四四・四%、金額五五・〇%、反染が數量三五・七%、金額五二・三%、絲染が數量四二・七%、金額五七・一%と何れも前月につゞく激減の姿を示してゐる。

一月以降累計輸出高は數量一、〇一七、一七一、一五三平方碼、金額一八五、六〇二、九五〇圓にして前年同期に比して數量三〇・三%、金額四〇・三%を減少してゐる。之に圓ブロックを加へた分の減少率を參考のため算出してみれば數量二三・二%、金額三〇・六%となる。累計に於ても減少率の最も少いのは生地であつて、晒、捺染、反染、絲染等のそれとの間には著しい開きがある。即ち生地に於ては數量一・九%、金額一九・四%の減退であるのに對して、晒、捺染等其他は數量に於て三五%強乃至四五%強を、金額に於ては四一%強乃至五一%強を減退してゐる。

主要市場について之を見れば、英領印度が七一・二%の激減を示したのに續いて濠洲が五〇・九%を、佛領モロッコが五八・五%を何れも激減してゐる。増加した市場は、蘭領印度六二・七%を頭に南米諸國三一・六%、中米六七・八%、歐洲諸國三四・五%、ケンヤ・ウガンダ・タンガニカ四一・五%、エチプトスダン一八・五%等である。要之、歐洲大戰以來急激に盛り上つてきた我國の綿織物輸出も今や内に外に大きな試練の上に立つてゐる。種類別の構成から見ても、市場の變化から見てもそれは背けやう。

第十二表 十三年八月中輸出高

種類	十三年八月		前年同月		對前月比率%	對前年同月比率%
	數量	金額	數量	金額		
生地	五三、六九二、六七三	四一、四七七、二三四	五三、〇二七、四六九	(+) 二九・五	(+) 一・二	
晒	七、四九五、六二九	五、八七九、〇六五	九、三三三、九〇二	(+) 二七・五	(-) 一九・五	
捺染	二九、五一八、四六六	二八、〇六一、五五〇	四八、二五四、	(+) 五・二	(-) 三八・八	
反染	四、七六八、四一一	四、五四六、六〇〇	九、九二六、八二八	(+) 四・九	(-) 五二・〇	
絲染	二〇、六三四、三四五	一四、一一四、八七七	三七、〇九三、六一二	(+) 四六・二	(-) 四四・四	
合計	一〇、二〇二、三二九	三、〇三七、〇九四	九、三三三、〇九一	(+) 三八・四	(-) 五五・〇	
前年同月	一六、四〇二、二九五	一一、五九九、四三二	二五、五一八、六五六	(+) 四一・六	(-) 三五・七	
前年同月	三、五七〇、一五〇	二、六七六、四四六	七、四八四、六五一	(+) 三三・四	(-) 五二・三	

種類	十三年八月		前年累計		對前月比率%	對前年同月比率%
	數量	金額	數量	金額		
生地	一三、九八六、七六九	一〇、五一四、三六八	二四、四〇四、三八三	(+) 三三・〇	(-) 四二・七	
晒	二、六九〇、三一〇	二、一一八、九三〇	六、二七六、六一七	(+) 二七・〇	(-) 五七・一	
捺染	一三四、二三四、五四八	一〇五、七六七、四六一	一八八、二九八、三六八	(+) 二六・九	(-) 二八・七	
反染	二二、七二六、八二九	一八、二五八、一三五	四二、三三四、〇八九	(+) 二四・五	(-) 四六・二	
絲染	三、八〇七、三五六	三、八七九、九一三	七、三二七、八四五	(+) 三三・〇	(-) 四二・七	
合計	一〇、二〇二、三二九	三、〇三七、〇九四	九、三三三、〇九一	(+) 三八・四	(-) 五五・〇	

第十三表

十三年一月

八月生産高

十三年累計

前年累計

増減

%

種類	十三年一月		前年累計		對前月比率%	對前年同月比率%
	數量	金額	數量	金額		
生地	三、八〇七、三五六	三、八七九、九一三	七、三二七、八四五	(-) 一・九	(-) 一九・四	
晒	五五、四五〇、四二〇	六八、八三〇、二三九	(-) 一三、三七九、八一九	(-) 一五・六	(-) 四七・八	
捺染	二四七、八〇七、三五六	三、八四、六四八、八一七	(-) 一三六、八四一、四六一	(-) 三〇・九	(-) 四一・五	
反染	四三、三七〇、三二四	七四、一七九、八三〇	(-) 三〇、八〇九、五〇六	(-) 二七・三	(-) 四五・八	
絲染	一五〇、四三〇、八五二	二七七、七五六、七七三	(-) 二七、三二五、九二一	(-) 三〇・七	(-) 四七・八	
合計	一、〇一七、一七一、一五三	一、四九九、九四九、五六七	(-) 四四二、七七八、四一四	(-) 三〇・三	(-) 四四・四	
前年同月	一八五、六〇二、九五〇	三、一一〇、二六、四一九	(-) 二二五、四二二、四六九	(-) 四〇・三	(-) 四〇・三	

在支紡の確立

事變勃發前在支紡は所謂ラツシュ時代を現出、一流紡績の大陸進出、積極化は相次ぎ、新增設計畫は青島、天津、上海をふくめて實に五百萬鍾を突破した。然し十二年七月以降戰禍は青島紡七十五萬鍾を全滅、上海、天津各地帯に相當の被害を與へ在支紡躍進は一時挫折するに至つたが、後掲「在滿・支紡篇」のごとく現在には復活への一路を驀進、上海青島は近來の好況を呈しつゝある。資金統制法は紡績の支那進出を事變は發展を阻止したが、歴史的な在支紡の位置は軍の優勢と共にその基礎はかへつて確立され得たと見るが至當である。在支紡三百五十萬鍾(事變前五百萬鍾)のフル操業は十三年末、おそくとも十四年春であらう。

全國綿糸紡績會社・工場要覽

(五十音順)

(註)

【月産】ハ大略十三年七月基準、十三年上期トアルハ半期生産高合計
 【納紡機】ハ大略据付機數ヲ指ス
 【織機】ハ斷リナキ限リ大中ニ據ル
 【其他】各會社在滿支工場ハ別ニ後掲「在滿・支紡績要覽」ニ詳細收録
 大株主及株數八十三年前上半年未現在

愛知紡績株式會社

【本社】愛知縣丹羽郡岩倉町大字岩倉字八光(電岩倉一六)
 【營業所】名古屋市西區下岡町二丁目七電本局一〇七・三〇五六・昭和三〇五七・三〇五八昭和四年九月創立、同年十一月採業現在ニ至ル
 【資本】五〇〇、〇〇〇圓
 【株數】三三五、〇〇〇圓
 【決算期】一、〇〇〇、〇〇〇圓
 【製品及商標】二〇番手綿糸(愛星)紡糸 四三八圓
 【役員】
 代表取締役 宮田二郎
 取締役 高橋敏彦、近藤喜三、青山三郎、伊藤正治、伊藤次郎、早川次郎、青木次郎、後藤次郎、吉田次郎、幸田次郎
 監査役 稻垣義治
 工場長 三九五〇
 副工場長 四、六一八

岩倉工場

所在地 高橋敏彦 二八〇
 近藤喜三 一八〇
 青山三郎 一五二
 伊藤正治 四〇〇
 伊藤次郎 一〇〇
 早川次郎 一〇〇
 青木次郎 一〇〇
 後藤次郎 一〇〇
 吉田次郎 一〇〇
 幸田次郎 一〇〇
 工場長 三九五〇
 副工場長 四、六一八

愛知織物株式會社

【本社】名古屋市中區高見町四丁目四(電東三八・三九・四〇)
 【資本】五〇〇、〇〇〇圓
 【株數】三三五、〇〇〇圓
 【決算期】一、〇〇〇、〇〇〇圓
 【製品及商標】二〇番手綿糸(愛星)紡糸 四三八圓
 【役員】
 代表取締役 宮田二郎
 取締役 高橋敏彦、近藤喜三、青山三郎、伊藤正治、伊藤次郎、早川次郎、青木次郎、後藤次郎、吉田次郎、幸田次郎
 監査役 稻垣義治
 工場長 三九五〇
 副工場長 四、六一八

【最近配當】四、五〇〇、〇〇〇圓
 【決算期】年一回十月
 【製品及商標】綿糸 各番手(蝶) 金巾、太鐘(九菊花、剪) 二〇番手(雙象、月虎) 約四、七三〇、〇〇〇碼

【職工】男一〇人、女二五人、計三五人
 【工場】計二、六一〇人
 【設備】スプ糸 二三五、六八〇錘
 【建築費】一、〇〇〇圓
 【土地】六九、三七八坪
 【敷地】二四、一一一坪
 【千種工場】旭紡績

所在地 名古屋市中區高見町四丁目四(電東三八・三九・四〇)
 【資本】五〇〇、〇〇〇圓
 【株數】三三五、〇〇〇圓
 【決算期】一、〇〇〇、〇〇〇圓
 【製品及商標】二〇番手綿糸(愛星)紡糸 四三八圓
 【役員】
 代表取締役 宮田二郎
 取締役 高橋敏彦、近藤喜三、青山三郎、伊藤正治、伊藤次郎、早川次郎、青木次郎、後藤次郎、吉田次郎、幸田次郎
 監査役 稻垣義治
 工場長 三九五〇
 副工場長 四、六一八

【旭紡績株式會社】
 【本社】東京市日本橋區大傳馬町二ノ一(電浪花五二七三・五二七四・三九〇二)
 【資本】五〇〇、〇〇〇圓
 【株數】三三五、〇〇〇圓
 【決算期】一、〇〇〇、〇〇〇圓
 【製品及商標】二〇番手綿糸(愛星)紡糸 四三八圓
 【役員】
 代表取締役 宮田二郎
 取締役 高橋敏彦、近藤喜三、青山三郎、伊藤正治、伊藤次郎、早川次郎、青木次郎、後藤次郎、吉田次郎、幸田次郎
 監査役 稻垣義治
 工場長 三九五〇
 副工場長 四、六一八

（綿紡） 足利紡・和泉織物

Table with columns for 資本金 (Capital), 最近配當 (Recent Dividend), 決算期 (Fiscal Year), 役員 (Officers), 工場 (Factory), 所在地 (Location), 沿革 (History), 職工 (Employees), 動力 (Power), 機械 (Machinery).

Table for 足利紡績株式會社 (Asahi Textile Co., Ltd.) with columns for 精紡機 (Spinning Machine), 所在地 (Location), 沿革 (History), 職工 (Employees), 動力 (Power), 機械 (Machinery).

Table for 和泉織物株式會社 (Izumi Textile Co., Ltd.) with columns for 精紡機 (Spinning Machine), 所在地 (Location), 沿革 (History), 職工 (Employees), 動力 (Power), 機械 (Machinery).

Table with columns for 資本金 (Capital), 最近配當 (Recent Dividend), 決算期 (Fiscal Year), 役員 (Officers), 工場 (Factory), 所在地 (Location), 沿革 (History), 職工 (Employees), 動力 (Power), 機械 (Machinery).

Table for 和泉織物株式會社 (Izumi Textile Co., Ltd.) with columns for 精紡機 (Spinning Machine), 所在地 (Location), 沿革 (History), 職工 (Employees), 動力 (Power), 機械 (Machinery).

Table for 和泉織物株式會社 (Izumi Textile Co., Ltd.) with columns for 精紡機 (Spinning Machine), 所在地 (Location), 沿革 (History), 職工 (Employees), 動力 (Power), 機械 (Machinery).

（綿紡） 和泉織物

（綿紡） 和泉織物

（綿紡） 和泉織物

(綿紡) 鐘淵紡

明治二十八年榮島紡績株式會社
トシテ創設、明治三十二年鐘紡
ニ合併。
綿糸、太糸及中糸
鐘票、大島票
山田久一
向野新之助
樋口良作
男三人 女一人
男一六〇人 女一〇〇〇人
十七時間(二交代制)
汽機 ランカシヤ 二基
電動機 二、五〇〇馬力
アラット及大阪機工 一三七臺
五四、二四四坪
二五、〇〇〇坪
一〇、三〇〇坪

本工場

兵庫縣津名郡洲本町
(電六、六三三・三四四・二三七)
明治二十九年創立、淡路紡績株式
會社ノ工場ヲ明治三十三年一
月現名稱トナス
綿糸 大島、繪馬、竹虎、東方
刺、赤千鳥
▽紡糸 四五〇〇個
▽織布 九五〇〇〇反
田邊 景憲
今井 政二

山科工場

京都市東山区山科町
(電上自七、一七〇至七、一七七)
絹布、莫大小、絹布加工
明石 國助
織布 深尾直三郎
仕上 渡部 信乃
藤葉 辰郎
十時間
一六、三四四坪
一〇、八六臺

彦根絹糸工場

滋賀縣彦根市長曾根町一七八
(電彦根二、九四・二九五)
工場新築工事着手昭和四年三月
竣工、昭和五年六月工費二、五〇
〇、〇〇〇圓
紡績絹糸
紡糸 三、〇〇〇貫
安部 田貞延
馬澄 勝男
男九人 女三人 計二二人
男一六三人 女四四〇人
計六〇三人
晝專(自午前六時、至午後五時)
十一時間(内休憩一時間)
汽機 パブコック製パブコック
エンドウキルコック水管
式 三臺
電動機 一四九臺
九七六馬力(七二八キロ)
絹紡糸 一〇、二〇〇鍾(三四臺)

(綿紡) 鐘淵紡

倉庫主任

宇野 誠次
男三六人 女三二人 計六八人
男四三〇人 女二、二二二人
計二、五五二人
九時間(二交代制)
汽機 英國マズダレーア社
一臺、一、五〇〇馬力
發電機 米 社二臺
三、五〇〇キロ
九、二八、九六〇鍾(三一〇臺)
九、二四、〇〇〇鍾(二二臺)
アラット式自動機 八〇〇臺
有馬式力織機 五五〇臺
スタツホード式 二五二臺
遠州式 八〇〇臺
計 二、四〇二臺
六七、〇〇〇坪
一九、六七二坪八

砂工場

兵庫縣高砂町(電一二)
明治四十三年創立
綿糸 綿布
伊東 武喜
紡績 鈴木 壽一
織布 松尾 卯一
鈴木 幸夫
十七時間(二交代制)
六四、九二四鍾 六〇臺
計 一、二四五臺

川支店

大阪市旭區友淵町一三三
(電堀川五、二二一・五二二)

新町工場

群馬縣多野郡新町
(電高崎四五〇、新町三、一四・
二二)
明治九年政府ノ創設ニ係リ、同
二十年三井物産店ニ拂下グ、三
井紡績所ト改稱、後絹糸紡績株
式會社ニ合併、同十四年三月
鐘紡ニ引續ク
絹糸、生糸
絹糸(紅梅、梅)
生糸(鐘)
山口 眞一
紡績 深瀬 雅夫
生糸 石坂治郎
三森 三郎
十七時間(二交代制)
鐘紡式立機 七二臺
多條機 一七六臺
絹糸 一三、二〇〇鍾
七、〇七二鍾
四〇、五〇〇坪
一三、〇〇〇坪

京工場

京都市下京區西九條鳥居口町七
(電下六八〇五・六八〇六・一五
四一)

A

大正七年五月創業以來漸次ニ規
工場ヲ擴大シテ留マラズ現在ニテハ
工場タルニ留マラズ現在ニテハ
各工場ヲ有スル各種織績糸ノ
染色並ニ加工ノ綜合的一大工場
トナレリ
加工綿布、加工綿糸、スフ、羊
毛トップ、毛糸、毛織物、更生
絹糸
加工綿布 八〇〇、〇〇〇反
平賀恒次郎
淺田 清平
小口 不二夫
谷川 清一
泉名 武治
中 福治
小松 但男
田比谷 孝太郎
田中 菊市
雙田 万次
鍋島 透藏
西川 米藏
越野 嘉太郎
齋藤 輝男
藤田 繁雄
男一八〇人 女七〇人
男一、七〇〇人 女一、二〇〇人
計 二、九〇〇人
一〇、〇〇〇坪
四八、〇〇〇坪

A

明治四十四年舊絹糸紡績株式會
社ヲ合併セルモノ
藤川 崎進
男一人 女一人
男一四二人 女一〇九〇人
十七時間(二交代制)
晝專(九時間三十分)
汽機 ランカシヤ型 三基
發電機 ビネラルエレクトリツ
ク社 一基 六〇馬力
電動機 芝浦其他
一〇、〇〇〇馬力
一七、一〇〇鍾
一五、七九九坪六四
七、〇七二坪五四

京工場

京都市左京區東竹屋町
(電上三、一五・三二六)
絹糸
金平淡之助
中山 茂
飯山 嘉七
十七時間(二交代制)
一三、二〇〇鍾
五、七二二鍾

南工場

朝鮮全羅南道光州府林町
(電三三三・三三四)
昭和十年九月創業
絹糸、綿布、粗布、細布

(綿紡) 鐘淵紡

月産 紡糸 一、〇〇〇捆
 織布 六五、〇〇〇反
 川合 九一
 落井 三平
 藤原 重郎
 男三〇人 女二〇人 計五〇人
 男三五〇人 女二〇〇〇人
 計二、三五〇人
 一臺 二、五〇〇キ口
 綿糸 三〇、〇八〇鍾 (七四臺)
 一、〇〇〇坪
 一六、〇〇〇坪
 一四、六〇〇坪

所在地 兵庫支店
 神戸市林田區御崎町一丁目一
 (電兵庫白八〇至九〇)

製工場 八木幸吉
 紡績三宅國治
 織布松平親信
 三宅國治
 小澤元吉
 賀集吾平
 野口喜六
 十七時間(二交代制)
 汽機發電機使用馬力
 電力 四、〇〇〇馬力
 蒸汽 三五〇馬力
 一三〇、五七二鍾
 一五、六四〇鍾
 一、七四五臺

(綿紡) 甲府工場

甲府市國母 (電二〇五五)
 生糸
 秋田 政治
 柏木 鹿藏
 鐘紡式立機 六五臺
 二〇〇臺

宇和島工場
 宇和島市伊吹町 (電八〇六)
 生糸
 覺野 新次良
 古知屋 誠司
 川村 忠幸
 座機 一九〇臺

八幡濱工場
 八幡濱市五反田 (電三五五)
 生糸
 堀尾 幸
 關口 義男
 漆島 一枝
 座機 一七〇臺

勝間田工場
 岡山縣勝間田郡勝間田町大字勝間田 (電三四)
 昭和八年九月操業開始
 生糸
 桑本 富藏

(綿紡) 結城工場

茨城縣結城町 (電七〇〇)
 生糸
 大瀧 順之助
 大瀧 順春
 多條機 二四〇臺

高瀬工場
 熊本縣高瀬町 (電三四)
 生糸
 小泉 正彦
 小山田 敬登
 多條機 九〇臺
 座機 一〇〇臺

東大門工場
 朝鮮京城府新設町
 (電光化門一七六一)
 生糸
 伊藤 信親
 鈴木 玄九
 坂本 富太郎
 多條機 二〇八臺

原工場
 朝鮮江原道鐵原郡陀邑
 (電一五一)
 生糸

工務場

淺井 恭平
 古郡 友一
 鐘紡式立機 五四臺

大野工場

福井縣大野郡大野村 (電一六七)
 生糸
 角 滋登
 市川 榮
 座機 一六八臺

木曾工場

長野縣西筑摩郡須原 (電一九)
 生糸
 河田 岩根
 横山 七郎
 多條機 一〇四臺

菊池工場

熊本縣菊池郡隈府町
 (電隈府三二)
 生糸
 武内 義成
 針谷 義司
 間島 三代司
 座機 一八四臺

甲佐工場

熊本縣甲佐町 (電一〇)
 生糸
 相澤 仲司
 渡邊 惟隆
 座機 一七〇臺

(綿紡) 鐘淵紡

工務場 淺井 恭平
 製工場 古郡 友一
 原料主任 鐘紡式立機 五四臺

笹木野工場

福岡縣信夫郡野田村
 (電福岡六一)
 生糸
 楠原 卓馬
 猿渡 榮光
 吉田 左衛門
 多條機 二九六臺

大淀工場

宮崎市南町二丁目 (電四二二)
 生糸
 佐藤 偉夫
 望月 榮作
 鐘紡式立機 四〇臺

福島工場

福島市下釜三 (電一三三)
 最出 生糸
 平山 義雄
 佐藤 重太郎
 男九人 女二人 計一一人
 男一七人 女二五〇人
 計二六七人
 十時間
 鐘紡式立機 四八臺

本工場

滋賀縣滋賀郡下坂本村 (電二〇)
 昭和二年五月一日操業開始
 生糸

阪本工場

生糸

製所 阪本工場
 精紡 鐘紡式立機 四八臺
 職工 計二六七人
 原料主任 佐藤 重太郎
 工場主任 平山 義雄
 製所 福島工場
 職工 計一一人
 原料主任 佐藤 重太郎
 工場主任 平山 義雄
 製所 大淀工場
 職工 計一一人
 原料主任 望月 榮作
 工場主任 佐藤 偉夫
 製所 笹木野工場
 職工 計二九六人
 原料主任 吉田 左衛門
 工場主任 猿渡 榮光

工務場

生糸 一、〇〇〇斤
 茂木 眞治
 岸本 武雄
 多田 與一郎
 川勝 信三郎
 男七人 女三人 計一〇人
 男二四人 女三一人
 計三五五人
 十時間
 一八臺 五八馬力
 鐘紡式立機 六〇臺
 一八、一九一坪
 二、八五二坪

川工場

鳥根縣川郡大津村
 (電今市二一八)
 生糸
 坂東 琢郎
 坂東 南林孝三
 河野 德治郎
 石川 次一
 男一四人 女四人 計一八人
 男二〇人 女四三七人
 計四五七人
 十時間

福知山工場

京都府天田郡福知山市 (電七三)
 生糸
 石坂 謙吉
 富田 庄三郎
 大 機

結城工場

多條機 一九二臺
 座機 六六臺

高瀬工場

多條機 二四〇臺

東大門工場

多條機 二〇八臺

原工場

多條機 九〇臺

A 四四

A 四五

(綿紡) 鐘淵紡

精紡機 牛田式多條機 二四〇臺

岐阜工場
 所在地 岐阜市本莊
 (電一〇九四・三三二二)
 生糸(一四中、二一中)
 湯澤重敬
 多賀健吾
 鐵紡式立機 四八臺
 多條機 一八四臺

彦根製糸工場
 所在地 滋賀縣彦根市西馬場町
 (電彦根長二二・八一八)
 (大正十年五月舊國華製糸株式會社ヲ買収セルモノ)
 生糸(一四中、二一中)
 黒木宗三郎
 西村晴太郎
 滿留榮二
 佐野愛三
 畑長治
 男一〇人 女八人
 男三〇人 女三五〇人
 十時間
 鐵紡式立機 五八臺
 二、六五八坪

阪工工場
 所在地 大阪市旭區鳴野町三〇〇

(綿紡) 鐘淵紡

精紡機 牛田式多條機 二四〇臺

池工場
 所在地 福岡縣大牟田市明治町一丁目
 (電二二〇六・二二〇七)
 明治二十二年五月三池紡績株式會社トシテ創立、同三十二年十一月九日紡績株式會社ト改稱、今同三十五年十月鐘紡ニ合併セラレニ至ル
 純綿 一、二一九捆
 (十三年上期六、五六七捆)
 十四、十六、十七、二〇、四〇手
 混紡 一二三捆
 (十三年上期三、一三五捆)
 十六、二〇手
 柴利芳清
 水本甚喜
 寺田猪一
 山田賢華
 中野賢
 電力 八〇〇馬力
 一、四〇〇キロ(一日使用)
 其他 一三〇馬力 六〇〇キロ

津田式織機 一四臺

(綿紡) 鐘淵紡

精紡機 牛田式多條機 二四〇臺

道工場
 所在地 大阪府北河内郡住道町
 (電住道八・九)
 明治三十年十月十六日河洲紡績株式會社トシテ創立、同三十二年八月ヨリ新工場及附屬建物増設ニ着手シ翌十年三月完成、物増純綿純綿混紡共 一、九五六捆
 (他ニコンデンサーヤーン一、二四三捆十三年上期一五、一二五捆) 十手乃至十六手、コンデンサーハ一手乃至十二手
 樋口滋人
 日比新之助
 塚本勘一
 兒玉利武
 二〇、〇三二條 外ニローラー一四臺
 男一〇人 女一、二〇〇人
 計一、三三〇人
 四三、二八七坪
 一、二、一四八坪

津工工場
 所在地 中津市島田(電三)

(綿紡) 鐘淵紡

精紡機 牛田式多條機 二四〇臺

岡山絹糸工場
 所在地 岡山市門田一七二(電二二一八)
 明治二十八年共立絹糸紡績株式會社トシテ創立、明治三十五年七月絹糸紡績株式會社ニ合併セラレ、更ニ明治四十四年ヨリ鐘淵紡績株式會社ニ合併セラル
 △絹紡糸 七、二〇〇貫(十三年上期四四、六九五貫)
 △絹織物 五、四六〇反
 (十三年上期三三、七五反)

京都工場
 所在地 京都市在京區高野上開町
 (電上九〇一・九〇四)
 明治四十一年三月
 澤井隆信
 岩上隆夫
 紡績小室保明
 織布松尾保郎
 棒葉達彌

(綿紡) 鐘淵紡

精紡機 牛田式多條機 二四〇臺

岡山工場
 所在地 岡山市花畑二〇
 (電二二〇八・三七〇五)
 明治十三年七月
 小吹篤司
 田中全平
 川邊喜久次
 電力 一、四〇〇馬力
 一、一〇〇キロ
 綿又ハスフ 二九、一六八種(六四臺)
 綿又ハスフ 九八五臺
 内ハスフ機 三〇〇臺
 男一三〇人 女七七〇人
 計九〇〇人
 二六、四八三坪
 一〇、六七七坪

(綿紡) 鐘淵紡

精紡機 牛田式多條機 二四〇臺

池工場
 所在地 福岡縣大牟田市明治町一丁目
 (電二二〇六・二二〇七)
 明治二十二年五月三池紡績株式會社トシテ創立、同三十二年十一月九日紡績株式會社ト改稱、今同三十五年十月鐘紡ニ合併セラレニ至ル
 純綿 一、二一九捆
 (十三年上期六、五六七捆)
 十四、十六、十七、二〇、四〇手
 混紡 一二三捆
 (十三年上期三、一三五捆)
 十六、二〇手
 柴利芳清
 水本甚喜
 寺田猪一
 山田賢華
 中野賢
 電力 八〇〇馬力
 一、四〇〇キロ(一日使用)
 其他 一三〇馬力 六〇〇キロ

(綿紡) 國光紡

福井支店
一〇、八六八坪七〇
福井市山奥町金剛丸九〇ノ一
(電一七八一、一八〇〇)

國光紡績株式會社

本社
長崎市幸町一丁目一
(電長四〇六〇、四〇六一)

大株主
肥塚源次郎 四、四五一〇
山一モーター 一、五五五〇

(綿紡) 倉敷紡

青島工場
中華民國青島市外濱口(電三三)

今治工場

工場主任
白井 武
今治市大新田
(電九五五、九五六)

倉敷紡績株式會社

本社
岡山縣倉敷市元町
(電一〇一、一一一)

最近配當
新舊 四〇〇、〇〇〇株
一期 三〇〇、〇〇〇株

(縮紡) 倉敷紡

人事課長 福井周藏
原料課長 山本龜太郎
毛織營業課長 三木哲次
技術課長 岡田信次
調度課長 岡田信次
庶務課長 乘合林之丞
庶務課長 更井正人
庶務課長 久保田銀治郎

萬壽工場

毛 九〇臺
スフ 八八六臺
計四、二三八臺
(自動機 二、二六七臺
力織機 一、九七一臺)

松山工場

松山市三津口町四四
(電一〇・一〇五六)
大正七年松山紡績株式會社ヲ合
併ス
電力 一・九九臺 五八八キロ
スフ プラット式二〇、九一二鐘
(五四臺)

岡山工場

男二〇一人 女五五八人
計七五九人
一六、八五七坪二五
八、四四六坪二五

丸龜工場

丸龜市豊屋字新濱九〇一
(電四一)
昭和五年二月三豊紡績株式會社
丸龜工場トシテ運轉開始シ昭和
八年十二月倉敷紡績ニ合併セラ
レ今日ニ及ブ

津毛織工場

三重縣津市上濱町字小舟一、六
三〇〇
昭和十年五月倉敷毛織株式會社
創立 昭和十一年三月倉敷紡績
株式會社ニ買收
紡毛織物(三馬、クラシキ)

(縮紡) 倉敷紡

A 五九

吳羽紡

平生 三郎 三三〇〇
大田 義雄 三三〇〇
馬場 正治 三五〇〇
岸本 吉左衛門 三五〇〇
大日本麥酒株式會社 三三〇〇
取締役會長 大橋新太郎 三三〇〇
職員 計三八八人 女二八人
職工 計一〇五九人 女五九二八人
計六、九八七人
電力 一、七五七馬力
紡糸 五〇二、四四〇錠
スワブ糸 二四、一九二錠
計五、七〇〇錠
自動織機 豐田式 エンシニー
紡糸機 五、二二〇臺
力織機 豐田式 一、二七〇臺
ジツガー 二四臺
ナフトール 染裝置 一式
鎮物カキ 染裝置 一式
月産能力 一六〇、〇〇〇反
糊付乾燥機 八臺
巾出機 七臺
仕上カレンダ 六臺
(晒、染ヲ含ム)

井波工場

富山縣東礪波郡井波町山見二〇
(電六井波六四)
昭和六年六月起工、同七年四月
一部運轉開始、昭和七年七月全
運轉二交代制晝夜合計十七時間

川工場
富山縣射水郡大門町
(電大門六八)
江原 登平
晒、染色
コンパス、サンバル、富士五輪
ランパ、樽屋、君子蘭
晒 一〇〇、〇〇〇反
男二人 女六二人
計二七三人
十七時間(二交代制)
一四、三〇〇坪
三、〇二〇坪

羽工場

富山縣婦負郡西吳羽村字小竹
(電富山五〇六五、四九七七)
波多野 定一
杉林 喜三郎

野工場
富山縣野野町一〇〇
(電一〇六、一六四)
紡糸機 一、九八二機
スワブ糸 二、八〇五、三八六碼

入善工場

富山縣下新川郡入善町
(電一〇三)
昭和九年十月建設工事着手、昭
和十年十月操業開始
紡糸機 二、九三〇機
紡糸 二、九三〇機
瀨川 理三郎
大塚 政三郎
中村 政三郎
男三人 女一、〇七七人
計一、二二三人
十七時間(二交代制)
七六、四四〇錠(一八二臺)
五三、二〇八坪六六
一〇、三五六坪五、七一四

大門工場

富山縣射水郡大門町字大内五〇
(電大門六八、高四四五)
昭和九年十月操業開始、同十年
加工部
綿糸 三、〇〇〇機(富山)
コンパス(綿布)
▽紡糸 二、九〇九機
▽織布 二、五五二、七四〇碼
寒川 盛平
小畑 重一
江原 登平
男一九人 女一、四〇〇人
計一、七〇五人
晝夜十七時間(二交代制)
一三、〇〇六四錠(二八八臺)
豊田式自動織機 三市
計一、三七七臺
六七、〇二〇坪
二一、四一六坪七八八九

京城紡績株式會社

【本社】 京城府南大門通一丁目一五二
(電本局長四〇五一、四〇五二)
(電四五三)
奉天小西關大街中間道路
出張所 主任 藤世
【資本金】 大正八年十月創立、資資昭和十
年七月
三、〇〇〇、〇〇〇圓
【拂込金】 二、〇〇〇、〇〇〇圓
(綿紡) 吳羽紡・京城紡・琴浦紡

株數 二〇、〇〇〇株
最近配當 新株 四〇、〇〇〇株
【決算期】 上半年五月 下半年十一月
【製品及商標】 粗布(太極星、不老草、山蔘、三神山、天柔)
細布(雙燕、報喜鳥、海驛)
▽紡糸 約三、〇〇〇機
▽織布 約三、〇〇〇機

永登浦工場

京城府永登浦町四四一(電三三三)
大正九年創立
綿布(太極星、不老草、山蔘、三神山、天柔、雙燕、報喜鳥、海驛)
▽紡糸 三、〇〇〇機
▽織布 三、〇〇〇機
伊藤 柱善
金 奎善
織績 李種夏
立 得榮
男一九人 女一人 計二〇人
男五二六人 女一、七二八人
計一、六九八人
二十四時間(二交代制)
一、二〇〇キロ
二五、六〇〇錠(五四臺)
力織機 一二四臺
原動機 六七二臺
計 八九六臺
二八、六五〇坪
一一、五一坪

琴浦紡績株式會社

【本社】 岡山縣兒島郡琴浦町下村
(電下村一一)
大阪市東區南本町一丁目
竹村棉業株式會社內(電話場自
五一五〇一至五一五三)
昭和九年九月十五日創立
【資本金】 六三

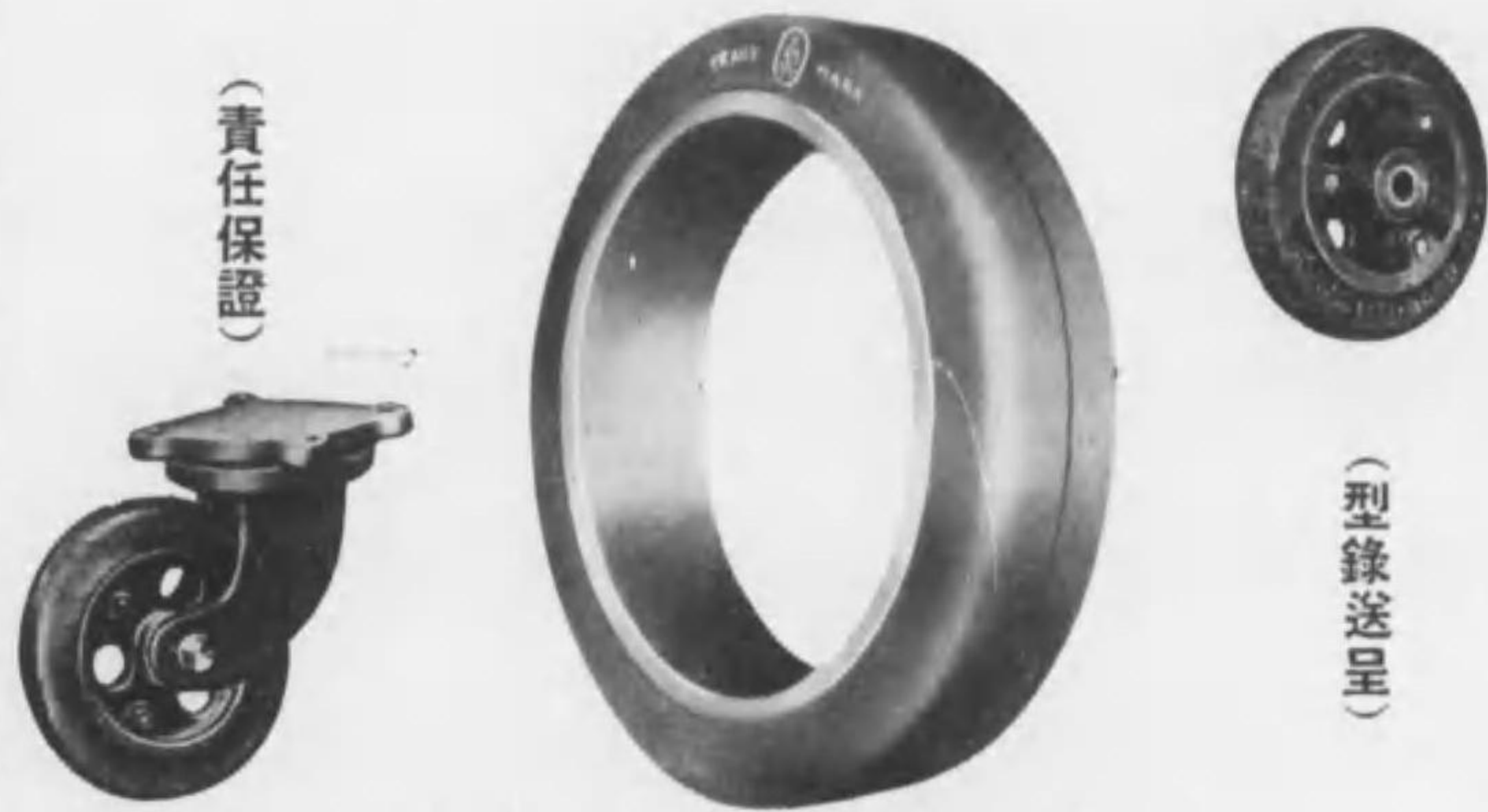
A 六三



定評ある..... 斯界の霸王

KN式 ダンロップゴム車輪

専門製作
 ゴム車輪
 紡績・人絹・紡織工場用運搬車一式
 電気トラックタイヤ



日本ダンロップ護謨株式会社
 ソリッドタイヤ總代理店

KN 西尾商店

營業所 大阪市西區西道頓堀通五丁目二〇
 電話 櫻川三二六五番
 振替 大阪六五〇六六番
 弊工場 大阪市西淀川區御幣島町二六六

(綿紡) 琴浦紡・湖東紡

資本金	五、〇〇〇、〇〇〇圓
最近配當金	三、五〇〇、〇〇〇圓
決算期	一年一圓毎年十二月
製品及商標	綿糸 七番ヨリ六〇番手迄 (時計)
工場	二
役員	代表取締役 竹村清次郎 取締役 高塚三代太郎 同 土居耕太郎 同 乾新太郎 同 土居耕太郎 監査役 雲林院廣吉 同 雲林院廣吉 同 雲林院廣吉
本社工場	竹村清次郎 雲林院廣吉 竹村信一 海保良吉 西利市 阿部信治
所在地	岡山縣兒島郡琴浦町大字下村四〇六 昭和九年八月二十五日近江帆布株式會社ヨリ買収 一〇、一四、一六、二〇手 時計標 紡糸 七五〇綱 石田重郎 男七人 女三人 計一〇人 男五人 女三人 計八人 計三五〇人 九時間(二交代制) 四臺 五七五馬力 綿糸 一、五二〇鐘(三〇臺)

湖東紡績株式會社

資本金	五、六二八坪一九
最近配當金	二、七九五坪
決算期	見工場
製品及商標	兵庫縣加古郡二見町西二見一八ノ一(電二見七七) 昭和十一年十一月竣成操業 綿糸、縮織物(タイヤード) タイヤード地、調帯生地)縮縫糸 土居耕太郎 奥島 操 紡績 丹羽 操 織布 柏 佐太郎 男二〇七人 女一、二〇一人 計一、四〇八人 十七時間(二交代制) 四、〇〇〇馬力 五七、二〇〇鐘(一三六臺) 三三、九一四鐘(一六二臺) 一四四臺 四六、二五五坪 一六、五五九坪
工場	見工場
役員	代表取締役 丹羽 操 取締役 奥島 操 同 土居耕太郎 同 奥島 操 同 奥島 操 監査役 奥島 操 同 奥島 操
本社工場	見工場
所在地	見工場
製造品	見工場
職工	見工場
精製機	見工場
紡糸機	見工場
織機	見工場
染機	見工場
動力機	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場
時計標	見工場
紡糸	見工場
織	見工場
染	見工場
動力	見工場
電機	見工場
原動機	見工場
探検機	見工場
職工	見工場
工場	見工場
所在地	見工場
製品及商標	見工場

〔紡〕大東紡

Table with columns for position (役員), production (生産), and company details for Dai Toho Textile Co. Ltd. Includes names like 鶴見左吉 and 杉本吉次郎.

Table with columns for location (所在地), production (生産), and company details for Dai Toho Textile Co. Ltd. Includes names like 堀本吉次郎 and 杉村合名会社.

Table with columns for location (所在地), production (生産), and company details for Dai Toho Textile Co. Ltd. Includes names like 小島三郎 and 永盛男三郎.

大日本紡績株式会社

Table with columns for position (職員), production (生産), and company details for Dai Nippon Textile Co. Ltd. Includes names like 男二一人 and 女七八七人.

Table with columns for position (役員), production (生産), and company details for Dai Nippon Textile Co. Ltd. Includes names like 堀本吉次郎 and 杉村合名会社.

Table with columns for position (役員), production (生産), and company details for Dai Nippon Textile Co. Ltd. Includes names like 小島三郎 and 永盛男三郎.

〔紡〕大日本紡

七〇

A

(綿紡) 大日本紡

鹿兒島工場

鹿兒島縣鹿兒島郡元町二四六〇
(電鹿兒島五四七・一一九一)
沖 機 六
十七時間(二交代制)
五七、〇五六鐘(一四〇臺)
一八、九八四鐘(四八臺)
七九二臺
四二、六〇五坪一六〇
一二、〇二一坪三八〇

郡山工場

奈良縣生駒郡郡山町大字西野垣
内十四番屋敷(電郡山三)
明治二十六年五月郡山紡績株式
會社創立明治四十年六月續株式
續株式會社合併大正七年六月
大日本紡績株式會社合併今日
及ベリ
綿糸(及女)綿布(鶴鹿)
▽紡糸 二、一五〇捆
▽織布 四四、七〇〇反
國松福三郎
男一五人 女一、〇七〇人
計一、一三〇人
十七時間(二部交代制)
二六八臺 三、一〇〇馬力
綿糸 五〇、六八〇鐘(一三〇臺)
七四八臺
四四、五五二坪
一〇、九八六坪

平野工場

大阪府住吉區平野宮町一二
(電天王寺七〇・二八三三、平
野二二六)
市川壽水男
十七時間(二交代制)
三九、二一六鐘
六六〇臺
二四、七四〇坪六五
九、八二八坪六三

垣工場

岐阜縣大垣市林町
(電一一一・三七二)
高馬眞作
十七時間(二交代制)
六七、七一三鐘(一七〇臺)
一、五六四臺
七〇、二四一坪一〇〇
二〇、二九九坪二五九
▽紡糸 五、四〇〇捆
▽織布 一三、〇〇〇反

塚工場

大阪府泉南郡日根町半田一五〇
(電日根一七二・三四四)
昭和九年 月 起工、昭和十年一
日運轉開始、昭和十一年一月増
設、昭和十二年一月増設完成
綿布 ポフリン 金巾 ローン
綿糸 二〇番郡山一六番(鶴
鹿)一四番(鶴鹿)一〇番(赤社
丹)八番(赤社丹)六〇番(白風)
八〇番(柴風)

岐阜工場

岐阜市五坪一四五〇
電一〇五〇・一一七九
堀越馬三郎
十七時間(二交代制)
三一、七八〇鐘(九二臺)
一四、六〇〇鐘(五〇臺)
四六臺
一、七四〇鐘(二八臺)
五、六〇〇鐘(一四臺)
二組
三七、九三四坪
一七、七五四坪

津工場

朝鮮咸鏡北道清津府水南洞一〇
昭和十二年七月起工、十四年中
完成の豫定
人絹糸
二〇噸(操業豫定は十四年春)
佐口賢二
三〇、〇〇〇坪

東京工場

東京市荒川區南千住町十丁目一
(電淺草四一一・一一三〇
五七〇〇)
木戸良成
十七時間(二交代制)
九九、九三二鐘

(綿紡) 大日本紡

七二

吉村卓爾

男一五六人 女二、八三六
計二、九九二八
十七時間(二交代制)
五、一〇〇馬力
一三九、三六〇鐘
三二、二〇〇鐘
計七九二臺 豊田式自動織機
五四、〇〇〇坪
二五、二二三坪

崎工場

兵庫縣尼崎市東本町二丁目五〇
(電福島五・三五五六)
(尼崎二四)
綿糸 綿布
繩原景武
男一七人 女一、三〇〇人
計一、三七二人
十七時間(二交代制)
六〇、五九六鐘
三三、一八八鐘
一、〇〇〇臺
六、六四八坪
一三、六〇五坪

石工場

明石市茶園場町一六〇九ノ一
(電明石一六九・六〇五)
松原茂
十七時間(二交代制)

原工場

岐阜縣不破郡關原町關原六一五
(電關原八)
鈴木正太郎
十七時間(二交代制)
一〇、二〇〇鐘
六、八九二鐘
一、五〇〇臺
七九、二九六坪八三
二二、〇一三坪八五

高工場

愛知縣知多郡大高町字中坪一
昭和十一年九月ヨリ操業開始
綿糸 維子、スワ、紫凡、白凡、
紡糸、スワ、スワ、スワ、スワ、
男一四人 女一、二〇〇人
計一、二六五人
十七時間(二交代制)
計六八、八八〇鐘
三三、一一〇鐘
五九、二五六坪
一〇、二四〇坪四六七

守工場

大阪府西成區津守町五二七

宮工場

(電津川二六四・二六五・二五)
明治四十二年五月設立
万永正雄
男二〇人 女一、八八〇人
計二、〇八〇人
十七時間(二部交代制)
綿糸 八〇、一九二鐘
計一、七九一臺
自動織機 一、七九一臺
五、四六五
二、一二四坪

田工場

愛知縣一宮市天笠町一丁目四
(電一宮長六九・三六一)
武田彰
男九六人 女二、〇〇五人
計二、一〇一人
八、八二二馬力 六七四臺
十七時間(二交代制)
一四、四一六鐘(二九〇臺)
六二、五三〇鐘
三六、三九三坪二八〇
一五、六二九坪七五

A 七三

〔編紡〕 大日本紡・龍田紡・中央紡

Table listing textile companies with columns for factory name, location, and equipment details.

Table for 龍田紡績株式會社 (Ryūden Hosiage Co., Ltd.) including capital, assets, and factory details.

Table for 中央紡績株式會社 (Chūhō Hosiage Co., Ltd.) including capital, assets, and factory details.

Table for 朝鮮紡績株式會社 (Chōsen Hosiage Co., Ltd.) including capital, assets, and factory details.

Table for 龍田紡績株式會社 (Ryūden Hosiage Co., Ltd.) including capital, assets, and factory details.

Table for 朝鮮紡績株式會社 (Chōsen Hosiage Co., Ltd.) including capital, assets, and factory details.

〔本 社〕 朝鮮釜山府凡一町七〇〇 (電話山四〇〇五)

〔大 株 主〕 中外産業株式會社取締役社長 安三郎 一四、二九七

〔本 社〕 愛知縣碧海郡刈谷町大字刈谷 (電話刈谷三六四・三六六)

〔本 社〕 愛知縣碧海郡刈谷町大字刈谷 (電話刈谷三六四・三六六)



